THE TAIWAN JIHO

臺灣時報

五月號

汎太平洋聯合と臺灣
時報（臺灣時事）
行啓記念日を迎へて
本島施政の大綱
地方長官會議に於て
臺灣と對岸との關係
總督の心を心とせよ
帝國工業の將來
日本鹽業の將來
上海港と其の設備
大型手繰網漁業
官邸の詩人茶話會
印度支那の諸種族
生蕃行脚
海外重要記事

臺灣時報發行所

臺灣總督府殖産局商工課 交換
EAST ASIATIC ECONOMIC INVESTIGATION BUREAU JUN 3 1924
B.198 F.203 B.221 I.19
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　賀來佐賀太郎

評議員（以下イロハ順）

石坂莊作　市來半次郎　今井周三郎　井村大吉　新元鹿之助　西川利藤太　醫學博士 堀內次雄　富島元治　富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大舘大藏

大賀基作　尾崎勇次郎　渡邊金造　川崎軍治　川中子安次郎　簡朗山　菅野善三郎　吉田平吾　吉岡荒造　楊吉臣　醫學博士 高木友枝　高田富藏　田村武七　田村藤四郎　田賀奈良吉　高山仰　瀧田傳吉　常吉德壽

編纂委員

津田毅一　津久井誠一郎　永田綏之輔　中村啓次郎　內藤正太郎　武藤針五郎　野呂寧　草鹿砥祐吉　倉岡彥助　日下操　松岡富雄　牧山清砂　松井榮堯　藤野幹　福留喜之助　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　小林音八　枝德二　江口良三郎　江崎眞隆　鄭神寶　赤石定藏　伊藤兼吉　生駒高常　飯田政敏　服部武彥

赤司初太郎　後宮信太郎　相賀照鄉　阿部滂　麻生誠之　荒巻鐵之助　相原祐彌　淺田知定　近江時五郎　佐藤勤　坂本素魯哉　佐々木紀綱　楢瀨軍之佐　國谷廣次　蔡蓮舫　木村匡　木村久太郎　許廷光　北村吉之助　木村英俊　喜多孝治　三村三平　三好德三郎　進藤良英　徐杰夫　平山寅次郎　森廣藏　鈴木重臣　諏訪禮次郎　長谷川直吉　法水了禪　富田松彥　大澤清高

常務員

和田一次　鎌田正威　横光吉規　東忠藏　淺野安吉　佐藤正俊　小野弘毅　水越幸一　三浦碌郎

下村充郎　本山文平　松岡一衞　深川繁治　古山榮三郎　岡本佃　中瀨拙夫　中田榮次郎　宇都宗一

編輯係　鷹取田一郎　囑託　大槻綱彥

同　高橋悌　同　横尾善夫

同　拓大雄　同　眞倉民治

同　中野顯三郎　同　鹽谷新

同　小森德治

同　秋澤次郎　庶務及會計係　伊藤憐之助

大正十三年五月八日印刷
大正十三年五月十日發行（毎月一回一日發行）
（定價一冊郵税共金三十錢　廣告料一頁金二十圓）

臺灣總督府內
發行所　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣第二〇七〇番
電話總督府內第八九番

編輯兼發行人　臺北市東門町百八番地　中野順三郎

印刷人　臺北市大和町三丁目二番地　澤田照基

印刷所　臺北市大和町三丁目二番地　臺北印刷株式會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

株式會社臺灣銀行

（臺北）

支店出張所

臺灣

基隆　臺中　嘉義　臺南　高雄

宜蘭　淡水　桃園　新竹　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店出張所

支那

上海　九江　漢口　福州

廈門　汕頭　香港　廣東

其他

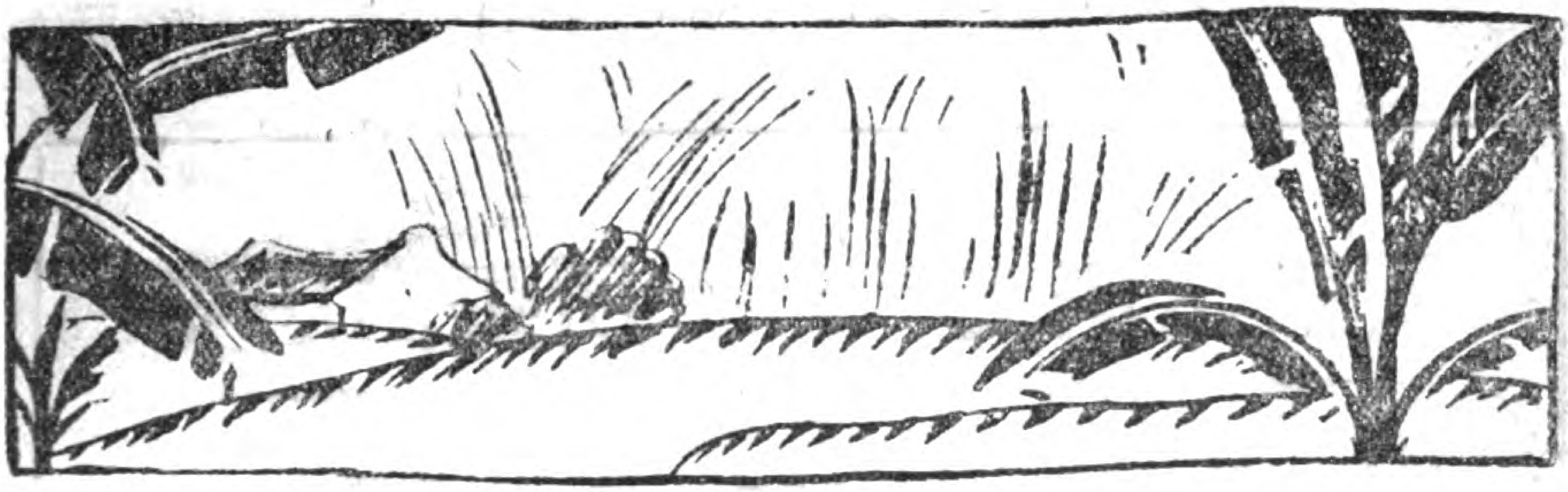
新嘉坡　盤谷　スラバヤ　スマラン

バタビヤ　孟買　倫敦　紐育

內地

神戸　大阪　横濱　東京　門司

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



臺灣時報大正十三年五月號 目次

（第五十六號）

口繪 ▲光榮ある「八角蓮」

▲汎太平洋聯合と臺灣（卷頭言）……一

時報……二―五

第一回行啓記念日▲表彰及助成金の贈呈▲對岸領事會議▲地方長官會議▲臺灣汎太平洋倶樂部の設立▲臺灣正米市場組合の認可▲總督府評議會委員會の祭祀公業成案▲總督邸の全島詩人招待會▲米國へ烏龍茶の大宣傳

謹みて第一回行啓記念日を迎へて（内田總督）……六

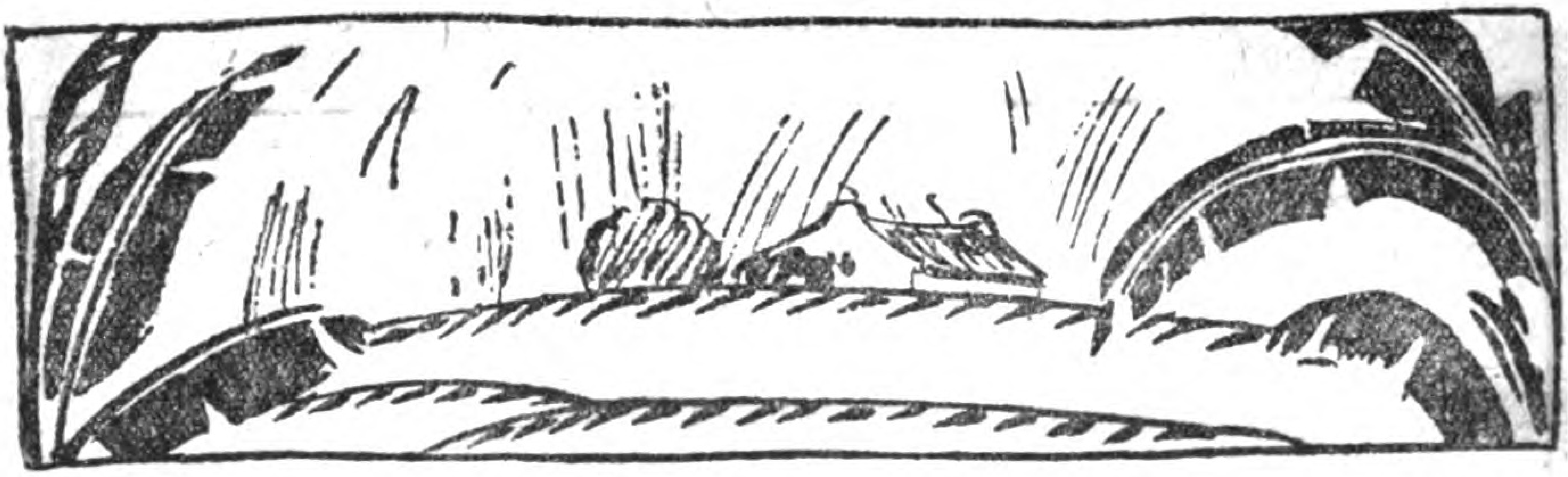
行啓當時の心持を忘れずに官民一致されたい（賀來總務長官）……一三

本島施政の大綱に關して（内田總督訓示）……一四

地方長官會議に於て（賀來總務長官）……二〇

臺灣と對岸との關係に就て（内田總督訓示）……三六

總督の心を以て心とさせよ（内田總督訓示）……四三



帝國工業の將來……鴨居武 五一

日本鹽業の將來……中山秀之 六一

在支邦商と銀資金々融機關設立問題……黃鶴山人 六五

蟠桃宮と花朝……蕉鹿夢 七四

□□□□□□□□□□□□□□□□□

上海港と其の設備……井出季和太 七七

トロール船に優越せる大型手繰網漁業……宮上龜七 一一三

總督官邸の全島詩人茶話會……大痴老人 一二九

印度支那の諸種族……高橋惇 一三三

生蕃行脚……丙牛生 一四一

島情……一五〇

地租附加稅徵收成績(內務局州廳課)▲臺灣汎太平洋俱樂部の規約▲領事會議議案▲地方官會議附議事項

詞苑……一五三

臺灣日誌▲人事消息▲任命▲寄贈書目▲編輯室から……一五五

□□□□□□□□□□□□□□□□□

南支那南洋其他海外重要記事(總督官房調查課)……一—一〇

問屋業
販賣業
代理業

三井物産株式會社

臺北
臺南
支店

出張所
出張員

厦門
福州
基隆
高雄
臺中

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

光榮ある八角蓮」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

汎太平洋聯合と臺灣

アレキサーダー、フォードに依りて主唱された汎太平洋ユーニオンが、太平洋に關する萬有を研究し、其の沿岸諸國民の親睦を旨として隨時隨所に會合を催ほし、その研究を發表して相互に資益し、又た各地に倶樂部を置きて、國際的なる該ユーニオンの目的の促進に便せんとするは、單り太平洋沿岸に國する諸民族の福利の爲めのみならず、又た世界人類の福祉の爲にその事業の高遠なるを感嘆せざるを得ない。更に喜ばしきは、這回臺灣官民が此の趣旨に贊して「臺灣汎太平洋倶樂部」―Pan Pacific Club of Formosa―を設立したことである。是れ卽ち太平洋に於ける臺灣を世界に紹介するものであつて、外には、成功せる臺灣統治の上に、更に新しい意味に於て臺灣を高めるものであり、內には臺灣官民をして、人類としての高遠なる理想に進ましめ、特に殖民地生活に一趣味を加へしむるものである。冀くばその健全なる發達を遂げむことを。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

第一回行啓記念日

東宮殿下臺灣行啓第一回記念日たる四月十六日は本島に取りて洵に感激深き光榮の日である、此の日内田總督には全島官民一同を代表して　天皇陛下に天機奉伺の、皇后陛下竝に　東宮同妃兩殿下に御機嫌奉伺の、何れも電報を差上げられたが午前十時總督府に於て嚴肅なる御沙汰書捧讀式を擧行し、又た正午總督官邸に於て午餐會を開き官民有力者約三十名を招待し席上内田總督は挨拶に於て御沙汰書に示された「將來益々相和協して共に文化の發達、民生の安定を圖り遐邇均く康福を享け以て　皇上仁愛の盛意に副はん事を望む」との令旨を擧げて臺灣將來の發展の爲に官民の和衷協力を希望する旨を述べられ同夜又た總督官邸に官民有力者百五十餘名を招きて茶話會を開き席上内田總督より行啓記念日に關し懇篤なる挨拶があつた、又た内田總督は豫て　殿下御嗜好の木瓜を獻上に及びたるが當日首尾よく獻納濟となり　殿下には御待兼に在らせられし趣承りたるは臺灣として洵に光榮の至りである、當日は草山に行啓記念碑の除幕式が行はれ又た圓山運動場に行啓記念大運動會の催はしがあつたが雨の爲に延期されたのは遺憾であつた。此の日首都の臺北を初め全島一齊に國旗を掲揚して祝意を表し軍司令部其他主なる官衙に於ても御沙汰書捧讀式が行はれた。

表彰及助成金の贈呈

四月十六日　東宮殿下行啓第一回記念日に當り恩賜財團臺灣濟美會長より表彰及助成金の贈呈が行はれた、即ち社會事業に盡力の廉を以て鄭神寶、劉陳光、楊棕、張堪、廖炭、杉本音吉の六氏に各々金二百圓を贈呈表彰、教育奬勵の趣旨に依り助成金として海山圖書館へ二百圓、宜蘭圖書館へ三百圓、桃園文庫へ二百圓、新竹街立圖書館へ三百圓、臺南圖書館へ三百圓を夫々贈呈、又た萬丹農業補習學校へは地方農業の開發に貢献の廉を以て金三百圓を、花蓮港農業補習學校へは蕃人教化に貢献の廉を以て金三百圓を何れも贈

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

呈、又た奈良縣立郡山中學校出火の際御眞影奉移を全ふせる廉を以て盧老枝に金三十圓を贈呈表彰された。

對岸領事會議

總督府主催對岸領事會議は四月十日より十四日迄總督府に開かれた是より前七日より三日間先着參列者の間に諸般の打合せありしが十日より本會議に入り賀來總務長官議長として高橋香港總領事、天羽廣東總領事、栗原福州總領事、佐々木厦門領事、打田汕頭領事、進上海商務書記生參列の上、午前九時半內田總督より別項の挨拶並に本會議に關する希望を述べられ終りて午後五時迄會議を開き同十一日午前九時より午後三時迄關係部局課長列席の上議事を進行し尙ほ領事官提出協議案民間側提出に係る事項に關しては十一日より十四日に亘り適宜外務省會議と交互に會議を開き十四日午後三時全部の會議を了した其の會議事項は別項島情欄に掲ぐる通りである、尙ほ同時に行はれた外務省の領事會議は十一日に始まり十六日に終了を告げた。

地方長官會議

本年度地方長官會議は四月二十九日より五月一日に至る三日間總督府に開かれたが第一日は府內會議室に於て午前九時より各州知事、廳長、府各部局長並各課長等參集、內田總督から別項の訓示、賀來總務長官から總督の訓示を布衍せる別項の訓示があつて後會議に入り、各州廳管內情況中主なる事項及將來施設計畫を要する重要事項に就き各州知事及廳長の答申があり第二日は別項諮問事項二乃至九に就き關係各部局長から說明があつて前日同樣各州知事及廳長より順次答申あり第三日は別項指示事項、注意事項及各州廳提出事項等に就き協議を遂げ終つて宮島高雄州知事各地方官を代表して「總督長官より懇篤なる訓示を以て統治の方針を示され殊に會議中連日答申を聽取されたるは一同の光榮とる所、訓示の趣旨は克く之を體して州廳下の治績を擧ぐるに努めん」との意味の答辭がありて午後三時十五分無事閉會を告げた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣汎太平洋倶樂部の設立

汎太平洋ユニオンは近年結合せられて太平洋沿岸諸國民の懇親を旨とし其の自然及び人類に關する總ゆる事項を研究し每年種々の會合を爲して研究發表をも爲し又た各地に倶樂部を置きて其の目的に進みつゝあるが本島に於ても内田總督の指導により倶樂部設立の機運を促進し去月二十九日總督府に於て官民有力者及び右の趣旨に興味を有する人々五十餘名會合し座長に高木友枝氏を推して協議の結果、臺灣汎太平洋倶樂部 Pan Pacific Club of Formosa 設立を決定し當日出席の人々を擧げて發起人及會員となし直ちに創立總會を開き別項の規約十七條を一括議題とし滿場一致にて原案を可決し會長には賀來長官、副會長に、喜多、高木、辜顯榮の三氏を指名(内田總督は其後開會の第一回例會で名譽會長に推選された)し太平洋諸問題の研究に興味を有するものを會員として募集することゝし散會した。

臺灣正米市場組合の認可

臺灣正米市場組合は其の業務規程が不備なりし爲め申請は許可されず多年の懸案たりしが去月二十四日向ふ二十年間の期間を以て設立許可となり臺灣に初めて正米市場を見るを得るに至り其の結果は第一に米價の公定價格が決まり第二に大量取引が出來第三に健實な取引の發展を期し得べしと謂はる、該組合は一年以上臺灣に於て米穀賣買を業とし臺北市内に營業所を有するものを以て組織し、組合員よりは五百圓の信認金を徵し、取引は直取引延取引の二種にて期間は直取引五日、延取引四十五日、取引は現物授受の他何等の名義を以てするも決濟を爲すことを得ず仲立人は定員六名以内にて一箇年市内に住居し米穀賣買に經驗ありと認めたるもの、其の信認金一千圓を供託する事等は業務規程の骨子で、別に制裁規程も設けられてある、當局者は他の弊害多きに鑑み本島正米市場に健實なる經營方法を執らんことを囑望して居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

總督府評議會委員會の祭祀公業成案

臺灣の舊慣たる祭祀公業の立法は種々取締規程を要する點より曩に第四回總督府評議會に於て特別委員附託となりしが這回委員諸氏に於て調査を了せし結果去月二十二、三の兩日總督府に於て相賀主查を初め委員諸氏會合し協議の上成案を得て之を內田評議會長に報告した。追て本會議が招集されて該案が議題に上ぼさるべき順序である。

總督邸の全島詩人招待會

全島詩人百九十餘名が去月二十五日臺北大稻埕の江山樓に會し恰も昨年の同じ日に東宮殿下草山に行啓相成り「八角蓮」に御眼を留められし御事から右の「八角蓮」を詩題として吟會を開いたが其翌二十六日午後三時から竹窓內田總督は是等の詩人百九十餘名を官邸に招いて茶話會を開き席上、竹窓總督は別項の「薫風鈴閣」の詩を示され滿堂の詩人雅客は筆を呵し想を練つて之に次韻した軈て食堂が開かれて總督は別項の挨拶を述べたる中に、詩によりて剛健の思想を賦すべきを望み又た「八角蓮」を詩題とせる詩人諸君は　殿下の御沙汰書にある「和衷協同」の御趣旨に副はんとするものなり、と奬勵し之に對して洪以南氏は詩人を代表して謝辭を述べ、思想善導の上に於ても詩人として最善を盡し以て閣下の御趣旨に副ふべし、と誓つた斯くて和氣靄々裡に食堂を閉ぢ更に別室で快談するものもあり、五時頃散會した。

米國へ烏龍茶大宣傳

何事も宣傳の世の中、印度茶の如きは一年間二十萬弗五年に亙り百萬弗を投じて目下米國に大宣傳中であるが臺灣の烏龍茶も米國を唯一の得意とする關係上從來の小規模の廣告に安んせず徹底的に大宣傳を爲すに非らざれば遂に彼の市場に烏龍茶の名を忘らるべきは必然である、臺灣總督府は其の產業政策上、右の衝動から烏龍茶の大宣傳を米國に行ふべく本年四月より經費十五萬圓を以て一年間連續的に彼地新聞雜誌に廣告を爲し同時に本島の茶園、茶摘、製茶等の寫眞をも掲載して衆目を牽かんとし、殖產局に於ては之が實行に著手した。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

謹みて第一回行啓記念日を迎へて

臺灣總督　内田嘉吉

昨春四月鶴駕を我が臺灣の地に奉迎したるは空前の盛事である。烏兎匆々一箇年を經過し、玆に本日を以て第一回行啓記念日を迎ふるに際し、謹んで祝賀の意を表するは、不肖の最も欣幸とする所である　皇太子殿下の御渡臺に關しては、昨年不肖が大命を拜して新たに莅任の際申述べて置いた通り、曾て佐久間總督在臺の當時　今上陛下の未だ東宮に在す時に、御渡臺を御願ひなすつたことがあつたが、　先帝陛下の御崩御と共に、自然御見合せとなつたので、衷心より遺憾に考へて居たが、恰も昨年　皇太子殿下御渡臺の御沙汰あることを拜聞し、不肖に取つては全く手の舞ひ足の踏む所を知らなかつたほどである。然るに北白川宮殿下御不慮の椿事があつて、事の次第に依つては或は御渡臺御取止めのことにもなりはせぬか、との心配もあつたのであるが、幸ひにも多少の御延期となつただけで、御渡臺の事には些の支障をも生せず、愈大正十二年四月十六日を以て御無事第御一歩を基隆の地に踏ませ給ふ事となつた。官民一同は卽ち非常な歡喜に充ち滿ち、熱誠を

捧げて御歡迎申上げたのである、幸に何等の御故障もなく御滿足に御見學を終らせられ、還啓と相成つた次第である。殿下には大正十年三月を以て歐羅巴各國御遊歷の途に上らせられ、各國元首に御會見あり、又知名政治家にも接見を賜うて、天資御聰明の上に一層の御經驗を加へさせられ、世界の孰れもに於て「天晴偉大なる將來の皇帝なり」と欽仰せしめられ、無事御歸朝遊ばされたのである。殿下には御記憶が非常に强くましまして、御勉學に際し萬事御注意深く、歐洲御遊歷に際しても、御見聞を非常に廣めさせられ、其後臺灣を御巡歷に成らせられたので、種々詳細なる御質問があつて、專門當局も御卽答に苦しみ、腋下に汗したことも一再ではなかつたやうにも聞いて居る。而して御還啓に際し臺灣總督に對して御沙汰書を御下賜に成り、之を拜讀せば先づ臺灣に於ける行政・司法・教育・産業・交通・衞生等の成績竝に國防の充實昭著なるを認め給ひ、畢竟既往に於て官民が和衷協力した結果であるとせられて、深く御喜びに相成り、愈々益々官民が和協して、文化の發達、民生の安定を圖り　皇上仁愛の聖意に副はんことを望む、と仰せられたのであつて、誠に恐懼に堪へぬ次第である。

臺灣に於ける官民は　殿下御渡臺に依て深い〳〵印象を受けて、此盛事に列つた者の長へに腦裡を去ることの出來ぬものであることは、今日皆語り合うて居る所であつて、御在臺長からざるにも拘はらず、永久に我が官民に感化を與へさせられたのは如何に　殿

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

下が御英邁にわたらせられるかを想見することが出來る、と信ぜざるを得ませぬ、殊に關東地方の震災あるや臺灣に於ける內臺人は勿論、蕃人に至る迄第一に皇室の御無事を祈り、殊に又　殿下の御身邊何事無かりしかと御心配申上げたのである、現に花蓮港廳長の報告に據るに、蕃人の或者が特に廳に出頭して　殿下の御無事に渡らせらるゝや否やを御尋ね申し、御無事なるを知つて安堵の面地をなし「殿下の如き高貴の御方が御怪我のあるべき筈がない」と言うて退いた、と云ふ事實に徴しても、其御高德の御感化、眇たる一蕃人にまで及んだことを知ることが出來る。又畏れ多いことであるが、昨年の虎の門事件の當時電文簡にして詳細を知るに由なく、臺灣在住者は一同に深き心痛に沈まぬものがなかつたのであるが、或る臺灣人は御德の高くわたらせらるゝ　殿下には、何等御不慮の事の生ずべき道理はない、と斷言するものもあつた趣である。不肖は昨年十月本島に在任の折、本島官民の歡迎の席に於て　殿下の御沙汰書にある「官民相和協して文化の發達、民生の安定を圖り　皇上仁愛の聖意に副はんことを望む」との御思召を以て、本島施設の方針とすることを言明したのであるが、其後不肖は每朝身體を淸めて後、遙に東方を拜して御沙汰書を拜讀することを日課とし、兩陛下並びに　殿下の寶壽益々無疆なるべきを祈り、併せて臺灣の平和繁榮とを祈らぬ日はない、古來孰の國と雖も在朝在野の別なく、國民の和衷協力が國家の發展を期する上に於て、最も必要でない所がなく、殊に臺灣の如き內地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人と臺灣人とより成る場所柄としては、殊に官民の和衷協力が其發展の最大要素であることは説明を俟たず、 殿下が此御思召を御沙汰書に於て御述べになつたのは、全く統治上の確乎不抜なる方針を御示しになつたもので、我々在臺人は常住坐臥、一日も之を忘却してはならぬと思ふ。人の考は其面の如く相違するは勿論であるが、苟くも國家社會を組織するものとしては、互に和協と云ふ事が肝要である。和協とは要するに他人を扶け自己の利益を犧牲とするにあるのである。昨年十一月渙發せられた國民精神作興に關する詔書に於ても、一己の利害に偏せずして、力を公益世務に竭すべきことの御思召を宣させ給うて居る是れ即ち和協の依て生ずる所以であつて、是に由て凡て國家の興隆と社會の福祉とを計らねばならぬ。不肖が 殿下の御沙汰書の趣旨を奉體する上に於て、一層の努力を續けねばならぬことを、深くも考ふる所以乃ち玆に在るのである。不肖は親しく 殿下の玉體に咫尺し、御案内を申上げたことが實に前後三回である。其第一回は大正六年化學工藝博覽會を東京上野に開催した時である、此時 殿下が會場に行啓あらせられ、不肖は會長として親しく館内を御案内申上げ、重要生産品に就き御説明を申上ぐるの光榮を有したのである。其後遞信省博物館を御巡覽あそばされたことがあつた際も、亦御案内を申上げ、更に大正九年福岡に工藝博覽會を開催した際も、其會長として御巡覽の際御案内を申上げた。第三回目即ち博多に於て拜謁を仰付られた時、不肖が遞信省に於て御案内申上

げた時の事を御記憶あらせられたるやに拜聞し。其御記憶の強くましますことを、目のあたり拜して驚歎し奉るの外はなかつた。先頃文部省から公にされた　殿下の御略歴によると　殿下の御幼少にましまして漸く御口をきかせらるゝ頃、或夏の日葉山御用邸に成らせられたが、時の神奈川縣知事が殿下に金魚を獻上した。其後同知事が御用邸に伺候した時、あれはマナをくれた爺かと仰せられた。マナとは宮中の御言葉で魚と言ふ事である。此事を拜讀して御幼少から御記憶の強くましますことを承知して、一層驚歎を深くして居る次第である殿下の御慶事が愈々本年二月二十六日御擧行になる事の御公表があつて以來、國民は日一日と當日の速に來ることを熱望して、指折り數へて待ち奉つたのである。幸にも不肖御擧式の場所たる賢所に參列するの光榮を賜はつたので、坐ろに感涙に咽ぶを禁じ能はなかつたのである。　殿下は賢所大前に於て宣詞を御讀上げになつたのであるが、遙か離れた處に居る參列者にまで、その朗々たる御聲の節々が耳によく透り、參列者一同感歎久しうするものがあつて、一入　先帝陛下に似ておはします事を感せぬものはなかつたのである。此二十六日には全國民擧で歡喜の情に充ち滿ち、心の底から奉祝の誠意を致さぬものなく、臺灣に於ても亦官民熱誠を籠めて、靜肅且つ歡喜に充ちた式を擧げた、是は帝國臣民として勿論當然なことであるが、殊に昨春の御渡臺に依て島民に與へられた御感化の印象、極めて深き事が一層然らしめたことゝ思ふ。此印象は永久に磨滅す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るが如きことなきは言ふ迄もないことであるが、特に四月十六日を記念日として祝賀の意を表することは、誠に島民に取り大切なことであつて、田總督は諭告に於て、斯日を以て當年行啓の盛事を追懷し、相共に至誠奉公の念を振作すべく望まれた、洵に同感の至りである。此日我々は改めて御沙汰書を拜讀し、御思召を奉體して、和衷協力を飽くまでも實現すべく、敢て之を誓はんとする所である。本年は就中第一回の記念日で、將來の慣例とも模範ともなることであるから、誠熱をこめて祝賀の意を表せんとするものである。

―大正十三年四月十六日第一回行啓記念日に於て―

行啓當時の心持を忘れずに

官民一致されたい

總務長官　賀來佐賀太郎

實に歳月の經過するのは早いもので、本日既に第一回の行啓記念日を迎へますことに相成りました。

今から之を考へますと、全く過去の夢の如くでありますが、島内靜謐、萬民歡呼の裡に鶴駕を奉迎致し、毫も何等の事故を生ずることなく、御奉送致しました事は老若男女島内擧つて安堵致しました次第で御座います。行啓中は天候から人事、其他瑣末の事に至る迄、萬一を氣遣ひましたことは、到底言語に盡されるものでは有りませぬ。恐らく、何人も御同感で有つたらうと信じます。

然るに廣大無邊なる御盛德の由つて然らしむる所で有りませう、愈々行啓の御儀が確定致しましてからは、天候も順調に向ひ、島内官民孰れも熱誠を罩められ、骨身を惜しまず晝夜を分たず、各々其の職分々々に就いて働かれまして、臺灣開闢以來、未だ曾て遭遇せざる所の御盛儀を仰ぎましたことは、我等の生涯に於て忘るゝ能はざる所であります。實に

臺灣の歷史に特筆大書すべき誠に難有い事實であります。本日を以て行啓記念日と定め永遠に之れを島内の祝日と致しますことは、勿論前述の觀念を一層意義あることに致されれる爲で有りまして、官民上下の隔て無く皆な一樣に此の御盛儀を追想し、皇室の御尊榮を祈り奉つる次第であります。

此の如きは固より當然のことでありますが、我々島民は行啓の當時降し給はつた御沙汰書に對して又た特に拳々服膺し、御台慮に酬い奉ることを念と致さなければならぬこと、信じます。行啓記念日奉祝は此意味に於て最も意義あることゝ存じます。實に忘れんとして忘るゝことの出來ませぬ事は、恐らく行啓の當時程、官民上下一致して赤誠を披瀝したことは無いことであります。これは實に御成德の餘光が著しき奇蹟と爲つて顯れた現象でありまして、深く御成德の程を畏み奉つらねばならぬ次第であると存じます。

前述の次第でありますから、行啓當時の心持を忘れないで、苟も我が臺灣に居住するものは官民上下相一致して和衷協同、產業の發達を謀り、敎育の進步を講じ、健全なる國民的精神を發揮して確實なる社會の構成に努力し、屈せず撓まず、文化生活の向上を進捗せしめねばならないのであります。

台慮を奉體致しますことは即ち叙上の精神を事實に致しますことで、斷じて此他に出でないと考へます、聊か之を述べ行啓記念日に於ける所感と致します。

—同上—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本島施政の大綱に關して

内田總督訓示

本日玆に各官と相會して本總督の所感を述ぶる機會を得たることは頗る欣幸とする所であります。

謹みて惟ふに、我が　皇室には彌や榮えに榮えさせ給ひ、殊に　皇太子殿下には國民歡呼の裡に御結婚の盛典を擧げさせられたことは、國家の爲め慶賀に堪へない極みでございます。

尚去る十六日は　皇太子殿下本島行啓の第一回紀念の日でありまして、本島官民が擧つて祝意を表し奉つた次第でありますが、當日本總督は官民を代表して謹みて天機を奉伺し、且つ　皇后陛下　皇太子殿下竝同妃殿下の御機嫌を伺ひ奉りました。今日此席に於て各官に對し右御知らせ致すことを光榮に存じます。

國民精神作興に關しては、昨年十一月畏くも詔書を降し給ひ、國家興隆の道を明かにし國民をして其の向ふ所を宣示せられました。叡慮深遠、誠に恐懼感激に堪へざる所でご

ざいます。本總督は當時諭告を發して本島官民に對し　聖旨を奉體して毫も懲なからむことを諭した次第であります。然るに當今世間の民情を察するに、動もすれば輕佻浮華に陷るの虞あるのみならず、一面亦不健全なる思想に誘惑せられ、時に或は矯激なる言動を爲すもののなきに非らず。各官に於ても絶えず之が善導に苦心せらるることと存じます。思ふに此の時弊は全世界に彌漫せる趨勢にして、一朝一夕の能く匡正し得る所ではありませんが昨春　皇太子殿下の本島行啓に際し、教育及社會事業に對して特に御内帑金を下賜せられ、今春　皇太子殿下の御結婚に當り、更に兒童獎學の爲めに資金を下附せられ、尙又社會事業功績者に恩賜の御沙汰ありたる　聖旨を忖度し奉れば、本問題に關して吾人の進むべき針路、籌すべき手段は、自から明瞭であると考へます。即ち思想善導の根本義は先づ恒産あらしめて而して後その恒心を養ふに在りますから、今日に處するの計は、特に心を實業教育に留めて生活の安定を得せしめ、且つ同一設備、同一經費の下に、成る可く多くの效果を擧げ、以て教育振興の策を講ずるのが、何より大切なことと存じます。それに就いては、優良なる教員の充實を圖りて、地方教化の中心たらしむると同時に、各種社會事業の施設に力を致して當面の問題を解決することが急務であります。各官願くは此の心を以て心と爲し、尙進んでは人心の機微に觸れ、一般民衆の信仰に關しても、常に其の根抵に培ふことを怠らず、以て質實剛健なる氣風を涵養せられむことを切望するのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

總督府今年度の豫算は、衆議院の解散により不成立に終りましたので、今や實行豫算を編成致しまして、之れを施行しつつあるのでありますが、尙緊急已み難いものは追加豫算として、近く開かるべき臨時議會に提出するの必要があるのであります。隨つて豫算全體と致しましては未定に屬しますけれども、之を前年度の歲計に比較しますれば、更に一段の縮少を見るべきは疑なき所であります。是れ偏に中央政府の財政方針と督府歲計の都合と、相俟つて此所に至りましたので、誠に已むを得ざる次第であります。斯樣な財政困難の秋に處するには、非常の覺悟を以て之に臨まれむことを切望する次第であります。彼の徒に消極主義に偏し、保守退嬰に流るる如きは、素より排斥すべき所でありますが、さりとて積極主義を誤解して態度緊張を缺き、計畫緩急を誤り、妄に經費の膨脹を謀り、是を以て能事畢れりとする樣なことは、實に方今の大勢を無視したる措置にして斷じて今日の難局に處する所以ではありません。

殖産事業に關する總督府の諸施設は、次第に效果を齎らしつつありますが、未だ是を以て充分なりとは認め難いのであります。元來本島民の多數は農業に從事するものでありますから、先づ此の農民を對象として、農産の增殖、農家經濟の充實を企圖するは、本島産業の第一義と考へます。各官は常に内外産業界の情勢を審にし、更に農民の心理、農民の經濟及農民生活の實狀を洞察して、斷えず適當の施設を爲すに怠らざることを望みます。又工

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

業・水産業・其の他の産業に關しても、常に指導奬勵に努め斯業の堅實なる發達を期せられたいと思います。

地方行政は、各官の努力に依り漸次改善せられ、實績を擧げつゝあることは、眞に同慶の至りであります。希くは將來尙ほ一層奮勵せられて、治道の精華を十分に發揮せられむことを切望致します。就中人材の登用と官紀の維持とは、各官の深く心を用ゆべき所であります。廣く有能者を求め、適材を適所に置くは、行政の成績を擧ぐるに缺くべからざる所なるは論を俟たず。又官紀の肅正に就きては、屢々訓示した所であり、之が弛緩は實に行政の根本を傷つけ官廳の威信を損すること甚しきものなるが故、嚴に相警めて注意の上にも注意を加へられんことを希望致します。其の他事務の刷新處理及官公吏の指導啓發等に就ても、充分の考慮を加へられんことを望みます。又地方の財政に就きては、一方に於て用度を節約し、事業を緊縮して民力の涵養を圖ると同時に他方に於て時勢の進運に伴ふ施設を怠るべからず。今や緩急を謀て運用を巧みにせざる可からざる難境に立つて居ります故に能く事體の輕重大小を商量して熟慮斷行、務めて冗費を省き、能率を進め、以て勤儉力行の美風を養成し、現在諸般の施設をして遺憾なく其效果を發揚せしむる樣、特に各官の留意を望むのであります。

警察本然の職司は、國家社會の安寧秩序を維持するに在るは勿論なるが、更に進んで一

般民衆を指導し、能く共存共榮の理を會得せしめ、常に和衷協同の態度を持せしむることも亦重要なる使命の一なるを疑はす。隨つて警察官の責任は頗る重且つ大であります。警察權の行使は、嚴正公明にして而かも情理兼ね盡すことを肝要と致します。されば警察官の教養訓練に就きては、常に周到なる考慮を加へ、警察官たる精神の涵養と其の緊張とに注意せられんことを望みます。前に申しました國民精神の作興に關しても、警察官の參與を必要とすることは勿論でありますから、關係當局と相共に協力して徹底的に目的の遂行を期せらるることを希望致します。又理蕃に就ては現今幸に各官の努力に依り、蕃情靜謐を保ち居る狀態であります。此場合に蕃人の精神的方面の指導及授產其他生活の安定に向つて、一層努力するの必要あることは論を須ゐませぬ。其の他教育・衛生及習俗の改善等に關しても、充分の研究と努力とを望みます。

次に一言致したいことは、專賣事業であります。現今當府の專賣事業としましては、阿片・鹽・樟腦・煙草及酒の五種でありまして、其の成立の由來は各々異なつて居りますが、其の特種の目的に向つて事業を發達せしめ、又其の方針を誤らざる樣努力せねばならぬことは、何れも同樣であります。而して其の成績の良否は、直に總督府の財政上に重大なる影響を及ぼすものでありますから、各地方廳が專賣事業に對して直接執行の機關となり居ると間接援助協力の機關となり居るとを問はず、事業の伸展に充分なる留意を用ひられんこ

とを希望致します。

以上は施政の大綱に關し、各官に希望する要項でありますが、其の細節に亘りては更に總務長官をして訓示せしむることと致します。各官が本島の爲に益〻盡瘁せられ、邦家の進運に向つて貢献せられんことを切望致します。

—大正十三年四月二十九日總督府に開かれたる地方官會議に於て　（標題は便宜編者記す）—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地方長官會議に於て

賀來總務長官訓示

皇太子殿下御成婚の禮は　皇室の御盛儀でありまして、去る一月二十六日國民歡呼の裡に目出度御終了あらせられましたことは、邦家の爲め誠に慶賀の至りに堪へない次第でございます。畏くも　聖上陛下には御慶事の當日、減刑の詔書を下させられ、闔國の民に慶福を頒たせ給ひ、兒童奬學の思召にて御内帑金を下賜せられ、尚又社會事業功績者に金品を下し賜はりたることは、當時既に公達せられたる通りであります。茲には國民精神作興に關する　詔書を拜し、近くは　皇太子殿下行啓紀念の祝日に　御沙汰書を奉讀致しまして、眞に感激の至りに堪へない次第でございます。就きましては吾々は克く總督閣下の御訓示を服膺し、協力一致、粉骨碎身、以て聖旨に副ひ奉らねばならぬことゝ存じます。

第四十八議會は衆議院解散の結果、督府大正十三年度豫算は不成立に終り、今や實行豫算に依りて施行しつゝある次第でありますが、之が編成につきては、中央政府と熟議交渉を重ねました結果、至極圓滿な了解を得て、法の許す範圍に於ては督府の希望の悉く容れら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れましたことは、誠に御同慶の至りであります、尙實行豫算で足らない所は更に追加豫算と致しまして、臨時議會に提出すること、相成り居りますので、其の通過によりて始めて本年度の豫算全體が決定せらるゝ次第であります。而して實行豫算中特に直接地方に關係あるものは、各種中等學校の學級增加に伴ふ經費の外、基隆女學校、新竹女學校、嘉義中學校及高雄女學校の新設に伴ふ經費に過ぎません。兎に角財政困難の折柄、是等新施設の實現を見るを得ましたことは慶ぶべきことであります。督府財政の推移に就きましては前會議に於て詳細に説述致した通りでありますが、一般財界の大勢は今以て依然として恢復の曙光を認むることが出來ない計りでなく、大震災の影響としまして、年初以來稀有の輸入超過となり、圓爲替相場は慘落を呈しまして、貿易上非常なる不利の地位に立たねばならぬ樣に至つたことは我が國財界の前途をして一層暗澹たらしむべき一大事でありまして、國民の透徹したる覺醒と一大奮起とを要しますことの益々切なるを思はざるを得ないのであります。されば今日の場合、歲入の自然增收とか又は法令の改正等に由りて其の增收を計る樣なことは、到底之を望むことが出來ないものと存じます。然し一面社會の進歩は駸々として止まない次第で、文化の趨勢に應じ已み難い經費の增加を來すことは免れないことでありますから、之に處するには必ずしも舊套に泥むことなく、能く事の緩急輕重を考へて取捨斷行致したいものと存じます、地方財政の經理に關しては、各位が

深甚の注意を拂はれつゝあることは、從來の豫算編成に依りても察せられますが、今後に於きましても前述督府に於けると同一方針により、特に官公吏の能率の增進、事務の刷新等に留意し、直接間接に冗費を省きて之を有意義に轉用することに努められんことを望みます。尙は今回改正せられたる所得稅令中所謂保全會社所得の特殊取扱に關する規定の適用に就ては、先般通達を發しました通り、徒に法文の形式に拘泥せず、之が適用を愼重にし寬嚴宜しきを得て脫稅を未然に防遏することに努められたいのであります。

之を要するに、今日の財政狀態にては一般的に緊縮を計ることは必要でありますが、一面又た租稅其の他收入の成績を良好ならしむることは、財政の運用上決して忽かせにすべからざることであります。而して納稅者に對する收稅吏の言動態度の如何は、啻に是等收入の成績に關係するのみならず、延いては本島統治上にも影響する所尠くありませんから、當務者をして常に懇切周到、至公至平、情理兼ね到るの言動態度を以て事に當らしむるやう、特に各位の御注意を望む次第であります。地方制度改正後既に三星霜を經過したのでありますが、爾來敎育に、土木に、產業に將た衞生に、其の他社會事業の施設等に至るまで、頗る面目を改めました。是れ偏に各位の御努力と地方民衆の自覺とによるものと信じ御同慶に堪へない次第であります。然しながら詳細に觀察致しますれば、前途尙遼遠にして、今や僅かに其の第一歩を踏出せるに過ぎませぬ感があります。素より地方公共團體の

基礎を鞏固にし、諸般の施設を致しますには、是が研究調査及訓練に多くの年月を要すると共に、一面に於ては住民の負擔力をも考慮しなければなりませむから、何卒愼重の態度を持し、一歩々々、確實に進みたいと存じます。又一般事務の處理に就きましても、吏員をして常に其の修養に勉めしむると同時に、細心其の能率の增進に注意せねばならぬこと、存じます。各位は決して現狀に甘ずることなく、地方公共團體啓發の爲め一段の努力あらむことを、偏に希ふ次第であります。

官紀肅正に關しては、總督閣下御涖任當時、特に御訓示の次第もあり、又最近通達を以て各位の注意を喚起致しました次第でありますが、近時直接民衆に接する公務員の瀆職に關する事件、各地に頻發するを聞きますことは、誠に痛歎に堪へないのであります。只今總督閣下の御訓示にもあります通り、官紀の弛緩は行政の眞髓を傷つけ、官廳の威信を損すること甚しきものがありますから、此の點に關しては須臾くも其の注意を怠つてはならないと存じます。されど物質的文化の餘毒は其の由て來る所遠くして、單に形式一片の監督等にては、決して刷新の實を擧ぐることは出來ません、宜しく官公吏平素の行動、生活の狀態につき、周到なる注意と懇切なる指導とを怠らず、各位卒先して範を示され、官公吏員に對しては、服務紀律を經とし、責任觀念を緯として、淸廉恪勤の風格を養成し、其の自信力を傷けざらしむることに意を用ひなば、官紀自ら肅正せらるべきかと存じます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國民の精神作興に關しましては、只今總督閣下より懇篤なる御訓示を承りまして、一層の感激を覺ゆる次第であります。近時國民の意漸く驕りて、動もすれば放縦に流れ詭激に失し、又經濟界の變調に伴ひ、生活の安定を缺く爲にや、間々常軌を逸して不健全なる思想に囚はるゝ者あるを耳にするは、誠に遺憾の次第であります。此の際本島地方行政の任に當るものは理に泥ます勢に逆はず、審らかに習俗の因る所を察して、毎に民情の存する所を究め、以て徹底的に島民思想の善導に努めねばならないと存じます。苟も國民精神の作興に關する　詔書を奉體して、至誠熱心、智德の竝進に努め、以て我邦道德の大本たる忠君愛國の基礎に培ひ、義勇奉公の精神を振作し、一面博愛共存の誼を篤くせば勤儉産を治め、醇厚俗を成すの美風が、自ら生ずるに至ることゝ信じます。

前段申述べました國民精神の作興に就きましては、其の問題が重大なるだけ、其の方法手段も多種多樣でありませうが、就中其の根本たり核心たるものは、どうしても敎育でなければならないと考へます。本島敎育は近年急速の進歩をなし、異例の發展を遂げましたが、熟ゝ其の内容實質を吟味致しますれば、其の量に於て進んだ割合に、其の質に於て進んだとは言ひ難いものがあると思はれます。私は敎育上最も力を致すべき點は、人格の養成と忠實勤儉の德性を陶冶するに在ると信じます、各位願くは此方針を以て、益々敎育の内容の充實に主力を注がれたいものであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

從來內地人布敎師の布敎の範圍は、內地人本位に傾く嫌があります。若し地方駐在の布敎師をして、街庄に於て行はるゝ家長會、主婦會、國語研究會、其の他種々の會合を利用して之と連絡を保たしめ、本島人に對しても布敎を怠らぬ樣にしたならば、思想善導上大なる效果があらうかと存じます。どうか相當の考慮を望みたいものであります。

本島の產業は、各位不斷の御盡力により、各方面に於て著しき進步發達を見つゝあることは、御同慶の至りであります。然るに本島產業の一大躍進を期待して計畫せられたる三大事業、即ち日月潭電力工事並に嘉南、桃園の二大埤圳工事は、起工後財界の不況に遭ひ、御承知の如く日月潭電力工事は、大正十一年六月末以降、一時工事を中止するの已むなきに至りますし、後の二者も資金調達の途に苦み、關係者一同尠なからず心痛致し居りましたが、今回大藏當局其の他と交涉の結果、何れも一方の血路を開き得て、前途の光明を認め得るに至りました。即ち日月潭電力工事は、昨秋關東地方大震火災の爲に、一たび諒解を得たりし大藏省の援助を失つて、將に著手せむとした工事を再び中止するに至つたのでありますが、更に政府と交涉の結果、兎に角今回の中止中に要する工事關係資金は、大藏省預金部より融通を仰ぐことになつたのであります。隨つて縱ひ工事は中止して居りましても、一般の需要增加に伴ふ營業擴張の如きは、何等支障なく、且つ工事再著手の如きも成るべく早く決定致したいと考へて居ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

嘉南大圳は豫定の工事計畫に變更を加へるの必要を生じ且其の工事期間を大正十八年度まで延長した爲に、既定總工費四千二百萬圓を四千八百十六萬圓に增額することになりました。而して其の財源に就いては、大正十三年度に要する資金は、大藏省預金部より日本勸業銀行を經由して之を借入れることになり、尙大正十四年度以降に於きましても、引續き支障なく資金の調達を爲し得る見込であります。

桃園大圳も幸に日本勸業銀行の諒解を得て、大正十三年度以降三箇年間に要する資金中其の大部を借入るゝことになりました、其の不足額の調達に就いても餘り困難でない見込を立てゝ居ります。要するに桃園大圳組合事業の完成に要する資金の根本的解決は、今日之を認めることを得たと申して宜しいのであります。

本島の產業界にては今後尙一層馬力を加へて努力せねばならぬものがあるであらうと存じます。先づ主要農產たる米に就いて申しますれば、各州廳に於て農會を督勵せられたる結果、品質の向上、收量の增加、何れも大いに見るべきものあるに至りたることは爭ふべからざる事實であります、然し此際多少でも弛みを見せますと、遂に不徹底に陷る虞なしとは申されませんから、どうか督府の意の在る所を體せられ、一層の御努力を望みます。

農業倉庫は、單に產米の技術的改良機能計りではなく、農業取引上に於ける諸種の陋習を釐革して、農村經濟の刷新及改善を圖る機能をも持つて居るのであります。尤も之が創

設當初に在りましては、多少の難關に遭遇することもありませうけれども、經營主體を督勵すると同時に、一般農民の覺醒と內外米商の理解とを促し、遺憾なく其の機能を發揮せしむることに勉められむことを望みます。米穀檢査のことは、申すまでもなく本島米の聲價を發揚すると共に、其の取引を改良する所以でありまして、米種改良事業の進捗と相俟つて產業上重要なる施設であります。今回移出米檢査を州組合の事業より總督府に移管しましたことは、其の檢査事務の效果の統一と徹底とを期せんが爲であります、從來の檢査に就きましては、兎角の批難がありましたが、今後は斯の如きことのないやうに致したいと存じます。そこでどうか各州で行はるゝ搬出米檢査に關しましても、今後一層總督府に於ける檢査と步調を合はせられ、特に其の公正を期することに留意せられまして、當業者に迷惑を懸けぬ樣、又是迄の樣な苦情がないやうに努力を望む次第であります。

本島の氣候風土は能く園藝の發達に適します爲め四時優良なる果實及蔬菜を生產致しまして、啻に島內の需要を滿たすのみならず、進んで內地其の他にも移輸出を致し居り、就中、芭蕉、柑橘の如きは既に本島の重要產物として聲價を高めて居るのであります、其の他の青果物や蔬菜等の生產も亦益々有望でありますから、之が增產計畫を立て、其の奬勵に努めたいのであります。而して之を島外に出だすに當りましては、品質を向上せしめ生產費を節約して成るべく價格を低廉にし、且つ其の輸送上に就いても速達の便を考へ、

保存の途を講ずる等今後の工夫研究に待つべきものが多々あるであらうと存じます。次に

糖業に就いて一言申述べたいと思ひますが、本期の產糖は著しき增產の見込でありますが、これは主として甲當蔗莖收量の向上に原因すべきであらうと存じます。過去に於ける最高「レコード」たる大正五―六年期の甲當收量より尙超過の實を擧げ得ますることは、農事の進步を示すものでありまして誠に欣喜に堪へない次第であります。然して之を先進糖業國の蔗莖收量に比べますと、尙及ばざるものがあります。加之砂糖關稅に關する議論は、朝野の間に時々問題とせられつゝあります次第でありますから、本島糖業は生產費を低減せしむることは、甲當蔗莖收量の增進と相待つて最も緊要のことゝ思ひます、故に是等の點に留意せられ、本島糖業の發展に一層の奮勵を望む次第であります。

之を要するに、總督閣下の御訓示にもありました如く、農工業の振興といふことは、本島產業の發達上頗る緊要のことでありますので、農といはず、工といはず、之が指導奬勵は勿論、技術員の養成、普及又は原料の徹底的調査研究と云ふことに夫々努力を望むのであります。殊に農事の改良施設に就きましては、街庄の活動に俟たねばならぬものが尠くないのでありますから、出來得る丈け產業技術員を街庄までも充實するといふことに就き相當考慮せられたく、其の他小作慣行を改善することや、農事試驗場の普及を計るといふ樣

なことも産業發展上是非考究致さなければならぬこと、存じます。

本島の水産業は、まだ幼稚の域を脱しませんから、今後の施設改善に待つべきものが多多あるのであります。例へば漁業法施行の結果各地に設立せられまする、漁業組合は、其の目的が漁村の維持發達といふ點にありますから、之が共同施設事項等に就きましては周到なる指導と監督とを要するのであります。又漁港や避難港の設置といふことは漁業の發達に至大の關係がありますから、當府に於きましても目下夫々調査を致して居りますが各位におかれても亦相當の考慮を望むのであります。倘海洋調査と漁業試驗とは漁業啓發上の根本問題でありますから、之が調査の實施に對しましては過般當府及各州廳の間に於ける連絡に就き協定を遂げました次第でありますが、今後切に各位の努力を望むのであります。

本島は林業に對しましては、氣候及風土の關係上至大の天惠を享有して居るのでありますが、民營造林の發達遲々として振はないのは何故でありませうか、私は其の原因を斯様に考ふるのであります。卽ち林業は他の産業と異なりまして資本が固定しまして回收償却に長年月を要するといふこと、又一方には林野火災といふ脅威を感ずるといふことが、當業者の最も苦痛とする所であると存じます。若し造林地にして火災に襲はれんか、多年の苦心一朝にして烏有に歸しますから、進んで指を斯業に染むる者の少いのは蓋し

無理もないこと、存じます。今大正八年森林警察制度が設けられて以來、最近五箇年間に於きまする統計に徴しますと、林野火災は年平均約二百件、被害面積が八千二百甲歩の多きに達し、其の直接の損害額十二萬圓に上つて居ります。寔に寒心に堪へないであります、しかも林野火災の多くは放火でありまして、島民に浸潤せる多年の惡習、延いて林野にまでも危害を及ぼすことは、林業發展の一大阻害といはねばなりませぬ。各位は宜しく此點に留意せられまして、之が防止に適切なる方策を講ぜられ、當業者をして安心して造林經營に當る樣、努力を願ひたいのであります。

次に申上げたいことは今回國有林經營の方針を確立するの必要上、督府は十三年度より七箇年間の計畫を立てまして、全島に亘り差當り簡易なる施業案を編成致しまして、伐採箇所の確定、跡地造林の方法等を豫定しまして、森林の荒廢を防ぎ、併せて收入の增加を計ること、相成りました。本案の實行は臺中州を始めと致しまして順次他州廳に及ぶのでありますが、各地方廳に於かれては督府の意のある所を體せられまして、右計畫の實行に當りては充分の御援助を希ふ次第であります。

保險事業は社會連帶相互扶助の精神を基礎と致しまして、經濟上に於ける國民の共濟を目的とするものでありますことは、改めて申すまでもありません。普通の營利事業とは異つて社會的の意味を有するのであります。然るに近時保險業者並一般契約者に於きま

して、保險事業の本旨を忘れて往々不都合の所爲あるやに聞及ぶのは甚だ遺憾であります。仍て各位は之が監督取締に就きましては特に不斷の注意を望むのであります。抑凡そ民衆に直接する機關の言動程、民情に影響を與へるものはありませんが、殊に警察官に於て痛切に之を感じます。此事に關しては從來屢々之に言及して各位の注意を促したのでありますが、實際警察官の用意の足らざる言動の爲め、往々統治上極めて憂ふべき影響を與へますことは、今尚其の事例に乏しからぬのであります。そこで警察職員は特に常に一視同仁の施政方針を體し、同胞共存共榮の溫情を以て民衆に接する樣、指導訓誨せられむことを切望する次第であります。

理蕃に關しましては、只今總督閣下より其の採るべき大綱を訓示せられたのでありますから、吾々は總督御示の御方針に從ひ、其の實蹟を擧げることに努めねばならないのであります。目下の蕃情を見まするに、臺中州のサラマオ、高雄州及臺東廳境界の高山蕃の一部を除く外は大抵歸順しました。全島靜謐を保ち居る狀態であります。是れ偏に各位協力の結果に外ならないので、誠に御同慶の至りであります。殊に歸順したる蕃人に對しましては、撫育授產方面の事業が、進步の跡著しきを見ますことは、本官の最も愉快とする所であります。只玆に一言各位に注意を望みたいことは、近時歸順蕃人の一般風潮を通觀するに經濟觀念卽ち自己生活に對する自覺が餘程出來た樣ですから、更に進んで彼等の精神

的方面の指導並に實生活の解決卽ち生活安定の二途に向つて力を致さるゝことが眞によい機會だと思ふのであります、其の他蕃童の敎育習俗の改善醫療の普及を始めとしまして、農耕の習熟授産上の研究等、何れも皆充分の努方を願ひたいのであります。

蕃地職員に蕃語講習の必要なる所以は、前回の會議に於ても申述べた所でありますが、其の後各州廳競うて臨時蕃語講習所を設置せられ、研究を怠らない有樣で大に喜ぶべきことであります。然し本島二千六百七十一人の理蕃職員中、通譯兼掌者が未だ僅かに三百三十七名に過ぎないのでありますが、それとて大部分は習得の程度低き者なりといふに至つては、甚だ心細い感が致すのであります。今後撫育、授産方面の複雑なる指導を要する際でありますから、今一層之が研究を奬勵せられたいのであります。

理蕃の事に當りまするものは、常に注意周到であつて、而も沈毅勇敢且つ獻身的觀念の旺盛なることを特に肝要と存じます。然しながら從來蕃地配置職員に必要なる特種敎育を施しまする餘裕なかりしことは遺憾の至りでありますから、是等に對しましては平素其の敎養に充分なる注意と監督を要することゝ存じます。殊に目下各地蕃界の平穩に狎れまして士氣振はず、甚しきに至りては不謹愼なる言動に出づる者がないとも限りませぬ。是れ各位に於ても最戒愼を加へなければならぬことゝ信じます。卽ち治に居つて亂を忘れぬ用意が必要と存ずるのであります。

衛生と云ふことは極めて多岐多様でありますから、其の效果に至りましても一朝一夕に收め難いのであります。そこで之が畫策と云ふことに就ては、當初に於きまして深く科學的に研究を盡すの必要があると存じます。而して其の遂行に際しましては或は最も精確に最も迅速に、而も其の機宜を制するといふことが最大要件であらうと思ひます。只徒に形式に流れる様なことは大に愼まなければならぬことであります。彼のマラリヤ防遏事業が今尙其の實績の捗々しからぬのは、事業其のものゝ性質上急に效果が表はれぬのにも依りませうが、計畫宜しきを得ず且つ不撓不屈の精神が不足して居るのではないかとも考へられます、兎に角衛生の普及といふことは產業の發展と相待つて國利民福を增進するの基を爲すものでありますから其の執行の任に當らるゝ者に對し、今一層奮勵努力を望む次第であります。

民事爭訟調停は、申す迄もなく臺灣特殊の制度で、私權保護の一制度たることは裁判と何等異なる所はありませぬ。唯裁判に比べまして手續の簡易、費用の寡少、處理の迅速、感情の融和、といふことが本事務の長所であります。是れ最近內地に於きましても、借地借家調停法の制定公布を始めとし、延いては小作、商業、家庭又は勞働等の爭議に就き、調停制度に據らむとする狀勢がある所以であらうと存じます。本島に於きましては幸に二十餘年前より本制度を施行せられまして、爾來相當の良成績を擧げつゝあることは、各位と共に大

いに誇るに足ることゝ存じます。當府は夙に民事調停主任の會合を開きまして、實務上の協議を遂げたのでありますが、其の際各州廳より伺ひました所に依ると、昨大正十二年から私權の根本法規たる民法及商法の施行に依り、島民の私權が愈々鞏固に保護せらるゝことゝなりまして、所謂法治國民として面目を一新したといふのでありますが、之が反面には、又幾分道義人情を顧みず或は徒に淳朴なる良俗を打破して飽迄理論を以て爭はんとするの傾向が顯はれて參つたといふことであります。是は統治上看過すべからざる重要なる事項であります。各位は此の點に就き特に調停職員の指導監督につき一層考慮せられたいものであります。又數年來財界不況等の結果、事件數が著しく増加したる爲にや、往々事務の澁滯を訴ふるものあるを聞きますから、能く廳内に於ける事務の繁閑を察して、職員の配置に就き充分留意せられむことを併せて望む次第であります。

大正十二年度の專賣事業に付きましては、豫算と實績とに於て一般財界の不況と諸般の事情とによりまして收入の不足を見ましたが、支出に於て節約を計り得ました結果、總督府事業上に支障を來さゞりしことは眞に仕合と存じます。五專賣事業中の阿片は、年々所期の成績を追ひつゝあり、食鹽は前年度は稀有の豐作にて海岸地方を賑したること多大なりとし、樟腦、煙草共に大體に平調を保ちましたと申し得ませうが、酒は專賣計劃當時が財界好景氣の絶頂でありました關係上、實施消費量著しく低下致しましたことゝ、今尙

持越酒の存在致し居ります爲とて、豫定の成績を擧げ得ませぬが、消費の減少は一方より見れば酒專賣の目的に副ふたるものとも申し得ませうかとも存じます。兎に角今年度に對する專賣事業方針は前年度と異なる所なく、督府は當局者を督勵して其の使命を完ふすることに努めしむる考でありますから、各位も御意見のあるところは何卒御遠慮なく御發表相成まして、本事業の成績を擧ぐることに御援助相成りたいと存じます。

尚各般の具體的問題に至ては、諮問事項、指示事項、注意事項等、それ〳〵の場合に於て、本府の所見を述べ、又各位の御意見を伺ふことゝ致してあります。開會の初に當り以上所感を述べて訓示と致します。

—大正十三年四月二十九日臺灣總督府に於て—

臺灣と對岸との關係に就て

内田總督訓示

今回外務省と打合の上、當地に對岸領事會議を開催すること、相成ましたので、對岸領事並に外務當局各位が遙々遠路の處を御光來下さいましたのは、詢に感謝に堪へぬ所であります。私は昨年九月、臺灣總督の大命を拜しまして、當地に莅任致しました。將來公私共に、前總督に對すると同様の、御交誼に與りたいことを御願致します。私は著任後早々、諸君の會合を煩はしたいと存じましたが、昨年は六月に會議が開かれましたばかりで、あまりに接近して居りますことゝ、著任後當方の事務も多忙でありましたので、本年を待つことに致しました。幸に外務省にも南支那方面の領事會議を當地で開催したいと云ふ希望もありまして、同時に當府の會議を開くことに致したのでございます。私は明治四十三年以來、民政長官として當地に在任致したことがございまして、臺灣と南支との關係の重要なることを、實際問題に就き理解致したことがあります。當時の總督は佐久間大將でありまして、私は同總督に對し、對岸領事の會合を開催して臺灣と南支との關係を一層密接なら

しめたい、と提案致しましたことがありました。佐久間總督も素より異存のある譯もなく、直ちに御賛成を得ました。而して私が上京の際、外務當局にも打合せたことがありましたが、當時何等かの都合があつてか實行に至らず、其中佐久間總督も私も退官することになりまして其儘に終りました。其後大正十年に至り、田總督の時代に對岸領事會議が開催せられたることを聞及びまして、頗る滿足致しました。誠に偶然のことでありますが、私は再び當地に奉職することになりまして、此度茲に曩に計畫致しました領事會議に出席して親しく領事各位に御面會することを得るに至りましたことは、洵に喜悦に耐へません。我臺灣も歷代總督の指導と、和協せる官民の努力との結果、屢々として進步の趨勢を呈し、行政・司法・教育・衞生等は申すに及ばず、就中農工商等經濟的生活は、次第に顯著なる發展を遂げんとしつゝあります。而して我臺灣は、南支・南洋交區の衝に當り、之れと頗る密接なる經濟關係を有し、善隣の交誼を厚ふすると同時に、相互の利益を增進すべき天職を有すと認められます。殊に南支各地とは僅かに一葦帶水を隔つるに過ぎざるのみならず、其住民の間にも親密なる關係を有することは明かであります。隨つて兩者の親善をして日に月に深厚を加へしめ、共に文化の發達を遂げしむることを努めしむるの必要なるは論を俟たず。是れ本官が府員を督し、對岸領事各位と協調して、達成を希望する第一義であります。

是れより臺灣及臺灣對南支關係に付一言致します。臺灣の事情に就ては、客年六月對岸

領事會議を開催したる際、當時の總督田男爵より繰述せられたる所がありましたが、其以來餘り變りたる廉もありませぬが、重立たる二三の事項を述べますれば、先づ新刑事訴訟法施行に付勅令其他律令の制定あり、次に內地に於ける關東地方大震災に際し、我臺灣の住民は非常なる同情を表し、先を爭ふて義捐を爲し、醵出金の額百四十餘萬圓を超過致しました。更に本年二月我　皇太子殿下の御慶事の擧行せらるゝや、我島民は歡喜措く能はず。所謂手の舞足の踏む所を知らざるの情況でありました。是れ臣子の分として當然ではありますが、昨年殿下御渡臺の際、我島民に與へられたる御感化の深厚なるに因ることも、疑を容るべからざる所であります。臺灣の經濟界は一昨年以來、不況の儘で引續きて居りましたが、震災に依り一層其影響を深ふ致しました。內外貿易も亦大體不振でありました。臺灣も亦內地と同樣に輸入超過と相成りました。產業に就ては著しき變化もありませなかつたが、昨年下半期には降雨少なく、農作に尠なからざる影響を與ふるの虞を懷きましたが、幸に夫れ程の損害もありませなかつたのみならず、砂糖の如きは意外の好結果を穫たのであります。一言にして之を謂へば、臺灣の現狀は、上層は歐洲戰役の結果として生じたる不景氣の犧牲となつて、未だ恢復せざるものが尠くないが、下層は次第に景氣を恢復したものが多く、生活の安定を得つゝあり、と申して宜しからうと存じます。

次に臺灣對南支の關係に付一言致しますれば、上海以南の各地に於ける臺灣人の數は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年々増加の趨勢を示して居ります。就中福州廈門に於て著しいと存じます。其結果は彼我の經濟關係を發達せしめ、日支兩國民の融和を厚ふするに效果あるは、疑を容れないと存じますが、支那に於ける政治は、相變らず安定を缺き、時々臺支人間に鬪爭を生じ、駐在領事各位の甚大なる御努力に依りて、辛ふして解決を見るを得ること一にして足らず。是れ本官の深く遺憾とする所であります。其例を擧ぐれば、昨年九月の廈門に於ける臺吳事件、本年一月以來の廈門に於ける臺灣人被害事件、本年二月の福州に於ける臺灣人被害事件の如き、其最も顯著なるものにして、當該領事各位が之に對し採られたる勞苦は、實に容易ならざるものあり、今や此等の事件も、或は既に解決を告げ、或は解決を告げんとする經過中に在るものあり、双互の關係は次第に良好ならんと致して居ります。此上は領事各位の一層の御努力に依り、能く支那官憲と協調を保ちて、各地に於ける生活の安定を得せしむることに、御骨折を得たいと思ひます。臺灣人の中に素質の宜からざるものもあるやの報告もあります。當方に於ては此等の臺灣人に對しては、相當の取締方法を講じつゝあります。

次に臺灣と對岸との經濟關係であります。對岸には從來日貨排斥の聲がありまして、今尙續行せらるゝは、本島と對岸との關係上、誠に遺憾と存じます。我臺灣の貿易は、外國關係に於ても、大正十一年六千七百萬圓より、大正十二年六千八百萬圓に、內地關係に於ても、二億九百萬圓より二億四千萬圓に、增加して居りますが、外國關係中の對支貿易に就て丈は、

大正十二年は二千九百七十餘萬圓で、之を大正十一年に比すれば、百四十九萬圓を減少して居ります。臺灣としては、對岸貿易に最も重きを置きたいと存じますのに、斯の事實を見るは頗る遺憾であります。今や本島產業は益〻發展の域に進み、各種工業品の生產增加と共に、之が輸出增進に就ては、一層の努力を要する所でありまして、領事各位の深き御援助を假るにあらざれば、目的を貫徹することが出來ないのは、素より其の所であります。又一面對岸各地に於ける工業に就ても、其事情を詳悉し置く必要があります。領事各位は、其の資本及原料需給の情況と共に、工業の現況及趨勢に留意せられ、各地に於ける商業會議所の意向等をも參酌し、適宜報導を寄せられんことを希望致します。

次に臺灣の對岸に於ける文化的施設に就き一言致します。臺灣總督府は、領事各位の御承知の通り廈門・福州・廣東に病院を設置し、臺灣人及對岸住民の診療に便宜を與へて居ります。汕頭にも病院の設置に着手中であります、右病院の施設は、年を逐ふて次第に發展し來りまして、對岸各地に於ける民生が、騷擾の爲め安定を得ざるに拘はらず、病院は何等の影響を被むることなく、出入患者は日に月に其員數を劇增し、頗る好成績を示して居ります。是れ當該地方に於ける領事各位の指導宜しきを得たる結果と存じます。本施設は、日支親善の目的を達成するに、直接に有效なる手段でありますので、領事各位に於て、尙將來舊に倍する御注意を賜はらんことを希望致します。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府は、對岸に於て文化的施設と致しまして、病院の外學校の經營に從事致して居ります。福州に東瀛學校、厦門に旭瀛書院、汕頭に東瀛學校を設置し、其他福州・厦門・汕頭・各地の尋常高等小學校に教員を派遣し、更に最近に廣東日本人小學校にも教員を派遣することになつて居ります。此施設も亦在留内地人又は臺灣人に在住の安定を與へ、其結果日支親善を計るに效果あるものと認められます外、内地人若くは臺灣人の教養上、大切の結果を臻すものでありますから、申すまでもなく領事各位に於て、充分御留意下さるゝ事とは存じますが、此上ながら御配慮ある樣本官よりも願ひ置きます。

對支文化施設に就きましては、昨年對支文化事業特別會計法が制定せられまして、將來此方面の事業に力を盡されることになりました當時、外務當局の説明に依りますと、十二年度に於て歲入の約三分の二は積立金と爲し、三分の一許を直接に事業に支出することになつて居つたと承知致して居ります。十三年度は豫算不成立でありますから、如何に所置せらるゝや承知致しませぬが、多分は右の範圍内に於て處理致さるゝことゝ存じます。本官は先頃上京の際、松井外務大臣を訪問して右資金を南支に於ける文化事業にも支出せらるゝ樣依賴致して置きました處、外務大臣は當方の意のある所は諒とするが、十三年度に就ては既に支途も大體極まつて居るから、目下直に依賴に應ずることが出來ないとの御話しでありましたから、將來充分考慮を用ゐ呉れらるゝ樣希望を述べおきました。對

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

岸領事各位も勿論御同感と存じまするので、共に共に茲に御列席の外務省を代表せらる御兩君を通じて、南支各地に就ても文化事業の資金を支出せらるゝ樣、取計はれ度旨を開陳したいと存じます。

終りに、當府專賣局の事業に關し簡單に御耳に入れて置きたい廉が御座います、當府專賣事業は、樟腦を始めとし、煙草・鹽・阿片・酒に至るまで、直接間接對岸に關係を有せざるものはありません、夫れ夫れ御援助に依りて專賣事業を發達するに資する所ありたいと存じます。

以上は簡單に本官の所見を開申したのでありますが、各問題とも內容に入り詳細の研究を必要とするは論を俟たざる所なりと存じますから、夫等に就ては、總務長官始め關係各局長より巨細に亙り說明を致させますから、充分に御意見の存する所を御漏らし下されましで、今回の會議も前三回の會議と同樣、有意義のものと致したいと、希望を申述べまして御挨拶と致します。

—大正十三年四月十日對岸領事會議に於て—

總督の心を以て心とせよ

内田總督訓示

本日當練習所に於て警察官、司獄官修了證書授與式を擧ぐるに際り、本官親しく茲に臨席することを得たことは深く欣幸とする所である。本官は曾て民政長官として本島に居つたことがあつた、當時屢々當所に出入したこともある。其後病氣の故に本島を去つたが、常に當所の成績に就ては念慮を放すことが出來ないのである。殊に或時代には民政長官として警務總長を兼て當所に直接の緣故を持つて居たことがあつたのである。卽ち當所の成績が臺灣統治の全體に深き影響を持つて居ると云ふことは、聊か承知して居た所である。本日茲に更に警察官、司獄官修了證書授與式を擧ぐるに際し、親しく臨席することを得たのを殊に深く愉快に感ずる次第なのであります。

只今所長の報告に依ると、前年に比較して大體成績が良好であつたさうである。是れ亦頗る滿足に堪へぬ所と思ひます。

諸君は之から任地に行つて皆それ〲警察、司獄の幹部に當られるのであり、次第に諸

君の職責が重きを致すことゝ存せられるが、今後益々自重されることを希望致すのである。殊に本島は内地と異つて内地人もあれば本島人もあり、若は地方に由つては生蕃も居る、住民が種々になつて居る。此の各方面に對し充分に職責を盡くすことは、又蓋し容易でないと思ふ。加ふるに文化は次第に發達して、世界を擧げて種々の思想が波動して居る時代であり、又種々の方面に就て、益々知識を研鑽することを必要とする時代であるから、諸君の當所に於て修得する所の學科も次第に多きを加へ、又直接職務を執行するに方つて、知識を應用する事柄が益々多くなつて來るのは言ふまでもないことゝ思ふ。然しそれ等は平素の教習に於て修得され居り、只今修了證書を交付されるに當つてなされた所長の告辭に因て、警察官司獄官の心得べき事は充分了解されたものと考へる、其の點に就ては述べる必要はないと思ふ。本官は本島に就任して以來斯樣に考へて居ると云ふことを一言述べて、當所の練習を終れる諸君が、是れから實際の職務に當るところの參考に供し、記憶を願ひたいと思ふのである。

私は昨年の九月震災の後大命を奉じて、直ちに當地に赴任することに相成りました。不肖にとりましては非常の大任でありまして、實に恐懼措く能はざる次第で御座います。是れに就て不肖自分は、どう云ふ考を持つて本島に職を奉じたならば良いかと云ふことに就て考慮致しました。自分は年來　明治天皇陛下の御製を拜讀することを自分の務と致

して居るのであります。毎日自分は起床後、顔を洗ひ口を嗽ぎ身體を淨めて後　陛下の御製を集めたものを拜讀することに致して居ります。それから數日前小公學校長講習會の諸君が本官の官邸に集まられたことがあつた時にも、其の事を述べたのであるが、この御製中に種々國を思召され民を憐ませられる御言葉が澤山あります。就中其の時にも申した。

　曉のねざめしづかに思ふかなわがまつりごといかゞあらむと

と云ふ御製の如き　明治天皇陛下は終始間斷なく、御政治の事に就て如何であらうと御思召あらせられ、御寢覺の折節にも、國民のことを御念慮に置かせられておいでになつたと云ふことは、御製に因つてよくわかる又

　照るにつけくもるにつけて思ふかなわが民草のうへはいかにと

矢張之も國民を深く思召されて居られると云ふことは、これによつてもわかるのであります。

　其の他　陛下の御製の大部分は殆んど皆直接に國民の事を思召され、其の意味を御現はしになつたのでないものはない位で、誠に恐懼に堪へぬことゝ存じます。私は就任以來明治天皇陛下の國民に對する御思召が如何に深かつたかと云ふことを恐察いたしまして、二六時中臺灣の政治上に遺憾なきことを心配しなくてはならないと兢々として恐れ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て居ります。

昔のことを考へて見ると、私が愛讀する書物の中に、唐の太宗と云ふ天子の貞觀と云ふ年號の間の政事の事を書きあつめたものがある。其の内の一節に

貞觀二年太宗謂二侍臣一曰。朕每夜恒思二百姓間事一或至二夜半一不レ寐。惟恐都督刺史堪レ養二百姓一以否。故於二屏風上一錄二其姓名一坐臥恒看。在レ官如有二善事一亦具二列於名下一朕居二深宮之中一視聽不レ能レ及レ遠。所レ委者惟都督刺史。此輩實理亂所レ繫。尤須レ得レ人。

矢張唐の太宗の如き名君になると符節を合せたるが如く。　明治天皇陛下が深く國民を御思召されたると同樣に、國民のことに就て深く考慮を用ひて居たことが明かに判るのである。私共も　大命を拜して臺灣に莅任する以上は、身分の如何に拘らず、常に此心を以て人民に接することが必要であらうと思ふ。每朝顏を洗ひ口を嗽ぐと　明治天皇陛下の御製を拜讀致しまして、常に自分の心に穢れや濁りのないやうにして、　大命を奉じて聖恩に對し、御答へしたいと思ふて居るのであります。本官更に思ふ諸君も臺灣の政治に參與するのでありますから、矢張同じやうな念慮を持つて其の職務に當つて頂きたいと存ずるのであります。即ち諸君は既に制度其他諸種の學科に就て御研究になつて居るが、それを運用するに當つて、更に種々の點に就て心得を要し、それに就て上司から懇篤なる訓令もあるが、本官は大體の考として恐れ多いことではあるが、　明治天皇陛下の御製

を拜讀して、其の思召を奉戴して事務に當つて頂きたいと思ふのであります。

更に他の方面に於いて一言申述べて見たいと存じます。それは先頃逝去された亞米利加のウヰルソン氏の説であります。氏は歐羅巴の大戰爭の終了に際し、ヴエルセーユの平和會議に臨み、條約を締結するに際し大切な人でありました。此人が昨年我震災の少し前に、某雜誌に論文を書いたことがある、夫れを別刷にした書物が出來て亞米利加の友人から私の處に贈つて呉れた。氏の意見は、

今の世は如何なる世ぞ、各種の危險を包藏する暗影前途を罩めて、世を擧げて不安と恐怖とに戰くの時ならずや。此の際自ら身邊を警め、迫り來る厄難の原因を究め、之を廻避すべき最も適切なる手段を考慮せんと試むるは、蓋し當然の要求なりと謂はざるべからず

と書き出してある。其の中に斯ふ言ふことがある。

法律家は一般に公平なる「ルール」の迅速且つ普遍的なる適用を以て正義と解するも、吾人は之を解してキリスト教文明と爲さんとす。キリスト教徒の解する正義は法律家のそれに比し更に高尚なることを要するものにして、卽ち同情、共助及他人竝社會一般の安寧、幸福及滿足を增進する爲、利己心を拋棄する等を以てその內容と爲さざるべからず。

近頃の人間は、政治上なり、社會上なり、若は經濟上なり、自己の要求を滿足させる爲めにのみ汲々として、遂に爭鬪を惹起し、歐羅巴大戰爭の如き非常なる悲慘の結果を招來するに至つた、今日世界の混濁を清淨にするには、人間が利己心を去らなければならぬと思はれる。自分が此書を讀むと數日たつて大地震があつて、東京竝に附近の各地には前古未曾有の損害を來たしたのである。或人は今日邦人が贅澤になり、自己の慾望を遂ぐることにのみ汲々として、道德を顧みなくなつたので、　明治天皇陛下が訓戒を與へられたのであると云はれたと云ふ話がある。實際我國に於ても近頃外國の風潮にかぶれて思想界が混濁して來た。ヴキルソン氏が言はれた樣に互に大に警戒しなければならぬと思はれます。本官は其の後間もなく當地に赴任して、十一月一日地方官會議を開きました。其の時本官が訓示を致しました中に箇樣なことを申しました。

茲に考慮すべきは知能の啓發に伴ふて起るべき餘弊として、動もすれば驕慢を生じ放逸に流れ無節制に陷り、輕佻浮華の風を釀成する一事であります、願くは本島に固有の淳朴なる禮讓を尙び、師父を敬ひ老者を重んずるの良風は飽まで之を助長することに注意されたいと思ひます。

然るに恐多いことでありますけれども、本官の最も心配致して居ることに就て十一月十日に「國民精神の作興に關する御詔勅」の發表がありました、此　聖旨を拜讀致しまする

に、今日の狀態に最も痛切なる御思召であります。然し本官は一方に此の如き　詔勅が御發布に相成らねばならぬことになつたことを誠に遺憾とするのでありますが、誤つて改むると云ふことは吾々國民として必要なことである。既に國民精神作興に關する御詔勅が發表された上は、吾々國民は　大御心の存する所を服膺して　聖旨を奉戴して行動するやうにしなければならぬことは無論であります。諸君は　聖旨のある所を克く諒知されて居ることゝ考へますから、茲に長く申上はしないが要するに、實に此詔勅に御指示ある通り、人智の進むと共に　浮華放縱の習ひ漸く萌し、輕佻詭激の風も亦生ずるに至り。此時弊を革めなければ國家の前途憂慮すべきものあり。國民は敎育の淵源を崇びて智德の竝進を努め、綱紀を肅正し、風俗を匡勵し、浮華放縱を斥け質實剛健に趨き、輕佻詭激を矯めて、醇厚中正に歸するに努力しなければならぬと存じます。私は御詔勅の御思召を常に服膺して、敎育は唯其の智慧のみを磨くことはいかぬ、道德と併行して行かなければならぬことに力を盡したいと存じます。此事は敎育當局にも注意を促したのであります。先程も申したやうに警察の事に從事して居るものは、殊に綱紀を肅正し風俗を匡勵し、浮華放縱を斥けて質實剛健に趨き輕佻詭激を矯めて、醇厚中正に歸せしむる樣人民を指導して行かなければならぬ。是れは諸君に對し多きを望むやうであるけれども、諸君の職務上必要なことでありますから、職務を執行するに箇樣に考へて頂きたいと思ふのであります。本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

官も自分、で自分の職責を完ふするに、常に此精神をもつて行かなければならぬと考へて居りますので、諸君も同じ考を以て事務を執つて頂きたいと希望するのであります。本官は臺北に居るが、諸君は地方にて親しく公衆に接觸して居らるゝので、最も大切なる位置に居らるゝのでありますから、どうか只今本官が申したやうに本官と同じ考を以て、夫れ夫れ其の職務を履行されることを希望するのであります。尙ほ平常の職務に就ては上司を經て諸君に種々通牒する機會もあらうと思ふ。

今日は幸に茲に修了證書授與式に臨み諸君が地方に赴かれる以前お目にかゝることを得たので、聊か本官の切に希望する所を御話した次第であります

―大正十三年三月二十五日警察官及司獄官練習所に於て（標題は便宜編者附す）―

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

帝國工業の將來に就て

東京帝國大學教授　工學博士　鴨居　武

一

我が國工業の將來に就ては、世人の既に知る如く第一に其の原料の不足といふ憂患がある。由來日本は領土も狹く、隨つて一般の鑛產物にも缺乏して居る。鐵に於て、燃料に於て、其他鑛產物又は食料品に於て、皆な不足を告げざるは無い。米國の如きは國土の廣大なるが爲め、總てに於て豐富であり、其上に尙未だ探檢せざる部分も非常に多いやうであるが、我國はそれに比して探檢も行屆き、加之も大體に於て今後の產出を缺く——多少の新發見は有らんも——といふ狀態で、前途は實に心細いものである。而して燃料の不足は主として石炭の不足であつて、之は世人の知る如く海外にも輸出されてあるが、其の前途は五十年若は百年にして悉く採掘し盡さるべしと言はれてある。隨つて其の節約方法に就ては心あるもの、齊しく留心する所

である。石炭に次いで不足なるは石油で、近時一般の燃料殊に軍艦の燃料として石油は其の唯一のものであるが、日本內地に於ける其の產出額は洵に僅少なもので、平時に於てすら帝國の海軍に供するに充分ならず、況んや戰時に於ておや、一旦外國の供給の絕えた場合には何とも仕樣が無い。石油の中には重油と揮發油とあつて、揮發油は近時自動車・飛行機等に燃料として使用されるが、是亦た不足の爲め酒精を以て代用して居る。然るに酒精を代用されない重油に至つては、其の不足や實に前途寒心の至りである。今一つは動力の事であるが、石炭を節約するに於ては、動力は水力電氣に俟つの外な無い。然るに日本は水力の特に多き所で、電力は非常に豐富なりと吹聽されてあるが、實際に就て視ると、水力電氣は今日既に各所に於て著手されてあり、容易に發電し得らるべき相當の場所は殆ど盡きて居る。隨つて今後に試むべき場所は巨額の工事費を要する所であるので、結局、水はあるが容易に利用し得べき水力は缺乏して居るのである。不足は即ち不廉で、高くとも可なれば不足は問題にならぬが、低廉を欲すれば不足を感ずる。何れにしても非常に都合の惡い狀態に置かれてあり、前途之も心細い次第である。

原料の不足は大體右に擧げた狀態であるが、工賃に於ても不廉は甚だしい。從來日本は工賃に於て至廉であり、世界的に競爭を爲し得べきものとされてあつたが、大戰以來急激に昂騰を來たして容易に低下せず、現在に於ては非常に高いものになつたが、若し此の勢にして挽回の途なくんば、前途大いに考量を要すべき問題であらう。次に又た諸物價の不廉なることも、是亦た工賃の不廉と同じく問題となつて居る。工賃不廉の理由は物價の高きに歸すべく、或は生產費の高き理由もあらんが、兎に角、物價の騰貴は工賃不廉の一因を爲して居る。隨つてそれから產出した高い物資は以て外國品と競爭することは困難であつて、此點に於ても行き詰つて居る。今一つ困るのは謂ゆる新思想の侵入で、工業界に於ける從業者が一般に資本家に對して反抗的態度を執るやうになり、職工なども中々使ひ惡く、命令が容易に行はれない。其の結果は給料が益々高

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

くなつて其上に休日を要給する。結局種々な點から製造品を高くする結果になる。以上列擧した所は、現に我が工業界に橫はつて居るものとして私の想像した所のものである。吾人は如何にして之を匡救しやうか。

二

以上の外、我が工業不振の原由たるものは之を仔細に考ふれば尙は數多いことであらう。然し上述の原由中、其の一つが存してすら工業の前途は頗る心細いものであるのに、それが同時に五箇條六箇條も併存するとすれば、我國工業の前途は果して如何。若し之を此の儘に放置せば、昨今の輸入超過は終止する所なく、國民の膏血は搾り盡されて國家の運命も圖り知るべからず、工業は無論絕滅に歸すべきであらう。而して之が救治策としては、其第一として先づ原料調査機關の設置を提唱したい。謂ゆる原料調査機關の設置は、政府に於て其の專門部局を置くを可とすべし。勿論現在に於ても各方面に於て種々の調査は間斷なく行はれつゝあり、其の調査の結果を蒐集すれば余が謂ゆる原料調査機關の設置と同一の效あるやも知れず、然かも其の調査は系統連絡を有せざるが故に、例せば工業原料の產出狀態等に就き適當なる資料を得るに難く、假りに其の調査ありとするも、實行家との間に連絡が保たれて居ない。例へば二十年後に於ける製紙の需用增加の豫想に對し、原料「バルプ」の木材栽植の必要を報告する。或は五十年後に於ける豆油製造の發達を豫想して之に對する準備の必要を報告する。然かも需要者と生產者との連絡機關が今日成立して居ない。各地方〳〵に於て斯る機關を設けて各地方互に連絡を執るも一の方法であるが、兎に角、中央政府に原料調査局を置かば、總ての產出狀態は明瞭を致すであらう。次に調査の實施方法に就ては、曾て米國に於て、白金の產出を調査せんとするに當り、各地より總ての鑛石を送り來らしめ、全國に徵して二百有餘種の礦石を得、其の結果白金を含有するものを發見し、遂に白金の產出を見るに至つた。之も原料調査の一方法でありませう。但し

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國の此の調査方法は盲ら滅法のまぐれ當りであるが、其の結果より云へば之も一つの調査方法であり得る。又た現に産出するものを統計に取りて增産させることも一方法である。而して原料は大體、鑛産物、農産物、林産物、水産、畜産の五種類であるが尙ほ其他に化學工業の廢物など或る意味に於て原料の一つとなるので、結局六種類に區別される。是等の原料を調査すべき機關を設置することは、先づ我が工業原料の不足に對する救治の一手段であらねばならぬ。

三

次に原料不足の場合に處する第二の方法として代用品の研究を擧げる。聞く獨逸に於ては戰前幾多の鑛山を領有し、特に鐵石炭等に豐富にして、之を利用するの工業も盛んに行はれたりしが、戰亂中、其の鑛山の七割以上を失ひ、殘るは僅かに三割許に過ぎず、原料不足のため非常に苦められた。是に於て鐵に代用すべき「アルミニユーム」の製出に努め、戰前千噸の産出に過ぎざりしもの―日本は「アルミニユーム」を産出せず、戰前五百噸を輸入したり――戰時中、非常に苦心の結果、鐵の代用として一萬噸を産出するに至つた。然るに戰後一昨年頃の調査によれば、其の産出額は三萬噸の多きに達したといふことである。而して「アルミニユーム」は輕く且つ强きが故に鐵の代用たり得るは勿論、赤銅にも代用して發電機となし、電線ともなし得べく、特に其の品質は流石に獨逸製丈けに非常に優良で、「アルミニユーム」に於ける先進國たる米國品を凌駕し、最良品を要する場所には米國品にては間に合はず、爲に「アルミニユーム」を獨逸より米國に輸入するの勢である。其他羊毛代用品其他種々の代用品も研究されるが、是等の研究は總て原料不足の場合、に執らるゝ方法である。之に就て申したいのは、燃料の代用品としての酒精である。重油に就ては代用品の見込は立たぬが、揮發油に就ては酒精が代用し、又た「ベンツォール」も代用し、「ナンプチリン」からも代用品が出

來る。但し後の二者は產出量が無限でないから非常な增產は出來ぬ。然るに軍用自動車・飛行機等には「ベンツォール」を用ふるが、無限に其の燃料を得られぬ點から、酒精が著眼されて、專門家は今や大いに酒精の增產に努力して居る。幸ひに酒精の產出は無限であり、特に本島の如き製糖業の盛んなる所に於ては、糖蜜を以て酒精を造ることが出來るし、其の成績も亦た良好であり、糖蜜も亦た有り餘つて居るのは、燃料代用の意味からして實に惜しいことである。何れかと云へば糖蜜は酒精を造るを目的とし、尙ほ糖蜜の外に甘藷、馬鈴薯からも酒精を造ることを研究したい。而して酒精は平時に於ては他の工業の目的に使用し、非常時には非常用として直ぐ間に合ふやうな製造方法にしたい。例せば染料の工場が非常時に直ちに爆藥の工場と爲り得る如く、酒精の如きも平時には他の目的に使用せしめ、有事の場合直ちに酒精を使用する準備を執りたいのである。

四

次には、單に原料產出の調査のみならず、同時に利用の途を研究することが必要である。夫れは新らしい原料を利用することの研究であつて、其の研究機關としては現に、東京、大阪の工業試驗所、又は大學の小さな研究室を初め其の機關は相當にあるが、未だ以て足れりとしない。大學の如きは敎授を主として研究を迂遠なりとせし結果、研究が大いに迫害された。然し發明にせよ、新事業の勃興にせよ結局は研究の結果である。外國では其の研究の結果を利用して新事業を爲し居るのに、日本では多く其の事業を外國からソツクリ購つて來る。そして研究には重きを置かない。民間各會社も研究の爲に金を出すのを惜んで居る。夫れも戰時中には研究の必要を自覺して競つて研究所を設置したのであつたが、一旦戰爭の終るや皆な之を廢止し、或は之を縮少した。要するに研究所を設けたのは金が儲かつた爲に面白半分にやつたのであるが、焉ぞ知ら

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ん、研究の必要なるは却て今日の如き不景氣時代に在るのを。然るに外國の機械をソックリ購ひ來るが如きは、其の當座は夫れで可ならんも、永久的には又た直ちに外國の後に落つることになる。故に各會社、各團體とも夫々財團組織の如き研究所を設置すべきである。外國には種々記念財團的のものがある。我國に於ても此種の研究所を澤山に設置して今日の十倍二十倍となし、同時に研究奬勵、差當り新原料の利用を研究せしめたい。其の結果は現行特許法の特權を與ふる計りでなく、尚ほ其の發明者を優待若は懸賞方法等にて授賞し、大いに研究奬勵に努力せなければならぬ。卑近な例であるが、米國で或る麵麭屋の主人が、從來の麵麭製法を今少し有利のものに仕たいとて、去る財團法人の研究機關に依賴した。其の研究所に於ては、最初は普通の麵麭で試みに鼠を飼育した。所が其の鼠は段々衰弱して死ぬ。今度は窒素分の多い麥の根の所を麥粉に混じて麵麭を製し、それで鼠を飼育したるに、前よりは長く生存したが矢張り死ぬ。今度は牛乳を加へて蛋白質を含む麵麭を製し、それで鼠の飼育を試みたるに永久に活きて居ることを發見し、是に由りて人間に必要な麵麭を製することを研究し得たといふことである。又た或る工場に於て、矢張り依賴を受けて麵麭の製法を研究した。それは麵麭の製法の工程を詳かに調べたもので、パンの粉、水の量、それに加へる種の量、練る時間、練つて保存する溫度、型に固めて保存する溫度、燒竈に容る丶溫度と時間等を出來る丈け細かに、分解的に化學的に研究した。其の結果は非常に有益なものを得た。爲めに其の工場のパンが大いに歡迎されて、お隣りの工場は大恐慌を來したといふ話である。其のパンは味が佳い上に一齊機械に依るので人手を使はぬのであるから、賃銀の高い米國に於て、廉價の點からも歡迎されたものと思ふ。此の如くパンのやうな日常用のもの、殊に外國では何千年以來の必需品たるに拘はらず、尚そこに研究の餘地を存すとせば、日本の米飯にも必ずや研究の餘地あらん。其他總ての工業的工程に就ても亦た研究の餘地は多々益々多からんと思ふので、是等の研究を大いに盛んならしめたい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五

次には無駄を省く工風である。之は獨り工業上のみでなく一般社會にも其の必要を認めるが、特に工業上に就ては無駄な手數の爲に非常に不便を感ずる。例せば我國の度量衡の如きも區々に亙りて非常に不便なるが爲め之を或る一種のものに統一するを要し、度量衡調査委員會に於ては遂に「メートル」案を採用するに決し、議會の協賛によりて法律として公布せられ、其の實施期日に關する勅令の發布を待つて居る次第であるが、「メートル」法にして一たび實施を見ば一々換算する必要も無く非常に無駄を省くことになる。今一つは、工業品の規畫を統一することであるか、之は聯合工業調査會に於て決定し、其後農商務省に於て委員を設け、目下其の調査中である。例せば木材角物何號と云へば其の大小が一定して居る。或は鐵板で何番と云へばす法が畫一的に一定して居る。斯かれば製造者消費者共に非常に便利である。現に福岡の製鐵所の如きは種々な註文の爲に大小色々の鐵材を造るのに非常な無駄を感じて居る。木材の如きも我國の慣例は複雜極まりなく非常に亂雜である。其他銅線電線等には其の番號に英米種々のものがある。是等を總て統一すべく目下調査中である。之を統一するに就ては、從來使用し來れる英、米、獨等の機械を統一する上に於て、一時的の損害もあり困難もあらう。之を改造して將來日本工業界の無駄を省く爲には、工場は犧牲的の觀念を以て改正法に服從するを要し、一時的の不便損害は之を犧牲に仕て貰はねばならぬ。又た「メートル」法を採用すると、從來我々の使用せし寸尺は之を廢さなければならぬので一時不便を感ずるに相違ない。玆にも國民全體として犧牲的の氣分を以て服從しなければならぬ。「メートル」法は初め佛國に始まり、之を全國に普及する迄には四十年の歲年を要した。然るに獨逸は三年にして之を全國に普及した。四十年と三年と、其處に年月に多

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大の相違はあるが、彼此大いに時勢を異にせるに因る。然し兎に角三年で普及したのは偉なりと謂ふべく、日本は果して幾年にして之を普及すべきや。要するに全國的に社會一般的に無駄を省く所以であるから、お互は一時の不便を忍んで之を勵行するに努力せねばならぬ。

六

次に諸物價及び工賃の不廉に對して執るべき手段如何、物價引下げに就ては曩きに我が政府も努力されたが、其の效果は割合に見えなかつた。之は官民の一致協力を要するが、其の手段は如何にせば可ならんか、中々重大問題で、餘程思ひ切つたことを爲るより外に無い。諸物價の騰貴に伴れて電話料が昂がり郵稅が殖える。且昂がつたものは容易に低下せぬとあつては隨分心細い。而して之が救濟方法は先づ一般の經費を節約するに在る。米國邊では宴會に肉を二品に限り、又は送迎其他一般社會的の贅費を廢止する等、其の方法は種々あるが、要するに無益の經費を省いて物價の低下に努むることが一方法である。今一つは勞力を省き、成るべく機械を代用することも一方法である。尚ほ其上に能率增進を研究し、同じ職工でも成るべく多くの働きをさせる。或る瀨戸物工場で乾燥棚の位置を改めて職工の背後に置くことにした。其結果は從來一つ宛造つては遠くの乾燥棚に運んだものが、直ぐ背後に置けるので時間に於て大いに違ひ、隨つて製出の數に於て違つて來る。棚の置場が問題で能率に相違を來す。工賃は同じでも製出品が違ふから物價が安くなる。斯ういふ細かい點は事每に幾らでも發見される。而してそれが能率增進の原因となるのだから、事々大いに注意を要する次第である。

七

今一つは思想の惡化である。之を防ぐのは矢張り精神的に善導するの外なく、善く利害の上から諭さなくては分かるまい。只だ休憩時間を要求し、賃銀增加を求めるのは自分の立場を觀察した問題である。工場の利益が多く擧がれば賃銀も增加して差支ない。故に事業に忠實であり、其結果は工場の利益を益すに於ては利益配當の場合、職工全體にも分配すべき方法を執り、それを善く説諭するのも一手段である。製品に就ても一時的の間に合せものでなく、永久使用に堪ふべき物を造るやうに、善くその精神を吹き込む。昔の飛彈の甚五郎の如き名工が一物一品にも精神的に細工を仕たやうに、現今の職工にしても假令へ如何に微細な製品にせよ、其の頭で永久使用に堪ふべき誇を以て製造せしむるやう、善く説諭することも一つの手段であらう。而して其の結果利益分配の方法に依り此の精神を養成することが必要である。

八

其次には、工場經營の改善である。之には可なり反對もありませうが、從來の日本の工場は技術者は技術の方面又は製造の部分のみに當りて、經營事務には當らない。偶々販賣の方面に廻され或は事務の方面に任せられると、非常に侮辱された如くに考へ、不平を唱ふるのが技術者の常で、現に私の方の卒業生中にも販賣部に廻されて不平を訴へる者もある。畢竟技術者に對する考が從來は違つて居たので、此の調査會の結果を理想とすると、技術者は技術方面のみでなく、事務にも入るべきもので、技術方面に就ては全部同時に擔任せずとも設計其他、孰れか一部分に任ずれ可い、重役又は社長を兼ねたりとて、爲に「エンジニャー」たるを得ざるに非らず、寧ろ工業の如きは、其の事業方面には科學的の智識を要する爲め、單純な事務家にては不適任な感じがある。前述の「研究の必要」の如き技術出身者は善くそれを諒解して其の必要を認めるが、多くの事務家に在りては其の諒解なき爲め之を無用視し又は之を廢滅せしめんとするの傾向がある。之は費用の

問題、時の問題等にも關聯するのであるが、要するに研究の結果如何は、前述せる「アルミニユーム」や蜩麹の問題に鑑みても善く諒解されるのである。然るに重役に其人が當らなければ其の諒解が起らない。隨つて事業の經營維持は其の諒解ある人が幹部に當らねば出來ぬ、といふ結果になると思ふ。獨逸邊には社長にドクトル云々といふのが可なり澤山にあるが日本にはそれが非常に少ない。之は日本の化學工業が適當に行はれて居らぬことを證するものではないか。凡そ事業に重要なるは經營或は販賣であるが、其の任に當るべき人にして機械の內容を知らず、又は製作物の引受を爲す能力を缺くが如きは、事の宜しきを得たるものでない。

九

以上述べた所は先づ我が工業界に於て大體樞要と考へたものである。是等の手段が多少なりとも行はるれば、帝國工業の不安狀態を幾分にても匡救することが出來、又たそれを維持發達せしめることが出來やうが、其の救濟手段にして行はれざる限り我が工業は最早や立ち行く途は無いものと思はねばならぬ、隨つて輸入超過は年々其の額を加へ來り、國民の生活は非常な脅威を受け、國家社會の生存は實に危殆に瀕するに至るべきを憂慮するのである。而して以上は帝國の工業に就て言ふたのであるが、之を小にしては、臺灣にも矢張り適用され得る。由來本島は原料に於て非常に豐富であり、氣候亦た溫暖にして特別の天惠がある若し私が上來述べたる趣旨により、工業的救濟の手段を執らるゝに於ては、其の結果は種々有益のものを得らるゝでありませう。現在本島には相當研究機關を有せらるゝが、尙は多々益〻增設を講じて層一層の研究を試みられんには、本島工業の前途の發達は蓋し著るしいものがあり、其の結果は大いに我が工業の發展を見るに至るでありませう。

——大正十三年四月十三日總督府に於ける鴨居博士講演の速記錄に據り其の大要を抄錄したるもの、文責編者——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本鹽業の將來

臺灣製鹽會社專務取締役　中山秀之

一

我が國鹽業の將來に就ては大いに考慮を要するものあるが、此の頃財政調査會に於て、鹽に關する答申案を決議された趣であるから、來るべき五月の議會には、政府より何等か鹽に關する提案がある事であらうと思ふ。此際鹽業に關する私見を述べて大方の敎を乞ふ事も、亦た必しも徒勞にあらざるべしと信じます。

愚考には、日本鹽業の將來は植民地鹽の奬勵にあり、と確信するのであります。何に憑りて私が此の言を爲すか。先づ日本々國及屬領各地の食鹽需給の大勢を見るに、年々夥しき不足を告ぐるのみならず、尙は人口の增加に伴ふ消費增加によりて、其不足額は益々增加する一方であるのであります。今其の需給の大勢を概觀すべきものとして左の數字を擧げて見ます。これは五箇年間の平均と最近の狀態より推算したる概數ではあるが、大體差違は無いものであります。

	需要	供給	過不足
日本	十五億斤	生産　九億斤	(一)六億斤
朝鮮	三億斤	生産　一億斤	(一)二億斤
關東州	少量	生産　二億斤	(十)二億斤
臺灣	一億斤	生産　三億斤	(十)二億斤
外國鹽		輸入　四億斤	(十)四億斤
計	十九億斤	十九億斤	

卽ち日本及朝鮮は、年々八億斤の不足を告げて居るが、其の內關東州及び臺灣の鹽を以て四億斤を補ひ、後の四億斤は外國鹽に依賴して居るといふ狀況であるのであります。故に將來の事を考ふれば、此の現狀に滿足する事は到底出來ない。是非とも內地鹽・植民地鹽・孰れかの增產によりて食鹽自給の途を講せなければならぬのであります。然るに內地鹽は今日既に行詰りとなり、突飛の値上げでもなき限り增產の見込の無い事は明白な事實であります。故に現下の狀勢としては勢ひ植民地鹽の增產を畫し、其の方法として植民地鹽田の擴張を圖り、以て現在及將來の不足を補ふの外に、方途は發見されないのであります。

二

然らば關東州・臺灣の孰れを擇びて鹽田の擴張を爲すべきかといふに、兩地各〻特色あり、大體に於て、關東州鹽は品質に於て臺灣鹽に及ばざる代りに、値段に於て廉に、臺灣鹽は品質優良なるも運賃等の關係上稍や高價なりといふ狀況で、一長一優、各〻棄て難き處がある。夫と同時に天日鹽なるものは、天候の如何によりて豐凶の差非常に太たしきものであるから、豐凶を平均し供給を調節する上に於て、今後の鹽田擴張は兩地半々宛に割り當てる事が、最も適當なる措置ではあるまいかと信せられるのであります。

今關東州及臺灣に於て二億宛、計四億斤の生產增加を圖るとせば、何程の鹽田を要するかといふに、關東州に於ては一町步の年產約七萬斤でありますから二千七百町步。臺灣に於ては一町步の年產十五萬斤でありますから千三百町步。兩者併せて四千町步の鹽田の擴張であつて、而して之が擴張の爲には十年位の日子を要するものと見ねばなりません。

扨て此の四千町步の鹽田完成に要する費額は何程であるかといふに、關東州は一町步當り一千圓で二百七

十萬圓。臺灣では一町歩當り二千圓で二百六十萬圓。合計五百三十萬圓である。此の外に堤防・軌道・移民小屋・倉庫等の諸設備一切を加へて總額八百萬圓もあらば、「四億斤增產」の目的は優に達し得るのであります。如何にも廉價なる食鹽獨立と言はなければならぬ。植民地の製鹽業者は、其の食鹽の全部を引取る事を、內地專賣局が保證するに於てば、左したる文句なしに擴張計劃に參加することゝ信ずるのであります。斯くて永い間の懸案たる食鹽問題も、一たび「植民地の鹽田擴張」といふ大方針さへ決定すれば、解決は極めて容易な事柄であるのであります。

三

今日に於ては、內地鹽・植民地鹽・外國鹽の關係は、恰かも嫡子・庶子・他人の如き關係でありまして、而かも親父が他人たる外國鹽を利用して庶子たる植民地鹽を壓迫して居る傾きがあるのであります。我々は此際「親は泣寄り」といふ古諺を痛切に感ずるのであります。一朝事ある場合を慮りて食鹽の獨立を圖らんことを欲し乍ら、實際に於ては外國鹽を當てにして徒らに年月を經過する如き事ありとせば、實に遺憾千萬といふの外はないのであります。若し夫れ戰時に於ける植民地と內地との交通杜絕を懸念して、植民地鹽の奬勵に二の足を踏むが如き事ありとせば、我々は「斯る場合に外國との交通果して安全なるべきや」と反問するのみであります。是等の懸念から植民地鹽閑却の事實が現はるゝ事は「相當の商人も恐慌の場合には破產の恐ありとて、乞食に金を貸して安心して居る」のと同樣で、全く以て論外の沙汰といふべきであります。

我が政府は砂糖の自給を必要なりとし、保護の手段を盡して臺灣に於て砂糖製造の企業を奬勵し、以て今日の盛況を見るに至つたのであります。而かも砂糖には關稅の保護があるが、食鹽に就ては專賣なるの故を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

以て關稅の保護は無いのであります。我々は此矛盾を了解し得ざるのみならず、砂糖以上に自給の必要ある食料品として、食鹽に對しては砂糖以上に奬勵の必要を見るのであります。而かも單に內地引取りの保證さへ與ふれば、左したる困難なく發達すべき植民地鹽が、常に荷問への狀況にある事は、僅かに當代の大なる謎であると思ふのであります。要之、我國の食鹽自給といふ絕對必要の事柄は、植民地鹽田の擴張によりてのみ解決され得べきものであつて、而して其の運命は決定的のものであるのであります。決勝線に於ては既に「テープ」を延いて待受けて居る。只早く「スタート」すれば好い計りになつて居るのであります。是れ卽ち私が朝野の識者に訴へて、此の事の實現の、一日も早からん事を切望する次第であります。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

在支邦商と銀資金々融機關設立問題

黃鶴山人

一

每年今頃から揚子江の水が增して來ると、支那では年中行事の動亂又は日貨排斥問題がソロ〳〵擡頭して來る。今年は政局も稍々安定し、目下の處では例の奉直戰爭や武漢の騷動は起るまいと思はれるが、一方の厄介物たる日貨排斥運動は五月九日の國恥紀念日を目前に控へて居る際とて幾分の火の手を擧げるに違ひない。この兵亂とボイコット運動と銀價の高低による爲替問題と茲に論じやうとする資金難との爲め、支那に於ける我商工業者殊に相當のバックを有せざる小資本商の最も苦んで居る事は想像に餘りある。例年の內亂は支那の國情よりして止むを得ないとしても、日貨排斥及び爲替の危險を免るゝが爲には、政府の外交政策によるなり又は日本の資本を其儘支那に移して彼地で商工業を經營するのが最も策を得たもので、此事は支那の安い原料と勞銀と相俟ち兩方面から利益を擧げ得るので、歐洲大戰以來上海其他の地に邦人の紡績業や各種工業の勃興を見、將來に於ても益〻かゝる趨勢に赴かんとして居るのは明かに此の事實を物語るもので、自分が今更茲に喋々する迄もない事である。然らば資金問題に就ては如何と見るに、之は近來在支邦商に痛切に感ぜられ、又解決を急がれて居る問題である。以下順を逐うて支那に於ける資金難及資金の需給狀態並に之が對策如何等に就いて少しく研究して見やう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二

局外者から見ると支那は國大物博で遣繰如何によつては幾何でも資金の融通は著き相であるけれ共、其實徒らに厖大なる國土を擁せるのみで著るしく金の缺乏して居る國である。之は現に支那が三十億の內外債を背負ひ、利子の支拂迄も滯らし勝なのに見ても解るのである。然らば其の原因如何と見るに（一）支那の經濟的發達程度の幼稚なる事（二）政府當局に於て金利政策を行ふ實力がない事（三）貨幣制度の不備（四）國民一般文化の程度低き事（五）金融機關の不備不統一等に歸する事が出來る。卽ち金融機關にして見た處が、古來の錢莊・錢舖あり官銀號あり銀爐があるかと思へば、上海・天津・漢口等の重要都市には新式の銀行が設立されて居る等玉石混淆の狀態で、又一國の金利政策の確立を報せねばならない財政部を見るに、常に內部の紊亂其極に達し、政府各部中の鬼門で財政總長に其の人を得なければ內閣維持の可能性なしといふが如き有樣である。故に一定の金利政策に關する方針樹立等は迚も全部に望む事は出來ない。又貨幣制度の復雜して居る事は人も知る如く各地に各樣の兩あり元あり、小銀貨あり銅貨あり穴錢ありで隨つて之を授受する銀行にした處が兩及元の二準備を置かねばならず。然も此等二つを相互に流通せしめ得ない不利益あり、尙支那人の常として風聲鶴唳に驚かされて直に預金の引出を行ふ爲銀行でも勢ひ資金の固定は止むを得ない事になるのである。尙又以上の理由による資金缺乏の當然の結果として金利高を招來し、且地方により時により甚しき金利の高低を示して居る。例之上海では通常日步七、八仙なのに大連では僅に二、三仙廣東でも同率位、然るに漢口では九、十仙の高率を唱へて居る有樣である。又一地方に就いて見るに、上海では昨年七、八仙のものが本年一月末には一仙を削るに至り、目下約九厘位である、而して斯の如く金利の高低があ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れば外國資金の時によつては流入する事があり相なものであるが、支那は東洋に孤立した銀貨國なる故、爲替の關係及其の國情から、かゝる現象を生じない。之も亦資金難金利高の一原因である。かく資金缺乏し金利の高い支那で商工業を營む邦商の困難は前述の通り想像に餘りありで、此點に關しては日貨排斥同樣政府當局及資本家の考慮を煩はした上で適當の對策を講せねばならぬのであるが、其の對策如何を研究するに先ち、現在在支邦商の金融の方法と邦人經營の諸金融機關の現狀とに就いて述べて見やう。

三

普通金融機關即ち銀行としては先づ第一に正金銀行を擧げねばならない。同行は明治二十六年上海に支店を設置したのを振出しに爾來日清日露の役を經て其の業務を次第に擴張し、今や各重要都市に支店を設置し支那財界の重鎭に居る外國銀行中に在つても、滙豐銀行に亞いで有力である。併し斯く同行が有力であればある程貿易業者殊に第二流以下の貿易業者から云へば其の營業振りは横暴である。即ち爲替の率は他行に比して高く貸出の利息亦不安、顧客も三井とか三菱とか一流所の外は殆んど相手にしないといふ風で、小資本の貿易業者は同行から貸出をして貰ふ譯には行かない。次に臺灣銀行を見るに政府の特殊機關として歐戰前から主に中南支那地方に進出し殊に廣東・香港・福州・厦門等の南支には相當に地盤を得て居る、揚子江方面では上海の外漢口に支店を有して居るのみで正金には遙かに及ばない過般の大戰中には好況に乘じ餘り放漫な貸出をやつて近頃漸く政府の助力を得た有樣で、目下の處堅實一方の方針で同行に多くを期待するを得ない。朝鮮銀行も臺灣銀行同樣放漫貸出を以て有名であつたが、同行は滿蒙の經濟的連絡に努力す可き使命を有して居る關係上、滿洲では各地に支店を出し兌換劵發行の特權もあり、正金の勢力を驅逐した形がある

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然し政府の特殊機關なる以上一般商工業者が融通を受けるには頗る不便で、唯、正金の勝手を抑へるといふ意味で臺銀同様其の發展を喜ばれて居る位のものである。民間銀行としては三井・三菱・住友の三行が大戰中對支貿易が活況を呈し從來の正金や臺銀等の足らない處を補ひ、同時に銀爲替により巨利を占めん目的で支店を上海漢口方面に出したのであるが、まだ支那の金融事情や銀爲替上の經驗が少く、創業日尙淺い故支那人間の信用も薄く、亦資金としても巨額を擁せず、顧客も自行の同系會社が東京大阪方面に本店を有する出先の店のみで其の勢力は殆んど言ふに足らない。此種銀行中では唯、大連に本店を有する安田系の正隆銀行は日支合辦で北支には相當の勢力を有して居る。中華滙業銀行は日支合辦で支那内地の爲替業務を取扱ふ目的を以て設立せられたもので、資本金日本金一千萬圓株式は名目上日支兩國人で折半して居るが、支那側の出資は全部我國よりの貸金であるから實質は日本の銀行である。北京に本店を置き支店は上海に有するのみで、近く天津にも開設する筈である。開設後日尙淺く上海邊りで邦商にして之を取引銀行として居る者は殆んどない。恐らく其の利益の如きも對日本人取引よりも對支那人の取引によるものが多いだらう。

以上の外、各開港場の邦人有力者によつて設立せられた地方銀行例へば上海の上海銀行、青島の青島銀行、漢口の漢口銀行、北京の大東銀行、滿洲各地に於ける小銀行等は信用二流以下の商人の金融機關となつて居るが、多くは資本金も少く充分貸出に應じ得る丈の資力なく、株主はなる可く多額の配當を要求し經營者亦多くは地方的の有力者で、感情に支配されたり自己の地方的名譽を欲したりして餘り發展し得ない。堅實に進んで居るものもあるが孰れにしても餘り此種の銀行に期待は出來ない。

四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次に主として工業金融及不動産金融に關する特殊機關を擧げると、之には東洋拓殖會社、東亞興業會社、中日實業公司がある。東洋拓殖會社は從來專ら朝鮮の拓殖事業に從事して居たものであるが、歐洲大戰勃發後滿蒙に於ける日本人の經濟的勢力の發展に伴れ長期資金の需要切なるものあるに鑑み、此要求に應ずる目的を以て滿蒙に進出を敢行するに至つたのである。當初京城に本店を設けたが滿蒙進出と同時に之を大正六年十月東京に移し、資本金を二千萬圓に增加し、大正八年更に五千萬圓に增し、其の營業區域を中部及北支那並に西比利亞に擴張する事となり、現在奉天・大連・ハルビン・青島・間島に支店又は出張所を設け、主として年賦又は定期償還の方法による拓殖資金の供給を行つて居る。東亞興業會社は元來對支投資を目的として設立せられたもので資本金二千萬圓、歐洲戰爭前迄は常に外國資本に壓倒せられ、業務の進展遲々とし、て何等見る可きものなく、唯南潯鐵道や漢口水電公司との借款契約を締結せるのみで纔に餘喘を保ちつゝあつたが、歐戰開始以後歐米資本家の閉息に應じて稍々活動をなすに至つたが、元來背後に日本の一流銀行が控へて居り、之が兎角對支投資を危險視して居るから、是亦今後充分の期待を抱く事は出來ない。中日實業公司は大正二年孫逸仙の日本來遊を機とし、對支投資を目的として設立せられたもので、現在資本金二千萬圓、北京及東京に各二箇所の本店を置き、主として中部支那方面に活動し、一時日支人へ擔當の事業資金を貸出したが、大部分失敗に歸し、今や整理時代に在り、之に活動を望むは病人に過激な勞働を强ふる樣なものである。而して此等の特殊機關の貸出資金も政府から低利で融通を受けた少許のもので、充分需要に應ずるに足らない。序に言つて置くが邦人にして此等の金融機關以外の外國銀行及支那銀行例へば香上、花旗、查打、中國交通等の銀行と取引出來ない事はないが一般此等外國銀行は自國人と他國人間に取引條件に非常な差別待遇を與へて居る不便があり、支那銀行は比較的對人信用を以て取引する便利はあるが、金利が日本

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の銀行に比して一般に高く、加之銀行對取引者間の相互の信用が判り難く、法律慣習等も異にするから、矢張り例外的場合に限られて居る。

五

ザット以上が現在支那で活動して居る我が金融機關であるが、皆一樣に支那固有の資金難に苦んで居る。最も有力な正金の如きは對支發展も古く政府の保護もあるから相當豐富な銀資金を擁して居る筈であるが、之は營業上秘密に屬する事で其額は明瞭でない。消息通は正金の支那各地の支店の運用銀資金を合して一千萬兩を越す事幾何もあるまいと見て居る。臺銀以下の銀行に至つては其の小額なる事思ひ知る可しと思はれる。然らば一方此等銀行が爲替で巨利を得て居り乍ら銀資金を有して居ない所以如何といふに、第一は銀を保有する事が危險だからである。銀行の成績は相當好かつても決算期に銀價が下落したら金勘定で表はしたバランスシートには非常に損になつて表はれる。各銀行の資本が現在の如く金である以上之は已むを得ない。斯くては各地の支店長は自己の手腕を疑はれるのを嫌ふのみならず、重役亦同樣で、若し夫れ株主に至つては配當の減少よりして最も好まない處である。第二は此等爲替銀行には預金といふものが少ない。支那人は預金といふものを危險視して、割合にやらないからである。假令可成り有つても之を以て貸出の資金に當てる事が支那では困難である。中央銀行たる中國銀行の資產狀態が怪しくなつたり年中を通じて兵亂常なく謠言の多い支那では已むを得ない事であらう。正金の如き有力な銀行でさへ何時取付に遭ふか分らない。日支兩國の國交圓滿ならざる時は特に然りである。又信用上別に疑はれない時でも兩に比し元が安くなれば直に兩預金を引出して元を買ふ。之を預金銀行の振替でやつて吳れゝば大した困難はないが、最も有利な處を覗

つて元を買ふのであるから如何しても引出す事になる。斯くて預金に對してはどの銀行も日本で普通安全と見られて居る準備金額の數倍を要する譯である。故に預金を貸出資金にする事もあまり效果がない。第三は元や兩の紙幣も發行されて居ない事はないが、普通開港場の大取引は兩であつて然も其の紙幣たるや小切手が一覽拂手形位にしか扱はれず到底現金と同一視されて居ない。兩紙幣を受け入れた銀行は即日其の發行銀行に取付けるが常である。斯て正金の如きも貸出銀資金の小なるに困つて居るので、其他の銀行に至つては尚更である。彼等が斯く資金獲得難に苦んで居る以上借手の方は貸出を受ける事が容易でなく金利も從つて高い。斯く見れば必ずしも銀行のみを批難する譯にも行かないのである。

六

然らば此の金融難を救ふ途如何と見るに、既述の如く預金其他の受信的方面で貸出資金を獲得する事が、支那固有の經濟狀態により困難である以上は、別に策を講じて銀資金を此等銀行に保有させるより外、在支本邦商工業者の金融難を救ふ事は出來難い。從來の樣に爲替の賣買があれば直ちに上海の金塊市場や London. New york の銀塊市場に之を繋ぎ、それによつて漸く爲替決濟資金を得て居る樣では現狀を救ふ事は困難である。是に於てか銀行の重役や株主や支店長に一大決斷が必要になつて來る。それは各銀行が自己の資金の一部を銀として保有する事で、之には是等の人々が銀に關する知識と相互の了解が必要である、重役と支店長は比較的その知識もあるだらうが、最も困難なのは株主であらう、株主は自己の持株を賣つて仕舞へば、もう其の銀行とは關係が無くなる。自己の株主たる間に成る可く多額の配當を受け、且それによつて株價が騰貴すればそれでよいのである。故に一見危險に見える銀資金の保有を好まないであらう。併しよく研究し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

てみれば銀資本を保有する事必ずしも危險ではない。危險に見えるのは半年とか一年とか短期的に見て危險なので、十年二十年に亘れば危險ではない。重役や支店長が自己の在任中の成績のみを思ふから危險なのである。併し正金・臺銀・鮮銀・三井・三菱・住友其他何の銀行にせよ皆今日の資本主義制度の續く間は存續するもの卽ち半永久的なものである。斯く半永久的な銀行に取つては銀資金必ずしも危險ではない。その理由は極く簡單である。卽ち最近約百年間の銀相場を見るに

年次	平均價格（片）	年次	平均價格（片）	年次	平均價格（片）
一八三五	五九 11/16	一八七五	五六 7/8	一九一五	二三 11/16
一八四〇	六〇 3/8	一八八〇	五二 1/4	一九一六	三一 5/11
一八四五	五九 1/4	一八八五	四八 5/8	一九一七	四〇 7/8
一八五〇	六〇 1/16	一八九〇	四七 11/16	一九一八	四七 9/16
一八五五	六一 5/16	一八九五	二九 7/8	一九一九	五七 1/16
一八六〇	六一 11/16	一九〇〇	二八 1/4	一九二〇	六一 13/16
一八六五	六一 1/16	一九〇五	二七 13/16	一九二一	三七 5/16
一八七〇	六〇 9/16	一九一〇	二四 5/8	一九二二	三五 5/16

右表によると騰落の度は大體約半分位になつて居る。右表中一九一五年と二〇年との差は三倍以上になつて居るが之は歐洲戰爭といふ特殊の原因の爲で今後數世紀間は先づかゝる事はないと斷言しても差支なからう。而して百年間に得る利益で下落した銀價の減價償却は容易であつて、尙餘利あるだらう。假に銀爲替の賣買を上海・倫敦・紐育の繋ぎによつて漸く決濟する場合の利率より自行で銀資金を有して決濟する場合の利率の方が一分低くなし得るとする。これにより顧客に二厘を安くし五厘で減價償却をなし二厘を自分利す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。五厘の消却資金は複利により百年で五割以上となり銀價が半減して居てもそれ以上の減價償却が出來る一方銀行も顧客も二厘なり三厘なりを利する譯である。以上の計算は極杜撰ではあるが、充分利益を擧げつつ減價償却し得る事を大體に於て示したに過ぎない。實際の處繋ぎと自ら資金を有するとの間に一分しか利率の差を擧げないのは餘程内輪に見た勘定である。而して銀價の前途如何と見るに今迄の百年間には銀鑛の發見や銀貨國から金貨國への變轉が多かつたが、今や世界を驚かす樣な銀鑛は發見し盡された觀あり、支那や印度の銀放棄は何時の事か判らず、更に銀が下れば裝飾用として直ちに需要を增すから非常な安値は有り得ない。斯の如くなるを以て永久的方針から言へば銀資本を持つ事に危險は無いと斷言出來る。而して銀行業は永久的とするも營業狀態は一年一回は少く共發表せねばならない其の時銀價下落の爲め全資產で負債を償ふ事が出來ぬ時は、破產申請とか或は配當の激減とかいふ問題に接するかも知れないが、之は餘りに多額な資金を銀貨國にする事により起る問題で、日本の一流銀行が相當な額を銀資金にするのなら大した問題なくて濟むだらう。特に之が爲め特殊銀行を設立するなら特別法により全然かゝる問題を除去する事も出來る。今でも正金は勿論他の銀行も多少は一部を銀として保有して居るであらうが、大戰中銀高の時に支那に居を出した民間銀行の如きは、銀が高かつた爲に餘り銀を買ひ得なかつたらしく。その事は彼等の營業振でも大體判るが故に、更に之を增加せよといふのである。而して各銀行の資金を幾何位銀資として支那で運用す可きかは各銀行により異なる處である、現在では日本自身が昨秋の震災により非常に金融逼迫を告げて居る時であるから、今直ちに巨額を之に投ずるは困難であらう。殊に多額の銀を一時に各銀行が買ふといふ事は、銀價を高め各自の損失を來す虞があるから、漸を逐うて銀資金の集積に努めるより外ない。而して銀資金は之を政府の保護銀行や一流民間銀行に持たせる事は必要であるが他方銀資金を保有する事は銀行自身に取つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蟠桃宮と花朝

和漢の對照

蕉鹿夢

日本にて、三月三日の上巳節を、俗に桃の節句と呼ぶが、是れは蓋し漢土の神仙傳說に胚胎せし、蟠桃宮の故事より出でたものらしい、蟠桃宮の起原は西華靈妙の氣を得て生れたといはるゝ、西王母が漢の元封元年、武帝の宮殿に降臨して、謁見を遂げた時、三千年に一度、實を結ぶとかいふ、蟠桃七箇を獻上した、其節武帝は、之を食つた核を殘して置かうとしたら、西王母が、仙果は人界に產することが出來ぬと言つて押し止め、そして武帝のために、雲和の笛を吹き、八琅の琴を彈き、靈虛の皷を鳴らして、玄靈の曲を歌はせ、以て其長壽を祝福したといふので、之に因みて、蟠桃宮を創建し、西王母の靈を祭祀することゝなつたさうである、さて降つて明の洪武年間、內府に藏する所の桃核を出して、詞臣に示されたことがあつて、核の長さ五寸、廣きこと四寸七分、前に「漢西王母賜漢武桃及宣和殿」の文字を刻み、塗るに金を以てしてあつたと、五雜俎に見ゆるなども、恐らく此れ等の傳奇に產み出された、假構であらう。

此西王母の誕生は、卽ち三月三日であるといふことで、此日、其住所なる崑崙の玉殿に、あらゆる各洞の神仙を招待し、例の蟠桃を出して、饗應さるゝと傳へられ、凡そ支那內地の蟠桃宮の在る所では、亦當日西王母のお祭りを行ふの例があつた、隨つて三月三日の緣喜を祝ふ桃の酒なども、其遺風の換骨脫胎かと思はるゝので、ツマリ漢土の蟠桃宮の祭事が、偶然日本に輸入され、同じ輸入行事の上巳節と混淆し、桃の節句といふ雅名まで、選擇さるゝに至つたものと思はれる。

之と共に閑却してならないのは、花朝の古例である、花朝といふのは漢土で、百花の生日として、花神廟の祭曲を行つた特風で、其所謂る花神は、各月に一柱づゝおはしまし、閏月の分を合せて總て十三體を算ひ、正月は梅の花、二月は杏の花、三月は桃の花、四月は薔薇の花、五月は躑躅の花、六月は蓮の花、七月は秋海棠花、八月は桂の花、九月は菊の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

花、十月は芙蓉の花、十一月は山茶の花、十二月は臘梅の花、閏月は牡丹の花といふやうに、一定せる時の花卉を手に捧げて居られる、そして三月の花神が、桃の花を持たれるなどは、一寸面白い現象で、軈て西王母の誕生を、重三の日になぞらうるに至つた、一つの因縁であるまいか、

尚ほ之に因みて聯想さるゝのは、日本の鎮花祭であらねばならぬ、鎮花祭訓みてハナシヅメといふ、我が上古の世、神祇官にて行へる、年中公事の式例である、蓋し春花の飛びかふ時節は、疫神分散して人を悩ますが故に、之を鎮めなだめんがために、三月の佳辰をトして、大和なる三輪狹井(サヰ)の二神を祭つたのだと傳へられる、此二柱の神は、夙に疫癘を驅除する靈威を有つを以て、知られたまふたからであらう、併し乍ら、是れが果して原始的なる鎮花祭の古意を得たるや否やは疑はしい、想ふに、鎮花祭とは、寧ろ花に嵐の障碍を遏めんために、花神を慰め鎮むるの厭勝であるまいか、古るき鎮花祭の遺風を傳へゐると覺しき行事は、近代までも、京都なる紫野今宮のヤスライ祭に存續したのであるが、故實に據れば、初め一條天皇の承暦五年六月二十七日、船岡の山上に在りて祭りしを、永保二年五月九日、夢告によりて、此地に遷し、今宮と稱したので、例として三月十日の夜間、此由緒ある祭事を擧げられた、升は氏子なる加茂上野の里人、烏帽子素襖やうの装束に、太刀をかたげ、笛を吹き、鉦鼓を鳴らし、同社殿を廻りつゝ、『ヤスラヒ花ヨ』又『アスナヒ花ヨ』と囃立てるのださうで、ヤスラヒは、安息を意味する、まじなひことばで、アスナヒといふは、其轉訛に外ならぬと思はれる、そして件のまじなひと行事との裡に、疫神を鎮むるの本意が含まれつゝあるとは、どうしても首肯し難いやうである、百練抄に、近衛天皇の久壽三年四月、京中の兒女、風流を揃へ、鼓曲を調べ、紫野の社に參る、世に夜須禮(ヤスライ)と稱し、勅して之を禁止しぬと見ゆれば、由來疫癘の驅除と沒交渉なりしことを旁證するに餘りある、又もと鎮花祭の古儀を傳ふる三輪狹井は、奈良の春日と竝びて、形勝の地區に屬し、優美なる花神の鎮座を想像せしむるのであつて、ツマリ古代驅疫の歴史を存するに伴ひて、いつしか之に牽合され、降りて朝廷の式例に一變すると共に、遂にエヤミノカミ(疫神)の信仰を、今宮の花神にまで強ふるに及んだものらしく、歸する所は、亦漢土の花朝の換骨脱胎たるに相違ない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ては資金を半永久的に固定させる事であるから、銀行の貸も資金中極一部分しかこれに充當し得ないのは明である。仍て之れ以上は已を得ず政府の出動を希望せざるを得ない。

銀資金要望の聲は今や支那關係者の總てによつて舉げられて居る。種々の方面から政府へ陳情されても居る様である。當局者たるもの須らく是等の陳情を悉く利已にのみ捉はれたものと斷ずる事なく、純なる日支經濟策から割り出されたるものとして耳を傾く可きである。而して政府が銀資金を愈々支那に置くといふ段取になつた曉、いかなる方法形式によるか、其運用を如何にするか等の問題に就いては、研究の餘地多々ありで、實際に精細な調査を要するは論を待たない。而して一方對支經濟上、日本の强敵たる英國は銀資本で設立した香上銀行を有し、外國銀行中に在て群を拔いて居り、且英國人を特別に保護して居る。支那市場での新しい競爭者たる米國は、從來 International 銀行・亞細亞銀行を東洋方面の金融に當らせて居たが、更に近來合併して陣容を新たにするに至つた。加之近く駐支米國公使は本國政府に、貿易以外の金融機關の增設を建議して居る。日本も曠日彌久何等策する處なくしては濟まないだらう。（終り）（大正十三、四、十六）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

調査研究

上海港と其の設備

臺灣總督府稅關事務官　井出季利太

目次

一　地位形勢
二　港區
三　港灣の設備
第一、碼頭倉庫の設備—第二、繫船浮標—第三、造船設備—第四、船舶—第五、浚渫設備—第六、電信—第七、天文臺—第八、鐵道—第九、道路—第十、苦力—第十一、炭水—第十二、電氣及瓦斯の供給—第十三、其他燃料
四　港灣關係費用
第一、改修稅—第二、碼頭稅—第三、海關手數料—第四、領事館手數料—第五、碼頭使用料—第六、浮標料—第七、起重機使用料—第八、水先料—第九、船舶使用料—第十、運賃—第十一、荷捌費—第十二、倉敷料—第十三、勞銀—第十四、炭水其他價格—第十五、檢疫料及消毒料—第十六、地價

一　地位形勢

上海港は北緯三十一度十四分東經百二十一度二十九分（市街の中心は北緯三十一度四分東經百二十一度十九分）に位し長江の河口「ノースサッドル」燈臺より六十浬銅沙燈船より三十二浬海洋を距る七十二浬黄埔江を遡ること十二浬の内地黄埔江右岸八浬に亘り往時は其名上海の示すが如く（註一）長江の入口にして海に接したりしが漸次流砂の爲に沖積地を延長し黄埔の東即ち埔東なる低地を形成したり。

上海港の水道たる黄埔江には外港呉淞に接して上下二閉洲（バー）あり外閉洲（アウターバー）は土砂の堆積殊に甚しく一八九七年頃潮面下二十呎なりしが其後十三呎に減じたるものあり内閉洲（インナバー）は毎年五月及十月の二期に沈泥二呎乃至四呎に達するも流下せらるを以て前者と異り堆積少きが如し而して水深は滿潮時一般十九呎にして時々二十三呎に達するに過ぎざるが如く多年土砂の堆積に依り所謂「ガッフアイランド」なる三角洲を現出し河流を兩分し右を「シップスチャンネル」左を「チャンクスチャンネル」と稱す後者は汽船の航行に堪へず水深干潮面時僅かに十呎乃至十三呎に過ぎず然れども近年に迨び黄埔江の改修漸く見るべきものあり水深を増加せり蓋し黄埔江は往昔呉淞江即ち蘇州河の一支流たりしと雖も其幅員は今日に比し廣濶にして半哩乃至四哩を有したることあり近年尚干潮時千八百呎に達したりしが最近減少して千三百呎に下れり（註二）而して河口に於ては干潮時二千呎以上を越え港口に向て一千呎餘の水道は水深二十呎を保ち下方「バース」に於ては干潮時四百呎間は少とも二十四呎に達したるを以て現在吃水二十七八呎の航洋汽船の通航自由なり。

上海港の區域は江南機器局より東溝港に至る延長五萬四千呎の水道を指し「バンクライン」の幅員は千八十呎乃至二千呎を示し最小干潮時には一千呎乃至二千呎とし「ノルマルライン」に於ては一千呎乃至一千八百呎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なりと雖も水深二十四呎の水道は幅員七百五十呎に過ぎず。

潮高は大潮升九呎乃至十一呎、大潮差八呎小潮升六呎乃至七呎小潮差三呎を示し満潮時は約五時間干潮時は七時間となす平均潮速は満潮時一、七節乃至二、六節干潮時二、二節乃至二、九節とす。

氣候は上海港の緯度が日本九州南部に該當すれど變化甚しく殊に温度は冬期に於て一層低きを常とす近年に於ける平均温度は冬期一月華氏三十八度、二月二十九度、三月四十六度とし、夏期六月七十四度七八月八十一度にして最高は往々百度に上り最低は攝氏零下九度に下れることあり要するに一箇年の三分の二は熱帶的にして三分の一は温帶的なりと謂ふべし。

雨量は年に依り大差あり例へば一八七四年乃至一九〇九年迄の平均は一箇年四十四吋一にして日數百二十四日なりしが一九一八年には五十一吋九に上り英國に比し二倍以上に達す而して降雨は六、七月に最も多く冬期は概して少し就中十、十一月は乾燥期となす。

風位は凡そ十一月以降翌年一、二月に亘り北西にして三月は北東四月以降八月迄の五箇月間は南東となり九、十兩箇月は北東に變化するものとす而して平均風速は一秒時約三、四米突にして一九一九年に於ける最大速力は十米突を越えたることあり「タイフーン」の如きは上海に起ることあれども一箇年平均一回以下なり殊に上海を中心とするものに至りては毎十箇年に一回位に過ぎず近年例へば一九〇五年及一九一〇年に之を見たるのみにして其毎時の最大速力徐家滙に於て百七「キロメートル」を示し短時最高百五十「キロメートル」に達したることありたり。

(註一) 上海は "Out or up to the sea" "By the sea" の義にして往時は今日の地位よりも海濱に隣接し當初長江の入口附近に在りたるものゝ如し H. B Morse, Trade & Administration of China P. P. 263

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Richard's Comprehensive Geography of the Chinese Empire P. P. 266.)
又往時より上海を滬と云ひたるは蓋し吳郡記に「松江東寫海日滬海、亦曰之滬瀆」とあり或は江蘇上海縣俗に滬と稱したるが如く黄埔江の古名に因みたるものにして黄埔江を又上海河と云ふ而して黄埔江は土人間には一名老江と稱し黄浦の名は西紀前二世紀の頃黄歇より來りたりと傳ふ(G. Jarning. History of Shanghai P. P. 25[illegible].)

(註二) 現時上海共同租界を横斷し東黄埔江に會注する蘇州河は往時は黄埔江の本流たり其幅員甚だ廣く長江十八支流の一に屬し唐代(西紀六二〇年)には幅員二十里(約七哩)宋時(同三百年)には尙九里(支)ありたれど後世漸次狹少となり一哩足らずとなれり(Ibid Ibid P. P. 258.)

二　港區

上海開港の際英國當初の領事バルフォーアが一八四三年十一月十二日「メヅサ」號に依て上海に上陸するや先づ以て地方官憲と協商の必要を感じたる事項の一は港界及碇泊地の區劃を決定することに存し當時の碇泊區域は蘇州河より洋涇濱(ヤンキーパン)に至る迄延長約三千呎幅員凡そ一千七百呎に過ぎずして浦東側に約六百呎乃至八百呎に亘る戎克船の航路を除外せり其後上海港の發達に從て益々其區劃を擴大するに至り例へば一八九六年上海海關稅務司は外國領事の承認を經て碇泊區域を下流は上海水道局より上流は支那街南碼頭間に限定し一九〇〇年には下流は洋涇港より上流は陸家濱に至る約六哩に延長し更に一九一二年の港則に依り前述の如くに江南機器局船渠の南端より東溝港に至る間とし船舶の碇泊竝に港灣取締の便宜上十五區に分ち又錨地には十九箇處の双錨泊(Head & Stern Mooring berth)と三十箇處の單錨泊(Swinging berth)とあり前者は延長六、七百呎にして大型船の碇繋に供し後者は百五十呎乃至四百五十呎の船舶の碇泊に適するものとす。

其區劃左記の如し。

(一)上區(A.)　江南機器局船渠(Kiangnon Arsenal Dock)の南端及白蓮涇港(Pailien Creek)間にして江南機器

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

局に於ける修理中の船舶及休航中の船舶の錨地たり浦東側には大來公司碼頭あり。

(二)上區(B) 白蓮涇港及支那町碼頭 (Chinese Bund)の南端間にして休航中の船舶及木材石炭等を搭載したる船舶の中流荷役の錨地なり上海側には大達碼頭浦東側には上海造磚公司瀛治萍、麥邊油棧碼頭等あり。

(三)上區(C) 支那町碼頭の南北間にして上海側は汽船及外國船舶の繋留を許さず中流に投錨し浦東側碼頭に於て荷役するものとす上海側には寧紹及招商局碼頭のみなるが浦東側には董家渡、張家濱(三井)老擺渡(日清汽船) 大倉組東清鐵道及招商局楊家渡等の碼頭あり。

(四)第一區 支那碼頭の北端より金利源碼頭 (Kinlee ynen Wharf) の北倉庫の南端に至る間にして支那の招商局船舶の錨地たり又各國軍艦の碇泊處を存す上海側には大古洋行碼頭あり浦東側に華通及鴻興兩碼頭あり。

(五)第二區 金利源碼頭北倉庫の南端より暴風信號所 (Storm Signal Station) に至る間にして大古洋行其他汽船の錨地たり浦東側には大古東棧あり。

(六)第三區 暴風信號所より海關貨物檢查所 (Examination Shed of Customs) の南端に至る間にして上海側は共同租界「バンド」に當り碼頭の設備を許さず小蒸汽船の繋留棧橋あるのみ浦東側又淺くして汽船の碇泊に便ならず只中流に「ビーオー」汽船及英國軍艦の繋留浮標あり。

(七)第四區 海關貨物檢查所より北京路棧橋 (Peking Road Jetty) に至る間にして前者と同じく兩岸に碼頭の設備なく只小蒸汽船の發著所あるのみなり。

(八)第五區 北京棧橋より「オールドドック」に至る間にして往時の英租界公園より蘇州河を挾み日本郵船會社棧橋招商局中棧及「オールドドック」あり上海側は水深三、四十呎以上に達するを以て一萬噸級船舶の錨地

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たり。

(九)第六區「オールドドック」より虹口(ホンキウ)碼頭の旗竿に至る間にして上海船渠會社棧橋及順泰碼頭(Hunt wharf)あり同船塢廠又は怡和洋行所屬船の錨地たり。

(十)第七區　虹口碼頭の旗竿より舊寧波碼頭に至る間にして上海側には順泰招商局及華順等の碼頭あり是等關係船舶の錨地たり又中流には航洋汽船の繫留浮標あり。

(十一)第八區　舊寧波碼頭より秦皇島碼頭に至る間にして華順碼頭日本郵船會社滙山碼頭及下平和碼頭等あり是等關係船舶の錨地たり浦東側には日本海軍用地三井物產會社倉庫あり又中流には諸國艦船の繫留浮標あり。

(十二)第九區　秦皇島碼頭より上海水道局に至る間にして南滿鐵道黃浦碼頭上海水道局、怡和、老公茂、瑞記其他紡織、會社等あり同方面は水深淺くして繫船に便ならず浦東側には怡和洋行上海虹口倉庫會社海洋社等の碼頭あり是等關係船舶の繫船に便す。

(十三)第十區　上海水道局より洋涇港(Yangking Creek)に致る間にして上海側は工場地帶なれど浦東側には招商局揚子棧橋倉庫會社開濼礦務局亞細亞石油會社「ホルツワーフ」等の碼頭あり是等關係船舶の錨地たり。

(十四)第十一區　洋涇港より「コスモポリタンドック」に至る間にして上海側は水深淺くして碼頭の設備なしと雖も浦東側には三井物產會社亞細亞石油會社其他船渠會社の碼頭あり是等關係船舶の錨地たり。

(十五)下區　「コスモポリタンドック」より東溝港(Tongkon Cree k.)に至る間にして上海側には「スタンダード」及「ヴアキスーム」石油會社の碼頭あり東溝港に海關所屬の爆發物倉庫あり更に下界に向ひ一哩を去る陳家嘴(Block Point)よりは爆發物又は傳染病患者を搭載せる船舶等の進行を禁止す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

以下錨地に關する港則中二、三主要なる制限を掲げば左の如し。

(一)爆發物を搭載したる船舶は呉淞港外に碇泊すべし爆發物陸揚の爲に江南機器局に進行せむとするときは港務官吏の許可を受くるを要す爆發物を搭載したる船舶は同機器局及呉淞間に投錨すべからず又爆發物を積載したる艀舟又は小船は同機器局陳家嘴間何れの錨地たるを問はず投錨又は碇繋することを得ず又是等船舶は日中順潮に於て蒸汽力を以て又は曳船に依て進行するの外は該制限區域內を航行することを許さず(港則第六條第二十條第二十三條第二十六條參照)

(二)礦油揮發油酒精亞力等を搭載せる船舶は港內第八區の下流浦東側又は董家渡棧橋或は南碼頭棧橋に於て碇泊すべし而して全部荷物の陸揚を終了する迄之を移動することを得ず。揮發油「ベンジン」又は其他の發火し易き貨物を積載したる船舶は「コスモポリタンドック」下流の以上に進行することを得ず而して是等貨物の數量六十「ガロン」入四百五十「ドラム」を越えるものゝ貯藏は浦東側「コスモポタリンドック」の下區に限り之を許可す、硫酸、硝酸「ナトリユム」過酸化「ナトリウム」鹽酸等又は其他にして保險會社が甲板積を要求したる是等製造品を積載せるときは浦東側に於てのみ碇泊することを要す(港則第六條第二十八條第二十九條第三十條及第三十二條參照)

(三)船舶が傳染病疫發生の港より入港し又は港內に於て傳染性病疫の發生せるか其疑あるか或は本船が最終寄港地出帆後の航海中死亡患者を出したるときは當港の檢疫規定に從ひ呉淞に近つきたる際に檢疫旗(萬國信號旗Q)を前檣に揭揚し呉淞崎浮標の外側に投錨し檢疫許可を受くる迄信號旗を揭すべし(港則第六條第三十三條參照)

(四)汽船又は其他大型船舶は災難を避くる目的の外には呉淞港より「スタンダート」石油會社棧橋の間に投錨することを得ず(港則第十五條)(Harbour Regulation for the Port of Shanghai, Custom House, Shanghai, 10 th May 1913.)

三 港灣の設備

第一 碼頭倉庫の設備

上海港は河川港なるを以て長大なる江岸に碼頭設備たる棧橋倉庫等を存し其發達貿易と比例し開港後數年間は數箇の私設又は公設棧橋ありたるに過ぎざりしが(註一)今日は大小棧橋會社四十餘新式倉庫三百數十棟江岸棧橋等延長約三萬呎に達するに至れり。

是等棧橋の倉庫の約七、八割は汽船會社の經營に係り其他二、三割は獨立の棧橋倉庫會社に屬し其特筆す

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

べきものは上海虹口棧橋倉庫會社海洋社三菱華倉庫株式會社益昌棧等に過ぎず而して汽船會社經營の倉庫は勿論獨立倉庫と雖も多くは輸入貨物の保管をなす。

（註一）上海の開港當初は中流荷役をなし荷物は支那民船に船移して埠頭と連絡し當初の棧橋は私設に係り一八六四年には稅關棧橋を英國商人に引渡し別に新に貨物檢査所を建設し一八四七年頃には公設棧橋四箇處あり翌一八四八年には道路及棧橋委員の力に依て棧橋の增築あり又碼頭苦力の發達を見たり其後一八五〇年頃には公設棧橋五箇處私設棧橋六箇處あり今日原名を存するは怡和洋行なりとす（G. lanning, History of Shanghai P. P. 29.）

上海に於ける倉庫及附屬設備能力に關しては精嚴の實測をなすこと困難にして諸調査遺漏多く又同異あり増減を免すと雖も左に日本郵船會社上海支店其他の調査を參酌して比較的信據すべき實例を示さんとす。

□上海棧橋倉庫一覽表（一九一三年三月現在）

名稱		水深	棧橋 數	棧橋 延長計	ポンツーン 數	ポンツーン 延長計	接續橋 數	接續橋 延長計	空水線 延長	水面積 全長	倉庫 數	倉庫 床數	倉庫 收容力	位置		摘要
浦東側																
（一）大來公司碼頭	Robert Doller Co's Wharf	一九—1/2二〇	一	四〇〇	一	二〇〇	一	—	—	六五〇	—	—	—	上	A	現在
（二）老公茂平和碼頭	Ping S. S. Co's	—	—	—	—	—	—	—	六〇	一〇〇	一	二二六	四九五	〃	B	（二）の老義茂平安碼頭はなし
（三）上海磚瓦公司碼頭	China Brick Co's	二六—三〇	—	—	一	二五〇	—	—	一五〇	三〇〇	—	—	—	〃	B	（八）の張家濱は
（四）漢冶萍碼頭	Hanyehping Iron & Coal Co's	二五—三六	二	四〇〇	—	—	—	—	四二〇	九六〇	一	一六〇	六〇〇	〃	B	大正四年頃には三菱にて買收し菱華倉庫株式會社と改む
（五）南碼頭（麥邊油棧）	Nan Matoo or Mc Bain Oil	一八—三二	一	三〇〇	—	—	—	—	三三〇	四五〇	四	四五五	一、二六一	〃	B	
（六）董家渡碼頭	Shanghai Honkong Dungkahduppu	四〇—四五	二	一、二〇〇	一	三〇〇	—	—	一五〇	一、四〇〇	八	五、五二八	五、七四〇	〃	C	（六）董家渡碼
（七）同　碼頭	〃 〃 〃 lower	八—二九	一	六五五	—	—	—	—	八〇〇	一、〇五〇	—	—	—	〃	C	

(八)三菱東家濱碼頭	Mitsubishi Chung kahpang wharf	二一—[illegible]	一	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	〃 C	頭の一部の大
(九)日清汽船浜浦渡上碼頭	N. K. K. larpa Du upper 〃	一〇—[illegible]	一	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	〃 C	日本製糖株式
(十)同　空地	〃 〃 Ground	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	—	〃 C	會社か買收す
(十一)同　下碼頭	〃 〃 Lower	二一—[illegible]	一	[illegible]	二	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	一	[illegible]	[illegible]	〃 C	(九)及(廿)の間に
(十二)大倉同碼頭	Okura lon po Du wharf 又八	[illegible]	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	〃 C	左記日本郵船
(十三)東清鐵道公司碼頭	怡昌棧 Chinese Eastern By.Cos wharf	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	—	〃 C	會社碼頭を追
(十四)招商局楊家渡碼頭	China Merchant Yan ker Du	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一〇	[illegible]	[illegible]	〃 C	加すること、
(十五)華通碼頭	China Navigation Cos Watung	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	一	一〇	[illegible]	[illegible]	二	[illegible]	[illegible]	一區	なれり水深二
(十六)鴻興碼頭	Hong Hsin wharb & Godown Cos Pootung wharf	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	一〇	[illegible]	[illegible]	一區	六呎—二七呎
(十七)太古東棧	China Navigation Cos Pootung	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	三	[illegible]	[illegible]	二區	水面延長一、
(十八)怡和其昌西碼頭	Pootung wharf West 〃	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	九區	〇六四呎倉庫
(十九)同東碼頭	〃 East 〃	一六—[illegible]	一	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	九區	三箇分同四八
(二十)招商局華棧	China Merchant Eastern 〃	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	十區	八九坪
(廿一)海洋社浦東碼頭	Kaiyosha Pootung 〃	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	十區	位置九、十區
(廿二)開灤礦務局碼頭	Kailan Mining Administration Cos	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	十區	其後計畫中の
(廿三)藍烟筒輪船碼頭	Asiatic petroleum Cos upper	[illegible]	—	—	—	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	十區	ものは日本三
(廿四)三井洋行煤炭碼頭	Holts wharf S. S. Cos. 〃	[illegible]	一	[illegible]	—	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	十區	菱公司の陸家
(廿五)同碼頭	M. B. K. Coal wharf	[illegible]	一	八〇〇	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	—	十一區	嘴(四區)の英
(廿六)亞細亞火油下棧	Asiatic petroleume lower 〃	[illegible]	—	—	—	[illegible]	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	十一區	華北棧同大達
(廿七)美孚洋行碼頭	Standard Oil Cos 〃	[illegible]	一	[illegible]	—	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	下區	公司大達新棧

(上區)匯山東鐵路公司の保隆新棧(同上)及藍烟筒公司の大古新

(十九)光裕同碼頭	Yacume Oil Co's 〃	二五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	下區	棧(十、十一區
合計		—	—	八、九八八	—	六、〇八三	一〇	四二五	六、六〇八	三、六四四	一七七	八七、五四五	一五五、七〇一		等下り
上海側															
(一)大達碼頭	Dah Duek Co's wharf	四	—	—	五	九四四	五	一八九	七七	一、〇八八	二二	二、一四八	四、八三六	上區B	
(二)寧紹碼頭	Ningshau S. A. Co's 〃	五—一〇	—	—	一〇	四三一	一	五七	四一九	四八八	三三	八四〇	一、四〇六	上區C	
(三)招商局金利源碼頭	Kinleeyuen 〃	四—一〇	—	—	四一	一、五二四	八	二〇〇	三二四	一、八〇〇	六八	一、三五〇	二九、七八八	上區C	
(四)大古洋行碼頭	China Navigation	一〇—一七	—	—	六六	七八一	—	—	三五	一、二〇〇	一八	三、七八八	三四、三八〇	一區	
(五)日本郵便會社碼頭	N. Y. K. 〃	二六—四四	—	—	五	六八七	一	五〇	—	九二六	九	一一、二二九	三四、七八二	五區	本中にはSh-
(六)招商局中棧	China Merchant Central	二二—二六	—	—	三	三八〇	—	八〇	二五	四〇〇	七	四、〇七六	四、五六七	五區	ed一箇を含む
(七)順泰及公和祥碼頭	Hurst Shanghai Hongkon 〃	二〇—二四	一	二、一〇〇	二	四四〇	—	—	三九	二、三〇四	三四	三七、〇三一	八一、五三三	六、七區	
(八)招商局下棧	China Merchant Lower	三〇—三五	—	—	七	七〇五	四	一二〇	三三	八四〇	三三	七、七七七	一七、〇〇〇	七區	
(九)老寧波碼頭	華順ハOld Ningpo	三—二〇	—	—	四	六〇〇	三	一五〇	四一	八〇九	一六	七、八九〇	六、〇五八	七、八區	亦中にはShe
(十)日本郵船滙山碼頭	N. Y. K. Wayside's 〃	一八—二九	一	八六〇	—	—	—	—	—	九二二	九	一〇、二四〇	三三、五三八	八區	d三箇を含む
(十一)大阪公司碼頭	O. S. K. Yangtzepoo	一三—二三	一	八〇七	—	—	—	—	—	八七〇	四	一、四四三	五、一二二	八區	
(十二)滿鐵碼頭	S. M. R. Co's	一三—二〇	一	九三〇	—	—	—	—	八二〇	九三〇	八	四、一六六	九、一五五	八區	
(十三)大阪公司空地	Ground	—	—	—	—	—	—	—	—	八〇〇	—	—	—	八區	
合計		—	—	四、七七七	—	六、三八一	二二	八二六	一、七六四	一三、四〇八	六八二	一〇一、二九七	二四九、八四四		
總計	浦東及上海	—	—	一、五七六五	—	一三、五五五	三二	一、二五一	八、四二二	三六、三六七	八五九	一八八、八四二	四四〇、五六九		

前表中には棧橋倉庫兼營のもの、みを掲げ單に倉庫のみを經營するもの又は汽船の繫留に適せざる第二區及第三區の「フレンチメールボンツーン」及税關棧橋を包まず其他私設倉庫支那銀行等附屬倉庫又は支那式倉

庫を加へず是等倉庫の推定能力は約五十萬噸を下らざるべきを以て總計に於ては百萬噸に近しと謂ふべし。

前記新式棧橋倉庫の全能力は四十四萬三千餘噸なるが他の調査に依れば三百十四棟二十萬九千餘坪八十四萬八千噸とし（大正十年九月東亞攻究會會報第四號岡本工學士上海港の設備及能力參照）又は六十五萬七千餘噸となすものあり（東亞同文會編支那開港場誌第一卷參照）

黄浦改修局に於て最近調査したる江岸及其設備の分類を示さば左記の如し。

（一）水深「ノーマレライン」

	全延長 上海側 呎	浦東側 呎	計 呎
最大干潮面下三〇呎を越ゆるもの	一、八六〇	二七〇	二、一三〇
同　二四呎より三〇呎迄	四、〇一〇	八、三〇〇	一二、三一〇
同　一八呎より二四呎迄	九四〇	三〇、七三八	三一、六七八
同　一二呎より一八呎迄	四、〇六〇	四、六三〇	八、六九〇
同　六呎より一二呎迄	七、八一五	二、一〇五	九、九二〇

	全延長 上海側 呎	浦東側 呎	計 呎
同　零呎より六呎迄	九、九九〇	四、八九〇	一四、八八〇
同　零	二三、六七五	三、三一〇	二六、九八五
同　涇（クリークス）	八〇〇	九四〇	一、七四〇
合計	五三、一一〇	五五、一八三	一〇八、二九三

（二）江岸利用

	上海側 呎	浦東側 呎	計 呎
普通貨物の碼頭	一三、一〇五	二一、九七〇	三五、〇七五
特別貨物の碼頭	一、六八〇	一一、六二〇	一三、三〇〇
造船所	三、七七〇	五、八七五	九、六四五
道路及公共棧橋（稅關區域を包む）	一一、一六〇	九一三	一二、〇七三

	上海側 呎	浦東側 呎	計 呎
涇	八〇〇	九四〇	一、七四〇
工業敷地	一三、〇九〇	二、二三五	一五、三二五
未開地	九、五〇五	一一、六三〇	二一、一三五
合計	五三、一一〇	五五、一八三	一〇八、二九三

（三）碼頭利用

	上海側 呎	浦東側 呎	計 呎
「ポンツーン」	九、二七〇	六、五〇〇	一五、七七〇
棧橋	四、八一〇	一一、八〇五	一六、六一五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(ポンツーン又は棧橋なき(バンド))	二四、五一〇	二二、六三五	四七、一四五
自然岸壁	一三、七一〇	一三、四〇五	二七、一一五
[illegible]	八〇〇	九四〇	一、七四〇
合計	五三、一一〇	五五、一八五	一〇八、二九五

(Whampoo Conservancy Board, The Port of Slanghai 1933. P. P. 17.)

更に江岸の情勢を見るに上海側に於ては陸家嘴(Yangtzepoo Point.)よりの河岸は淺瀨あり重要通路なく只水面に對して階段ある一公道あるのみなれど同處より蘇州河に對しては棧橋又は階段を設けたる荷役用の公道八線あり。

蘇州河の上方共同租界の前面には「パブリックガーデン」五百呎の公共「バンド」あり岸壁には十五箇の公共「ポンツーン」あり就中二箇は稅關に屬し二箇は特に吳淞碇泊の汽船よりの渡小蒸汽船旅客の上陸用に供用しつゝあり尙時下連續棧橋の計畫中に在り。

佛「バンド」は延長三千八百呎にして下の如く細分せらる。

一、三七〇〇呎　公共「ポンツーン」一箇小公共棧橋二箇及私設「ポンツーン」を設備したる公共岸壁

一、八〇〇呎　私設「ポンツーン」を有する私設道路

一、六三〇呎　公共「ポンツーン」四箇を有する公共道路

尙右全面に對して公共碼頭設計中に在り

佛租界の上方には只千六百呎の「ポンツーン」一設備あるのみにして其他多數の棧橋は小船の發著用に供するのみなり。

港內上海側には左記浬(クリークス)あり。

楊子浦 }
虹口 } 共同租界の東區

蘇州 共同租界の中區

徐家滙 支那碼頭

前記二者は小浬にして地方的利用價値あるのみなるが蘇州浬は干潮面下幅員百呎水深四、五呎にして蘇州に於て大運河に連絡し更に杭州及鎭江に通ず徐家滙浬は又小流なれど利用多し。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南頭「バンド」の上方には多量の支那產木材の置場あり戎克船積の木材は一時的に「バンド」側に堆積しつゝあり又「バンド」の後方にも小型木材「ドック」及多數木材置場あり。

次に浦東側にありては道路なく只二、三の繫船棧橋あり其一箇處には階段を設け又公共「ポンツーン」一箇あり港界內には西溝涇、洋涇濱、陸家、老擺渡、張家濱、白蓮涇等の六箇の「クリークス」を存すれど大部は小型にして屈曲多く就中西溝及白蓮涇の兩涇は海岸に接近し荷物船に對する通航路たり。(Hid P. P. 26-7.)

碼頭倉庫等設備を國別に觀察するときは英國を主とし以下日本及支那は大差なきが江岸の延長に關しては日本は支那の下位にあり前記岡本工學士調査に依れば左表の如く倉庫及碼頭に於て英國を一位とし日本は支那に亞ぎ第三位とす。

	碼頭(呎)	倉庫能力(噸)
日本	六、三二五(二四%)	一八、二〇〇(二二%)
×支那	八、〇一八(二九%)	一七、九五〇(二二%)
英	一一、四六五(四二%)	四五、七〇〇(五六%)
米	一、七五〇(六%)	—
計	二七、五五八(一〇〇)	八一、八五〇(一〇〇)

×碼頭の六割及倉庫の九割は招商局に屬するものとす。

江岸延長の國別比例は黃浦改修局の調査に依れば左記の如し。

國名	上海側(呎)	浦東側(呎)	計(呎)
米	一、三六〇	五、一三〇	六、四九〇(六%)
英	九、九六〇	一八、五五五	二八、五一五(二六%)
支(私設)	一三、〇五五	一二、五〇五	二五、五六〇(二三%)
佛	一、八七〇	一、二〇〇	三、〇七〇(三%)
日	一一、一〇〇	八、七七〇	一九、八七〇(一八%)
公共	一二、二五〇	九一四	一三、一六四(一二%)
未定	二、七一五	七、一八〇	九、八九五(八%)
涇	八〇〇	九四〇	一、七四〇(二%)
計	五七、一一〇	五一、一八四	一〇八、二九四(一〇〇)

(Whangpoo Conservancy Board, The Port of Shanghai P. P. 17.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

碼頭倉庫等の價値は位置及水深に關係すること少からず必しも前記國別表に依り直に其優劣を比較することを能はず蓋し浦東角江南の上流は海難事故多く三千噸級以上の航洋汽船の進航困難なり又上區は船舶の出入に伴ひ危險少からざるが如く自ら上海港の發展は下流に向ひつゝあり乃ち其地位及水深に著眼せば日本郵船會社の設備は價値比較的大にして所謂郵船碼頭の如きは上海側第五區虹口に在り市場に接近し水深は上海に於ける碼頭中第一位にあり後端（棧橋より三十呎の距離）三十六呎乃至四十一呎中央二十六呎乃至四十五呎、前端（棧橋又は「ポンツーン」附近）三十六呎乃至四十五呎を示し一萬噸級の汽船を繫留せしむ同倉庫の前身は明治初年三菱會社が太平洋汽船會社より買收したるものにして其經營古く今日其一部は日清汽船會社に使用せしめつゝあり滙山碼頭は同じく上海側第八區に在り其位置市場の中心を去り又水深二十四呎内外にして前者に及ばすと雖も倉庫能力其他稍伯仲の間に在り又前者に比して沿革新しく一九〇三年英商「バクベーン」公司より之を讓受け一九一三、四年に於て鐵筋「コンクリート」の大碼頭を新築したるものとす。

會社は最近前表に示したるが如く浦東側第九及第十區に當り碼頭棧橋一千餘呎、倉庫四千八百餘坪を設備したるを以て總體に於て水面延長二千九百餘呎倉庫二萬六千三百餘坪五萬八千餘噸内外に達すべし同社所屬碼頭倉庫等を掲ぐれば左表の如し。

日本郵船會社碼頭表　（一九二三年四月現在）

（一）郵船碼頭（水面權延長九三八呎六吋「ポンツーン」三個及接續橋一個計七一三呎滿潮時最低水深三十五呎

土地面積二十畝）

倉庫

名稱	坪數	構造	總坪數	能力(噸)	摘要
二號	四〇六	四階煉瓦造	一、六二四	三、五七五	日清汽船會社へ貸與
三號	八三六	同	三、三四四	七、五九六	
四號	六三〇	同	二、五二〇	五、五四四	
五號	三七二	同	一、四八八	三、二七四	日清汽船會社へ貸與
六號	二六八	二階煉瓦造	五三六	一、一七九	
七號	三〇一	一階煉瓦造	三〇一	六六四	
八號	三一一	二階煉瓦造	六二二	一、三六八	
九號	三六〇	同	七二〇	一、五八四	
上屋	五三	一階煉瓦造	五三	一一七	
計	三、五五八		一一、二〇九	二四、六六一	

知上二號及五號二棟三千百十二坪は日清汽船會社に貸付せるを以て本社使用は其他六棟及上屋を加へて八千九十七坪とす。倉庫收容能力は一坪に付二噸二分に當り河航汽船貨物の藏置量は二噸六分五厘とす故に日清汽船會社使用倉庫三千百十二坪の最大收容力は八千二百四十六噸となる。

(二)滙山碼頭(水面權の延長九一二呎一吋　碼頭足場八六〇呎滿潮時最低水深二六呎土地面積八八畝)

倉庫

名稱	坪數	構造	總坪數	能力(噸)	摘要
一號	一九四	一階煉瓦造	一九四	四二七	
二號	四二一	同	四二一	九〇四	保稅倉庫
三號	三五六	二階煉瓦造	七一二	一、五六六	
四號	三五六	同	七一二	一、五六六	
五號	五五六	三階煉瓦造	一、六六八	三、六七〇	
六號	五五六	同	一、六六八	三、六七〇	
七號	四七四	同	一、四二二	三、一二三	
舊保稅倉庫	四〇	一階煉瓦造	四〇	八八	

名稱	坪數	構造	總坪數	能力(噸)	摘要
舊D保稅上屋	九六	波形鐵板屋根竹造上屋	九六	二〇七	
同A同	五三三	鐵道	五三三	一、一七三	
同B同	五三三	同	五三三	一、一七三	
B上屋擴張	四〇六	同	四〇六	八九三	
C同	四四四	同	四四四	八七七	
一號上屋	三三一		三三一	七二八	
開放上屋	一四〇		一四〇	三〇八	
計	三、四二六		九、三一〇	二〇、三七三	

(三)浦東碼頭(水面權延長一、〇六四呎、土地面積、七六畝)

上海港は他の支那開市場と大差なく艀船利用多く又苦力賃尙低廉にして碼頭勞力の供給容易なるを以て機械的荷役設備等比較的少く特に附屬設備として揭ぐべきものは起重機となす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上海に於ける現在の起重機は多くは固定式にして左記の如し。

扛動力	數	扛動力	數
一噸—五噸	一八	一五噸—八〇噸	七
五噸—一〇噸	六	計	三七
一〇噸—一五噸	六		

其他二、三個の小型揚貨船（フローチングクレーン）（三噸十噸及十五噸）あり「パイルドラヴァー」に依り浮標其他を引扛く碼頭中動力起重機を装置するは五箇處とし艀船十三隻には又起重機を設備せるものあり（多くは一噸なるが一隻十噸扛のものあり）(W. C. B. Port of Shanghai P. P. 31.)

前記事由に依り碼頭に於て起重機を設備せるものは蓋し約二割餘に過ぎず普通荷役用としては五噸以下のもの多く獨り造船所に在ては大型のものあり例へば上海船渠會社の「インターナショナル、ドック」には六十五噸新船渠には五十噸董家渡及老船渠には各三十噸の三脚式（シェーアリング）揚貨船あり而して普通碼頭にして十噸扛起重機を有するものは招商局下棧（二十噸）藍烟窗、美孚洋行、三菱張家濱、上虹、董家渡等の例に過ぎざるが如し。

第二　繋船浮標

上海港内第六區乃至第八區及第十區第十一區の所謂双錨泊(Head and Stern Mooring berth)中には特に大型船の碇繋に適する十數個の浮標あり所屬位置等左記の如し。

所有者	錨地番號	位置	長（呎）	最低水深
上海船渠會社	H.S.M.B. 一號	第六區	六〇〇	三〇1/2
恰和洋行	同 二號	第七區	五七〇	三一
上虹碼頭會社	同 三號	第七區	六〇〇	二1/2
彼阿（ピーオー）汽船會社	同 四號	第七區	五七〇	二九
大洋汽船會社	同 五號	第七區	六二〇	二七
招商局	同 六號	第七區及第八區	六二〇	二七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本郵船會社	同	七號	第八區	六〇〇	二五
日本郵船會社	同	八號	第八區	五七五	二四
大阪商船會社	同	九號	第八區	五五〇	二四
エム、エム汽船會社	同	一〇號	第九區	七〇〇	二一
大洋汽船會社	同	一一號	第十區	七〇〇	二三
日本郵船會社	同	一二號	第十一區	七〇〇	二三
彼阿汽船會社	同	一三號	第十一區	七〇〇	二三
支那海關	同	一四號	第十一區	六五〇	二一
支那海關	同	一五號			

支那招商局に屬する四個及怡和洋行に屬する一個の碇繋處は是等會社の沿江及沿海汽船の專門に屬すると其他は協定に依り一般の使用に供せらる其九個は長六百呎、五個は七百呎にして水深は大潮時干潮面下二十四呎乃至三十二呎となす。

前記第一乃至第九を上浮標第十以下を下浮標と稱す後者は大型汽船の碇繋に便なりとす。

其他上海港內第一區乃至第三區に於て汽船會社又は海軍專用に係る左記繋船浮標あり。

所有者	數	位置
招商局金利源	五	第一區 第二區
大古洋行	二	第二區
エム、エム汽船會社 ※	一	第二區
彼阿汽船會社 ※	一	第三區
英・國海軍	一	第三區

※印の部は現在撤囘したるが爲に一九二二年には第一區より下流に亘り日米佛英等海軍浮標を新設し其間長約六百呎ありと云ふ。

第三　造船設備

上海當初の造船としては一八五六年七月十七日に進水したる「パイオニーヤ」號を擧げ得べし同船は呉淞に於て寧波大工が支那の木材を以て建造し長六十八呎吃水二呎八吋にして十二馬力四十噸級の小汽船なりしなり又當初の外國人經營の船渠としては一八五六年新船渠と稱したる米人デュウナップの所有に係るものとす該船渠は單に河岸を掘鑿したる土造のものにして設備として見るべきものなく一八六二年頃に更に新船渠

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

として漸く長二百八十呎吃水十四呎の船舶を入渠するに足る設備を見るに至りたり而して當時の外人造船業者の先驅としては一八五二年上海に在りたる「パーヴィス」會社を指摘し得べし其後の船渠業者としては「ミユーアヘッドドック」の所有者たるミユーアヘッド及「ボイド」會社の創立者たるニコルソン及ボイド等を忘るべからず。

當時より既に六七十年を經過したる現在に於ける上海の造船事業は原料其他特殊輸入品又は高級技術家等の供給を外國に俟ち歐米に比して造船費低廉ならざるの情態にありと雖も重量噸一萬四千噸級迄の巨船の築造をなすに至り就中新式造船所として著名なるは耶松器廠、瑞溶、江南、中法、求新、東華及平安の六を掲ぐることを得べし。

（註）是等造船所の船渠は八個あり其寸尺は左記の如し。

名　　稱	盤木長（呎）	入口幅（呎）	盤木上水深（滿潮時）（呎）
耶松器廠			
コスモポリタンドック	七〇〇	八五	二七
インターナショナルドック	五二八	七七	二五
新ドック	四五〇	七四	二二
老ドック	三九九	五三	一八

名　　稱	盤木長（呎）	入口幅（呎）	盤木上水深（滿潮時）（呎）
董家渡ドック	三五五	六七	一六
瑞溶船渠（楊樹浦）	五七〇	七〇	二二
江南船渠	五九〇	七八	二三
平安（老公茂）船渠	約二五〇	三〇	一五

（W. C. B. Port of Shanghai P. P. 27.）

（註）上海造船所に關しては一九二三年上海海事官の調査及各社の營業報告其他に依り左に槪設すべし。

（一）耶松器廠有限公司（上海船渠會社 Shanghai Dock & Engineering Co.）

本社は一八六二年に創設せられ Farnham, Boyd 等の合同に成れる會社を解散し一九〇六年組織を改めたるものにして資本金五百五十七萬兩（拂込資本五百五十二萬兩）とし重役及主たる株主等は英人にして又技師四十名全部英人とす支那人職工約二千人を使役す。

所屬船渠及工場等は五箇處あり卽ち　（イ）老船澳機器廠（Old Dock）は上海側にあり河岸延長四百六十呎にして約三千噸級の汽船を入渠せ

しむるに足る　(ロ)董家渡廠(Tungkadoo. D)は浦東側にあり河岸延長七百呎地積三十五畝あり約三千五百噸級の船舶を入渠せしむ　(ハ)和豐機器廠(International. D)は浦東側に在り河岸延長二千呎地積七十畝を占め僅に一萬噸級の汽船を入渠することを得　(ニ)浦東工場は老船澳機器廠の對岸浦東側にあり機械及造船工場あり新製品及修理品の大部は該工場より之を供給するものとす　(ホ)引翔港廠(Cosmopolitan D)は浦東側にあり河岸延長二千五百呎地積百七十畝アレド近來使用せざりしが爲に荒廢に歸せり時下作業計畫中なりと云ふ。

耶松公司の營業成績を擧げば左記の如し。

年次	純益金(兩)	配當金	年次	純益金(兩)	配當金
一九一三年	一七五、九三〇	三%	一九一九年	一、七〇八、四四七	二〇%
一九一八年	一〇四八、三三四	一四%	一九二〇年	一、〇八五、六六八	一六%

(二)瑞鎔造船所(楊樹浦船渠New Engineering & Ship building Co.)

本社は一九〇〇年の創立に係り當初は七萬兩の小資本を以て經營したりしが一九〇八年船渠を築造し一九一一年 Valcum works. を合併し漸次發達し一九一九年には資本金七十五萬兩に達し現在公稱資本金五百萬兩(拂込高二百五十萬兩)とす又主として英人の經營に係り支那人職工約二千五百人を使用す本工場(Dock yard)には事務所、製圖室、組立工場、亞鉛鍍工場、機械工場、動力室、木工場、造船臺及乾船渠等の各種設備あり前記船渠の外に同形造船臺二臺(長二百五十呎幅三十七呎)あり分工場(Valcam works.)は本工場の下流に隣接し當社主要工場の一たり造船臺其他設備左の如きものあり。

(造船臺)

一	長	二三〇呎	幅三七呎
二	長	二六五	幅四〇
三	長	三三〇呎	幅四四呎

(修理架)長二四〇呎とし吃水四呎迄小蒸汽船「モーター」「ハウスボート」等の修繕をなす。

(海難救助裝置)一分間排水量一二、〇〇〇「ガロン」の能力あり

本社は尙現工場の對岸浦東側に河岸延長五百五十呎面積約百畝の敷地を購入し修理架乾船渠及工場增築の計畫なりと云ふ。

本社の營業成績は左記の如し。

年次	純益金(兩)	配當	年次	純益金	配當
一九一三年	—	一六%	一九一九年	八三一、九八七	六〇%
一九一八年	五八一、〇三八	五〇%	一九二〇年	一、二八五、五九四	一〇〇%

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(三)東華造船鐵工株式會社(Eastern Engineering & Ship building Co.)

本社は一九〇九年上海龍華路日暉橋外に於て支那人印錫章の創立したる造船業を繼承したるものにして一九一八年森恪氏を代表とせる日本資本團と合併し日本の法律に依り組合を作り專ら日本人に依り經營せられしが工場の位置邊陲にありしを以て一九二〇年に工場全部を現在の揚樹浦路に移したるものにして資本金三十五萬兩とし重役技師等總て日本人なり現在支那人職工五百餘人を使役す將來の計畫として浦東陳家嘴に一萬二千坪の敷地を買收せり。

(四)江南造船所(Kiangnan Dock Co.)

本社の前身は一八六四年(同治四年)髮賊の亂後兩廣總督李鴻章北洋大臣曾國藩が協議して機器製造局を創設し武器の製造に着手したるに存す創設以來幾度の變遷を經て民國元年(一九一二年)に至り之を海軍の管理に移すと同時に名稱を江南造船所と改めたり。

一九一八年米國と造船協定成立してより國際上重要なる地位を占むるに至り經營は主として英人に依り現在支那人職工一千名を使用す。

所屬設備としては　(イ)造船機器廠長二百四十一呎幅百七呎高三十六呎とし　(ロ)造船鐵工場は長百七十七呎幅百五十呎高三十六呎あり　(ハ)造船場建築大船臺四臺あり各船臺長三百九十六呎幅三十六呎深二十呎あり各臺共長五百呎の船舶を入渠することを得　(ニ)乾船渠としては長五百五十六呎幅百五呎深二十六呎六吋あり　(ホ)其他設備として鎔鐵工場、製鐵工場、製銅工場、木工場其他各種製造修理工場等あり。

本社の最近五箇年間の營業成績を揭げば左記の如し。

年次	收入(千元)	支出(千元)	剩餘金(千元)
一九一七年	二、三〇八	一、五五七	六〇四
一九一八年	二、五九二	二、二〇七	四九〇
一九一九年	一、五八〇	一、五六四	五二五
一九二〇年	三、六四〇	二、八二九	一、一五二
一九二一年	一八、〇六〇	一六、八二〇	二、一六七

(五)中法求新造船所(Societe Franco-Chinoise de Constructions Metalleques et Mecaniques, "Kiou Bin")

本社は約二十年前の創立に係り當初は支那人朱子堯資本金五十萬兩を以て經營したりしか事業不振の爲に佛支合併となし資本金を百二十萬兩に增加し約四百呎の造船臺あり。

(六)老公茂船廠(Ping An Dock Co.)

本社は老公茂紡績會社の附屬工場とも云ふべきものにして二十餘年前開設せられたる紡績機械の新造修理の外に船舶の新造修理をなしつゝあり工場は浦東白蓮涇南碼頭等にあり白蓮涇の平安乾ドックは全長二百六十呎にして千噸級の船舶を建造し得べし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

以上述べたる所の上海に於ける造船所は歐洲戰爭以來諸外國よりの注文に依り著しく其能力を發揮し例へば上海造船所の舊船渠に在りては一九二〇年英國政府の爲に模範的大汽船二隻地方船主の爲に重量噸各三百噸の鋼鐵製の貨物船六隻招商局の爲に全長三百四十呎梁長四十七呎の客用並に荷物運搬船を築造し又は伊國政府の注文に依り全長三百四十呎の同種汽船二隻及砲艦一隻を建造し其他多くの小船を築造したるものとす。(Far Eastern Review, Sept 1920 Jan 1921.)

江南造船所に於ては一九一七年以來約百隻の造船をなし就中大型船は從前一九一六年には千三百七十五噸の祥泰木行よりの注文に係りし祥泰號に止りしか一九二一年には米國政府よりの注文に屬したる千四百七十噸級の汽船四隻其他八、九百噸級の汽船七、八隻を建造したり但し三、四百噸級の船舶大部を占めたり。

今一九二一年に於ける三大造船所の建造船を擧げば左記の如し。

	數	進水噸量	馬力
耶松器廠	一	二、四九六（總噸數）	一八、三五五
瑞瑢	一五	五、二〇五（同）	五、七二四
江南	六	一二、二四五（重量噸數） 七、五〇〇（總噸數）	五、九七七

一九二二年に總計四十四隻一萬七千噸三萬馬力の船舶を築造せり(W. C. B. Port of Shanghai P. P. 23)

第四　船　舶

(一)艀船及曳船　艀船の種類には登簿船と不登簿船とあり前者は稅關に登記したる所謂 Registered lighter にして多くは鋼鐵製となす甲板及艙口を有し大型のものには四五百噸に達するものあり後者は大部は木造に係り三、四十噸を越すもの稀にして前者が外國會社の所有なるに反し支那人の所有に屬し舊式棧の所在地たる蘇州涇其他小河川の運航に使用す而して船體其他不完全にして特別の場合(稅關に擔保を提供す)の外は前者の如くに輸入貨物の移積等をなすを得す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

艀船數は登錄したるもの一、九二二年末現在に於て二百二十五隻（百噸以上六百噸積）あり多くは英人經營の會德豐（Shanghai Tug and lighter Co.）及邦人經營の上海運輸株式會社の有する所に係り最近前者は百三隻一萬七千九百六十噸後者は五十一隻七千九百六十噸を占めたり。

此等專屬會社の外に大古洋行の十四隻、彼阿會社の八隻を始めとし怡和洋行招商局「スタンダード」石油會社其他各二、三隻乃至四、五隻を有するものあれど各社用に供し前記兩社所有船の如くに一般の需要に應ずるものに非ず。

而して會德豐、彼阿會社等には二噸級の揚貨機を裝置したる艀船各二、三隻を有す。

不登簿船たる支那艀（Native lighter）は多くは商店商社の專屬請負者（支那人）の供給する所に係り多數を一括して所有するもの少く精覈の數を知る能はずと雖も現在上海港に於て六十噸以下の是等小艀は約三、四千隻積量五、六萬噸に上るべしと稱す曳船は前記會德豐及上海運輸株式會社の專業とする所にして前者は五十噸以上四百五十噸級の曳船八隻の外に三、四十噸級の小曳船十隻を有し後者は十八噸以上百六十七噸級迄の曳船七隻を有す而して各汽船會社船渠會社其他專用又は港內渡船用小蒸汽船內外人所有のものにして曳船をなし得るもの凡そ數十隻以上あり。

前記專業會社所有の艀船及曳船を示さば左の如し。

○艀船

	會德豐 噸數	隻		上海運輸株式會社 噸數	隻
「スチールライター」	五〇〇	二	同	四〇〇	六
同	四〇〇	七	同	三五〇	六

同	四五〇	一〇
同	四〇〇	一八
同	二五〇	六
同	二〇〇	二
同	一〇〇	二
同	八〇	三
同	六〇	二八
同	五〇	一三
同	二五	四
合計		一〇四
同	四〇〇	一
同	三五〇	二
同	一五〇	四
同	一〇〇	七
同	八〇	五
同	五〇	一三
木造ライター	五〇	九
合計		五二

○曳船

會徳豐

船名	噸數	
「セントドミニック」	四五〇	(無線電信設備あり)
「セントサムプソン」	四五〇	(同上)
「アレキサンドリヤ」	三五二	
「ヴイクトリヤ」	二八	
「ヴアルカン」	二二一	
「フーリー」	一〇一	
「ロソアット」	六〇	
「フオーケルン」	五〇	

其他三〇噸乃至四〇噸級十隻あり。

上海運株式會社

船名	噸數
第三丸	一六八
六甲丸	一五七
蒲菖丸	五九
櫻丸	五八
菊丸	五四
椿丸	二八
榛丸	一八
合計	七

(一九二三年二月上海運輸株式會社調査及 W. C. B, Port of Shanghai P. P. 30)

(二)其他船舶

艀板　上海港内に於て兩岸間及中流碇泊の船舶江岸間の乘客用艀板は約千三百隻あり一隻の定員は四、五名に過ぎざる小舟なり。

小蒸汽船　公共用渡船として三隻の小蒸汽船あるの外呉淞上海間乘客用の「テンダー」六隻あり艀船會社等には小蒸汽船十四隻を有し港内の小蒸汽船中前記曳船をなすものを加へば總計百七十餘隻あり。

其他船舶設備として例へば港内及附近の救助作業が船渠會社の經營に係ると同時に艀船請負業の一商社に屬する航洋救助船二隻（四百五十噸千五百馬力）消防隊に屬する消防艇二隻上海水道會社所有の給水船あり。

第五　浚渫設備

上海港には各碼頭に於て私設に係る約二十箇の浚渫裝置あり黄浦改修局は一時間能力五百立方碼の大型鋤簾式浚渫船一隻及喞筒式竝に一時間能力百立方碼の大型掴上式浚渫船各二隻を有し他に鋤簾式浚渫船一隻を準備せり運搬設備としては曳船四隻及土砂受船九隻（毎船能力二百五十乃至三百五十立方碼）あり。

同改修局に於ける一箇年浚渫能力は約百萬立方碼にして泥土は土砂受船の「パイプ」より築堤の埋立地に排出しつゝあり（W. C. B. Port of Shanghai P. P. 31）

第六　電　信

上海には公設海底線又は無線電信の外に私設會社經營の世界各地に對する電信あり此中無線電信設備中には六千哩の受信をなし晝間約五百哩夜間約一千哩以上を送信することを得るに至れり。

（一）海底線其他

管理者及區間

一、大北電信會社（The Great northern Telegraph Co.）

（一）上海長崎間二線長崎より更に浦鹽に對する一線あり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(二)上海芝罘間一線、芝罘より更に天津北京張家口「イルクツク」に通ず。

(三)上海厦門香港間海底一線あり。

一、大東電信會社(The Eastern Extention Australia & China Telegraph Co.)

香港上海間一線あり。

一、太平洋商務電報公司(Commercial pacific Cable Co.)

上海馬尼剌間一線馬尼剌より更に「グアム」「ミッドウェー」「ホノルル」を經て桑港に通ずる線あり。

一、中國電報總局(Chinese Telegraph Administration)

上海芝罘間敷設海底線一線の外に上海より各地に到る陸線多し。

日本政府使用の海底線としては上海長崎間和文専用線一線あり(呉淞長崎間海底線は五百八十哩なるか呉淞上海間十三哩は地下線なり)

○無線電信

管理者	地位	通信距離其他
一、佛國政府	徐家滙	専用 二〇〇哩
一、工部局	共同租界四馬路外灘	試驗用
一、支那政府	呉淞	晝 六五〇哩 夜 一、三〇〇哩
一、巴里無線電信會社	上海顧家宅佛軍營内	晝 五〇〇哩 夜 一、〇〇〇哩

管理者	地位	通信距離其他
一、佛國聖芳濟學校	濟南路	二〇〇哩
一、佛人利成斯	霞飛路	二〇〇哩
一、英人濮廸禮	共同租界鐵芬路	
一、米人莫雅	新閘路水道會社	一〇〇哩

其他商社又は個人にして受信機を有するものあり日本人中私人として之を設備せるは蓋し大谷光瑞伯一人なりと云ふ。

第七　天文臺

上海の西方郊外約五哩の地に在る徐家滙の天文臺は十七世紀の初頭に於ける天主教徒たる徐光啓の功蹟を記念し建設したるものにして(註)一、八七二年(同治十一年)に設立し清初江海關の商請に依り毎日天氣及颶

信を報し以て航海家を利し又信號臺を洋涇濱に設け其後一、九〇一年（光緒二十七年）新臺（現在の觀象臺）を增設し同時に靑浦の余山に星象臺を創建し次て一、九〇七年に至り同所より磁氣觀側臺を崑山の菉葭濱に移したるが如く既に半世紀の經營に係るものとす。

本臺は世界有數の設備にして徐家滙に於ては主として氣象の觀側を司る而して天文の主たる事業は余山に於てし地震觀側は陸家灣に於てすと雖も徐家滙に在りては各所の事務を統轄す從來東洋各地の天文臺氣象臺約七十箇所と通信を交換し氣象圖を洋涇濱の信號臺其他要所に掲示し又新聞に登載す出版物としては年報（佛文）月報（佛文）氣象圖日報（支英兩文）及特別報あり各種觀側の成績他所觀側所の報告を集錄し報告するものとす就中年報は既に一八七三年（同治十二年）以來之を發行し來りたるものとす。

報時信號は佛租界「バンド」北端の江岸に在る高塔の信號臺に徐家滙の天文臺より電流を通し「グリーンウイッチ」東經百二十度の時刻を報せしむ晝間は石造の球を上下し正午を示し夜間は掛燈の明滅に依り午後九時を知らしむ每日午前十一時四十五分に柱の中央に球を掲げ同十一時五十分に柱頂に同十一時五十五分に再び中央に掲げ十二時に及び墜下せしむ。

（注一）徐光啓（Hsiikuang-Chi, Siikwang ki）は一五六〇年頃（明初）上海市外に生れ翰林學士となり王朝に重用せられたりしが彼の天主教の先驅者たるセントフランシスザヴイールに次て支那を訪れたるマシウリッシ（Mathew Ricci 支那名利瑪竇 li Matow）に歸依し耶蘇教傳道の開祖たるのみならず支那に於ける西洋文化の移植者として特筆すべきなり文定公と稱し教名「ポール」と呼び其女又洗禮してカンヂタと名けたり一六三四年（明末）に死し其墓は徐家滙（Siccawei, Zika wei.　）に在り天文臺天主教堂學校圖書館等皆徐氏の功勞を記念せしむか又は命名せられあり（S. Couling, Encyclopedia Sinica P. P. 242, 621. G. Lanning, The History of Shanghai P. P. 259. Richard's Comprehensive Geography of Chinese Empire P. p. 354-355）

第八　鐵　道

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

上海港界內には鐵道引込線なしと雖ども呉淞に於ては沿岸鐵道敷地三千呎あり就中鐵道碼頭七百五十呎を占め又上海港の上流龍華には鐵道沿岸二千五百呎あり六十呎の一棧橋を有す兩者共に左岸に在り前者は最大干潮面下吃水十九呎後者は二十呎の汽船碇泊地に對して側線を以て通す內地連絡としては上海より南京に達するもの（百九十三哩）及杭州に達するもの（百十一哩）にして標準「ゲージ」の單線とす一九一五年に於ける滬寧線の運轉能率は一億七千百萬（メトリックトンキロメートル）滬杭甬線は四千百萬（メトリックトンキロメートル）に達し一九一九年末には殊に前者は一箇月貨物七萬噸を輸送し一貨車の積載量は一萬噸餘に上り又一九二一年には前者は乘客八百七十五萬人以上後者は五百二十二萬一千四百人を運搬したり（W. C. B. Port of Shanghai P. P. 34, 39）

第九　道　路

上海市の道路は比較的發達し共同租界に於ては延長百三十餘哩に及び就中百八哩は鋪道とし佛租界に在りても亦同じく完全なる道路あり支那街は浦東の外は鋪石路にして新開地又は一、二幹線路を除かは狹隘なるが故に將來之が擴張に努力しつゝあり電車路は約三十哩餘（共同租界複線七哩半單線及無軌條十八哩半車臺百餘佛租界十哩にして車臺約五十あり）之を計畫中のもの二十餘哩あり共同租界の電車數年前は一箇年一哩約七百萬人の乘客を運搬したるに過ぎざりしか一九二二年には一億二千六百餘萬人に激增せり。自動車路は呉淞「ミンホン」「タイチアン」及「ナンフイ」に通ずるも田舍路は單純なる步道にして多少鋪石路あり蓋し上海の周圍十哩乃至十五哩を去らば都市以外には車道なく今や幹線路の築造を計畫しつゝあり而て上海より九哩乃至十哩の二、三隘路は開通したるものあり地方道路中涇川に架したる狹少の石橋を見るが自轉車の通行に困難を感ず支那式一輪車を使用しつゝあり從て內地に對する交通は大部水運に依るものとす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

左岸上海側に於ては獨り乘客用の一千呎以下の完全なる電車路あり一方現在大部の「ボンツーン」上屋倉庫間の貨物運搬は艀船に依りつゝあり中央區に於ては道路狹隘の結果荷車等の雜沓甚しく殊に上屋倉庫等の所在地は商店事務所に接近せり右岸浦東側には一部工場及造船所等の外は主として船舶業を以て占むるが故に道路の建設なく獨り江堤の舊路のみにして碼頭苦力又は一輪車運搬用のみに利用せられつゝあり。(W. C.B. Port Shanghai P. P. 34-36, 37)

第十　苦　力

上海港の苦力は大部地方よりの出稼人にして自ら農閑時には其數を增加し農忙時には著しく之を減退す而して湖北人多し近年最高十四、五萬に達したることあり戰時には減じて七、八萬と稱したれど最近は恐らく十萬を下らざるべしと云ふ就中碼頭苦力は勞働者中重要なるものにして荷役の機械的設備に代るものとす苦力の種類には苦力頭の下に屬するものと獨立し浮浪者の境遇に在る所謂野鷄苦力なるものあり前者を主とし雇入の際には苦力頭の請負に依る而して船會社等に專屬するものと然らざるものとあり又勞力の方法より分類せば運搬苦力船內苦力及倉庫苦力あり。

上海港の艀船「ボンツーン」上屋倉庫等相互間に於ける貨物の運搬は長距離の臺車又は一輪車に依るも多くは苦力の人肩に依る支那苦力の能力は之を白人勞働者に比せば二分の一乃至三分の二に當るも下級勞力者以外の「ステベドア」其他苦力頭「タリーマン」等に至りては白人のそれ等に比肩し得るのみならず寧ろ優勝なるものあり殊に又支那人は擔夫として筋骨强壯にして巨大重量貨物取扱に練熟したるものあり又は機械職工として好適なるものあり勞力の能率を見るに例へば「ボンツーン」側本船より普通貨物一千噸を陸揚し約二百呎を隔てたる倉庫(轉送上屋)に運搬するには一日三百人の苦力を要し一船舶より普通貨物を取卸すには一日約

八百噸となす (W. C. B. port of shanghai p. P. 35)

今浦東側三井物産會社碼頭の石炭苦力の例を擧ぐれば左の如し。

一晝夜を晝間九時夜間九時となし卽午前七時より同十一時三十分午後一時より同五時三十分午後七時より同十一時三十分及翌午前一時より同五時三十分迄と定め二千噸級の石炭船一隻に付凡そ百五十組(三百人)乃至二百組(四百人)の苦力を陸上運炭に使役せしめ之に對して賃銀の標準を立つ而して一日の能力に關しては石炭約二千七百噸積の一船舶の例に依れば下記の割合となる。

一、平均揚高(一日)　一、三六噸(荷役時間二十一時間)

一、迅速揚高(一日)　一、八五噸(荷役時間十五時間)

一、緩緩揚高(一日)　九七噸(荷役時間二十七時間)

次に陸揚人足三百名と假定し其の運炭量を見るときは次の通りとす。

一、平均一日(九時間)　一、三三四噸(一人四噸一組八噸)

一、迅速一日(九時間)　一、八六五噸(一人五噸半一組十一噸)

一、緩緩一日(九時間)　八七五噸(一人三噸一組六噸)

第十一　炭　水

(い)石炭　上海に輸入する石炭は五百哩乃至八百哩の地方よりするもの多く其の主たる種類は(一)日本炭(二)秦皇島仕出の開灤炭(直隷)(三)大連仕出の撫順炭(滿洲)(四)青島仕出の山東炭(五)長沙及漢口經由の湖南及江蘇炭(江蘇萬鄕)(六)京漢線及漢口經由の山西及河南炭(七)東京炭(鴻基)となす(注一)一九一八年上海に輸入せられたる石炭の五十「パーセント」以上は日本炭を以て占めたれど其後減退したり炭種には一等炭の無煙炭より褐炭に至る尙支那內地の炭田として江蘇南西部安徽及江西等に少なからざれど未開發の情態に在り炭質及數量固より不明なり而して上海附近の炭田としては南京及杭州間の丘陵に小部散在したるものあるに過ぎず。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二一年に於ける石炭の純輸入額(コークスを含む)は左記の如し。

鴻基炭(東京)	四一、〇〇〇噸	支那炭	一、三〇八、〇〇〇噸
日本炭	五六七、〇〇〇	合計	一、九一六、〇〇〇

上海港に於ける石炭消費量は船用炭としては二十五、六萬噸乃至三十萬噸を占め電氣及瓦斯燃料としての使用料は總額の二十「パーセント」たる四十萬噸を下らざるべし(註二)

貯炭場は約三十五箇所にして平時の貯炭量は二十萬噸内外なれど一、九二二年の如き四十萬噸に達したることあり。

(註一)上海三井物産會社の調査に依れば近年上海に輸入する石炭は百七十餘萬噸とし日本炭は減退し約四、五十萬噸安南炭(鴻基を主として其他海防を含む)六、七萬噸英國海軍用炭約一千噸とし支那炭は開灤炭百萬噸と稱すれど事實七十萬噸内外とし撫順炭約二十萬噸山東炭約五萬噸同中興炭三、四萬噸山西炭約五千噸河南炭約一萬噸賈汪炭(江蘇)四、五千噸長興炭(浙江)四、五千噸柳江炭(直隷)五、六千噸井陘炭(直隷)七、八千噸となす。

(註二)上海共同租界工部局佛租界及支那市街の發電所並に瓦斯會社消費炭量は輸入高の二割を占む。

○給水　上海港に於ける船舶に對する用水は上海水道會社の給する所たり同社は給水船を準備したること先に述べたるが如し一般の給水に關しても亦同社に於て之を爲す例へば一九一九年に於ける一日の最大揚水量は二千三百餘萬「ガロン」に達し其他佛租界水道會社の送水量は一日一萬立方「メートル」を示し上海内地自來水公司は一日五百萬「ガロン」閘北水電廠は一日二百萬「ガロン」となす蓋し水道會社の一八八五年の給水量は一箇年僅かに四億一千二百餘萬「ガロン」に過ぎざりしが一九一七年には五十二億餘萬「ガロン」一九二一年には八十二億九千二百萬「ガロン」に增加し就中七十四億四千萬「ガロン」は家事用に供し一九二二年中道路、電燈、其他家庭用以外に使用したるもの一億四千六百餘「ガロン」を占めたり。

第十二　電氣及瓦斯の供給

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上海に於て特筆すべき發電所は四箇所瓦斯事業は一箇所とす（註）共同租界工部局の電氣所は二箇の發電所を有し現在能力は五萬餘馬力なるが遠からずして十二萬一千馬力に達すべしと云ふ三相交流（Alternating current-3 phase）は電燈用として二百二十又は百十「ヴォルト」に下せり一九二一年に石炭消費は二十五萬五千餘噸にして同年の電氣消費量一億八千五百餘萬「ユニット」なりしが一九二二年には二十五、四「パーセント」を増加し左記の如く二億三千二百餘萬「ユニット」に達せり。

	千ユニット
私用電燈	二四、七九五
公私街燈	一、八三六
放熱及炊事用	一、六七二
動力	一九八、五四九
電車等	五、六〇五
合計	二三二、四五七

電氣使用料の激増は驚くべきものあり一九〇四年には僅かに百十餘萬「ユニット」なりしが十箇年後の一九一四年には約三十倍して三千二百餘萬「ユニット」に上り前記一九二二年には更に其の七倍餘に達せり又佛租界に在つては公用電燈の爲に一箇年約五十萬「ユニット」を使用し一九一九年に於ける消費量は六百萬「ユニット」を占む一九二一年上海法商電燈電車公司の發電總量は二千四百五十「キロワット」にして其中の五百「キロワット」は工部局より之が供給を受けたるものとす上海瓦斯會社の生産能力は一九一八年に於て一箇年五億四千八百萬立方呎を示し多數の瓦斯「エンジン」に對し之を供給す（W. C. B. Port of Shanghai P. P. 55）

（註）上海工部局發電所及佛租界電燈公司の外に閘北水電廠南市電燈公司浦東電氣公司等あれど小規模なり。

第十三　其他燃料

前記燃料の外に「ケロシン」及「ガソリン」油は多くは米合衆國東印度等より仕出し前者の純輸入は一九二一年に一千八百餘萬「ガロン」に達し就中米國より千三百五十萬「ガロン」東印度より四百五十餘萬「ガロン」を輸入し一九二二年には純輸入額三千三百九十餘萬「ガロン」に激増し米國よりは二千七百五十餘萬「ガロン」を輸

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

入せり「ガソリン」及「ベンジン」油の純輸入は一九二一年に二百萬「ガロン」を占めたり工業用酒精は現在使用せざるも一九二一年の純輸入額二十四萬「ガロン」を占めたり。

木炭及薪材の輸入高は一九一三年には約五十萬擔なりしが一九一九年には約二百萬擔に増加せり柴油(liquid fuel)の一九二〇年に於ける輸入數量は十萬一千六百噸に達し其の再輸出額は五萬六千噸にして主として船舶用に供したるが如し(註)而れども一九二一年には輸入數量は五萬九百八噸となり再輸出額三萬八千三百七十六噸に減退したり(W. C. B. Port of Shanghai P. P. 54, Shanghai Trade Return 1922)

(註)柴油の輸入高は海關統計書に依れば左記の如し。

一九二〇年	四五、八〇一噸
一九二一年	一二、五三二
一九二二年	三六、三〇八

(一九二二年總輸入高七九、一九一噸再輸出額四二、八二一六噸を占む)

四　港灣關係費用

前節の諸設備其他港灣船舶等關係の諸費用に付重要なるものを説明せむとするも支那各港に通じ同一なる關税其他に就いては海關の部に讓ること丶す。

第一　改修税(Conservancy Dues)

本税は一九一二年黄浦改修局(Whangpoo Conservancy Board)改造以來改修事業を支辨する目的を以て課徴し來りたる特別課金にして之が徴收を海關に委任せり其税率左の如し。

有税品	關税の	二%
無税品	金銀の外凡て其記載價格の	〇・一五%
金銀の輸入	其價格に對する	〇・〇四五%

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其收入額は一九二一年に於て八十萬二千九百二十兩を占め海關は徵收費として其二割五分を收む一昨年の委員會に於ては改收税率を關税の一割迄增徵せんと決議したることありしが昨一九二三年十二月の各國領事團決議に於ては七分迄增徵することにせり。

第二　碼頭税(Wharfage Dues)

本税の碼頭費に充當する目的を以て徵收する特別課税にして船舶に依る輸出入貨物に課す但し通過貨物竝に再輸出貨物には之を課せず前者と同じく之が徵收は海關に委任せり。

其税率は有税品に就ては關税の二%無税品には其記載價格の〇、一%となす。

而して生絲茶等に關しては左記特殊税率を設けたり。

○生絲(兩)

	單位擔	關税(兩)	碼頭税(兩)
一、器械製	一擔	10·000	0·三二0
一、白絲坐繰	同	10·000	0·一八0
一、黃絲繰	同	七·000	0·一三五
一、野蠶絲繰	同	二·五00	0·100
一、野蠶器械製	同	二·五00	0·一一0

	單位擔	關税(兩)	碼頭税(兩)
一、坐繰再繰	同	10·000	0·二五0
一、デュピオン再繰	同	五·000	0·二五0
一、器械製再繰	同	10·000	0·三00
一、屑	同	10·000	0·010
一、繊	同	三·000	0·030

○茶

一、紅及綠茶	同	一·二五0	0·01五
一、磚茶	同	0·六00	0·010
一、粉茶	同	1·二五0 0·八00	0·01五 0·00三
一、火入せざるもの	同	1·000	1·01五

○金銀　每一千兩に付

其税　0·三00

○罐詰清涼飲料　一打に付

※外國品　無税
　內國品　0·0五0　0·0二五

※一九二二年一月一日以降從價五分を課せり。

碼頭税の收入額は一箇年約三十萬兩とし上海共同租界工部局に約五割九分佛租界工部局に約一割八分支那官憲に約二割を配給し殘部二分二厘を徴收費として海關の收入となす。

第三　海關手數料

一、船荷證劵手數料　　一枚に付　　三·〇〇

二、時間外手數料

(イ) 夜　　間	兩 10·00	(上海兩	兩 一一·一四)	
(ロ) 全　　夜	二0·00	(上海兩	二二·二八)	
(ハ) 日曜及祭日				
午前六時—午後六時	兩 二0·00	(上海兩	兩 二二·二八)	
午後六時—午後十二時	四0·00	(上海兩	四四·五六)	
午後十二時—午前六時	六0·00	(上海兩	六六·八四)	

第四　領事館手數料(入港船舶)　日本領事館の例

登簿噸數	千噸以下の船舶	円 三·00
登簿噸數	二千噸以下の船舶	円 四·00

以上千噸を増す毎に一圓を加ふ但し最高額は十二圓とす揚子江航行の特許通過料は一回二圓となす

第五　碼頭使用料 (Wharfage Charges)

碼頭の一部(ポンツーン)及(ステップ)には公設のものあれど多くは私有に屬し其使用料は重要なる碼頭所有者連合 (Associated wharves) の協定に依り定め該加入者の碼頭に限り之を適用す其率は一九二二年以降は從前に比して一割を增加し卽ち左記の通りとす

(イ)	支那貨物を混載し又は日本貨物を積載する船舶每呎	兩 0·五八½
(ロ)	石炭のみを積載する三百呎以下の船舶一隻	八一·五〇
(ニ)	石炭のみを積載する三百呎を超ゆる船舶每呎	0·五八½
(ニ)	前記以外の外洋汽船　每呎	兩 0·五八½
(ホ)	(ローチャ)　一隻	五五·00

滯船料としては左記料金を徴收することゝせり

外洋船、五日を越ゆるとき　第一日目五五両　第二日目 〃 〃 八十二両五錢とし以上之に準す

沿岸船、三日を越ゆるとき　第一日目三三両　第二日目 五五両以上之に準す

次に船渠使用料（Dock wharfage）として左記料金を規定せり

(イ)　二百呎以下の船舶	毎一日以内	両 五五·〇〇
(ロ)　二百呎以上の船舶	毎一日以内	六〇·〇〇
(ハ)　三百呎以上	毎一日以内	両 八二·〇〇

第六　浮標料（Mooyage）繫船浮標の賃貸料は左記の如し

汽船一隻	上浮標九箇處（六百呎錨地）毎三日以內 以上一日を増す毎に二〇両を加ふ	両 六〇·〇〇
汽船一隻	下浮標五箇處（七百呎錨地）毎三日以內 以上一日を増す毎に二五両を加ふ	七五·〇〇

第七　起重機使用料

起重機の使用は協定に依り區々たるも碼頭備付のものは普通一回に付左記料金を規定せり

重量（噸）	料金（両）	重量（噸）	料金（両）	重量（噸）	料金（両）
一—二	三	六—七	三〇	一一—一二	八〇
二—三	六	七—八	四〇	一二—一三	九〇
三—四	一〇	八—九	五〇	一三—一四	一〇〇
四—五	一五	九—一〇	六〇	一四—一五	一一〇
五—六	二〇	一〇—一一	七〇		

次に三脚式起重機（シエーヤレックス）の場合は左の通りとす

重量（噸）	料金（両）	重量（噸）	料金（両）
一〇—二〇	七五	四〇—六〇	二〇〇
二〇—四〇	一〇〇	六〇—七〇	三〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

揚貨船(フローチングクレーン)の使用料は一回毎に一九五兩(最低)にして曳船料七〇兩を含むものとす(東亞攻究會々報第四號參照)

第八　水先料 (Pilotage)

水先案内は港務長監督の下に在りと雖ども之が使用は强制に非ず二個の水先人協會を組織し今日に於ても從前の通り外國人の營業に係る(註)

水先料金率左記の如し

區間	帆船毎呎(兩)	汽船毎呎(兩)	毎噸(仙)
「ゲッラッフ」島上海間	一〇・五〇	八・二五	一½
銅沙燈臺上海間	九・六五	八・二五	一½
吳淞上海間	三・七五	四・五〇	一・〇

區間	帆船毎呎(兩)	汽船毎呎(兩)	毎噸(仙)
ゲッラッフ島吳淞間	七・五〇	六・〇〇	一¼
銅沙燈臺吳淞間	六・七五	六・〇〇	一¼

轉錨の場合には一呎に付毎一哩内〇、五〇兩附加料毎呎二兩とす外に噸料金一噸に付二分の一仙(〇、〇〇五兩)あり

(註)上海最初の水先人は支那人なり當時英國軍艦は吳淞上海間の航行に於て手數料五弗の支拂を拒絕したるが如く水先人の權限薄弱にして又斯の如き小額の手數料を以てしては到底水先人の職務を全ふするには不十分なることを知り旣に一八四七年に外國人にして水先業に從事せむとする者あるに至り自ら支那人は其特權を有するも責任を負擔するに足らざるものと認めらるゝに至れり乃ち一八五九年には「フォッグ」會社に關係を有したる米國人キャプテイン、パイリイスは港務長にして水先人を兼務せんとすることを申出でたることあり而して實際外人としての水先人の鼻祖は一八五二年に來りたるトーマス、リンクラターとなす氏は一八五四年五月末「グッラフ」島附近を航行中溺死したり一八五五年十二月始めて水先人法の制定あり該法は領事及道臺の協議を經たるものにして之に依つて水先人の試驗をなして特許するものとす當時の水先料は例へば「グヮラフ」島よりは毎呎五弗「ビーコンシップ」よりは四弗、同上内よりは三弗半吳淞よりは三弗とせり、水先人は何れの國人たるを問はされど弊害を避けんか爲めに試驗を嚴重にし更に一八五九年十二月二十三日には新規定を作り實際上は英人ミイドウス米人スミス佛人エガン等條約國歐米に限りたるが如し又水先料を上げて「グヮラフ」島を起點とし各距離に應じて二弗乃至五弗と定めたり(G. Lanning History of Shanghai P. P. 280・381.)

現在支那の水先人は長江及珠江等の外は多くは外國人に限るが故に一九二二年上海總商會に對して支那人を外國人同樣に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

水先人たらしめんこと提議したることありしが總商會は外國人方面の異論を虞れ其儘となれり

第九　船舶使用料

内水路に於ける各種船舶中重要なる使用料金を示さば左記の如し

（イ）九噸級以下の小型荷物船、本船の使用料（船夫共）同一日二弗（一兩半）とす載貨九噸とせば一日毎噸〇、一六兩となる積卸其他時間を要するを以て一日の運航距離約四哩とし一哩毎噸〇、〇四兩となり長距離のときは〇、〇一兩となる

（ロ）二十噸級の荷物船、本船の使用料は一箇月毎噸四兩餘とす

（ハ）三十噸乃至百噸級の戎克、本船の使用料は一箇月百兩乃至三百兩とす

（ニ）貨物積卸用の大型船（五百噸級迄の艀船）本船は其運搬載貨の難易容積に應じ一箇月毎噸〇、六〇兩とし又積卸其他時間を含むが爲に一日の運航距離は約三哩にして一哩毎噸〇、〇一兩乃至〇、〇三兩となる

（ホ）三百噸級の泥受船（Tugs & Barges）本船は黃浦浚渫局の經驗に依れば一箇月一噸の運泥三兩乃至五兩にして一哩毎噸〇、〇一兩とす

（ヘ）船長五十呎吃水五呎以下の小蒸汽船、本船の使用料（船夫及石炭代を含む）は一日十五兩乃至二十五兩とす（W. C. B. Port of Shanghai P. P. 55-36）

一九二三年二月上海運輸株式會社に於て調査したる所に依れば同社及會德豐の艀賃金は貨物に依り一律ならざれど四日間を一期とし貨物一噸に付銀兩八匁乃至一兩五匁にして邦人經營のものは英人經營のものに比して約一割低廉なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

又一九二四年二月上海三井物産會社の調査に從へば艀船料金は左記の如し

登瀛艀(四日間)		支那艀(二日間)	登瀛艀(四日間)		支那艀(二日間)
砂糖 一包	0·0五(兩)	同 0·0四	雜貨 一噸	0·七0	※
米 一袋	0·0五	同 0·0四	石炭 一噸	0·五六	0·二五

※ 貨物一噸に付一日銀弗三、四十仙見當なり

次に曳船料は一時前記艀船料金中に包含せらる而して距離に應じて一回五弗乃至五十弗とす就中汽船の曳船料は一回三十五弗以上とす

舢舨の傭料は左記規定あり

午前六時—午後六時	一·三0(弗)	午後十二時—午前六時	一·五0(弗)
午後六時—午後十二時	一·五0		

第十　運賃

一九二二年十二月現在の沿海航路並に外洋航路運賃率を示さば左の如し

上海寧波間	普通貨物一噸(四十立方呎)	銀二弗	上海漢口間	普通貨物一噸(四十立方呎)	三兩半
上海青島間	普通貨物一噸(四十立方呎)	三兩半	上海神戸間	普通貨物一噸(四十立方呎)	銀九弗
上海天津間	普通貨物一噸(四十立方呎)	六兩(定期四兩)			

歐米航路に對する外洋運賃は協定に依つて左の如く定めたるものあり

上海倫敦間	普通物一噸	七五志	上海桑港又は「シアトル」間普通貨物一噸	金一五、〇〇弗

一九〇〇年以降一九二二年迄に於ける每噸運賃の增減を示さば左記の如し

年次	漢口(兩)	橫濱(円)	桑港(金弗)	倫敦(志)
一九〇〇年一月	—	—	10·00	四0
一九一〇年一月	三·五0	—	—	五0
一九一三年一月	三·00	五·00	—	五六
一九一九年一月	四·六0	—	四0·00	一五0

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二〇年一月	五·〇〇	メキシコ弗 10·五〇	一七·〇〇	一二〇	一九二二年一月	五·五〇	—	一七·〇〇	二〇セメント 八三機械 七五普通貨物

(W. C. B. Port of Shanghai P. P. 36, 51.)

次に一九二四年二月上海三井物產會社調査に依れば各社別に米糖其他貨物の運賃率を擧ぐれば左記の通りとす

○貨物運賃

上海福州間（四四〇浬）

會社	貨物	單位	運賃率（海關兩）	割引率	會社	貨物	單位	運賃率（海關兩）	割引率
招商局	砂糖	一擔	0·二五	五%	大阪商船	砂糖	一擔	0·三〇	五%
	米	一擔	0·二五	五%		米	一擔	0·三〇	五%
	總價		一1/2%			總價		一1/2%	
	雜貨	一噸	五·〇〇	五%		雜貨	一噸	六·七四	五%

同厦門及汕頭間（六〇〇—七三〇浬）

會社	貨物	單位	運賃率（海關兩）	割引率	會社	貨物	單位	運賃率（海關兩）	割引率
招商局	砂糖	一擔	0·三〇	五%	日清汽船	砂糖	一擔	0·三〇	二〇%
大古洋行	米	一擔	0·三〇	五%		米	一擔	0·一九	二〇%
怡和洋行	總價		一1/2%			總價		一1/2%	
	雜貨	一噸	四·五〇	五%		雜貨	一噸	五·〇〇	二〇%

同香港及廣東間（八五〇—一,〇八三浬）

會社	貨物	單位	運賃率（海關兩）	割引率	會社	貨物	單位	運賃率（海關兩）	割引率
招商局	砂糖	一擔	0·三〇	五%	日清汽船	砂糖	一擔	0·三〇	二〇%
	米	一擔	0·三〇	五%		米	一擔	0·三〇	二〇%
	總價		一1/2%			總價		一1/2%	
	雜貨	一噸	五·〇〇 廣東六·〇〇	五%		雜貨	一噸	五·五〇 廣東六·〇〇	二〇%

（米南支諸港に對する運賃は一九二四年三月より各社一割增率の筈）

同大連間（五六〇浬）

大連汽船	砂糖	一擔	0.三五	五%
	米	一噸（米噸）	二.00	
	總價		五1/2%	
	雑貨	一噸	五.七0—六.七0	五%

同青島間（四〇〇浬）

大連汽船	砂糖	一擔	0.10	五%
	米	一噸（米噸）	二.00	
	總價		三%	
	雑貨	一噸	四.五0—五.00	五%
怡和洋行	砂糖	一擔	0.三三	四0%
大古洋行	米	一擔	0.三三	四0%
招商局	總價		二1/2%	
	雑貨	一噸	八.八0	四0%

（一噸は四十立方呎とすれど船舶側の意志に依り重量噸となすことを得）

同天津間（七三〇浬）

大古洋行	砂糖	一擔	0.四0	五%
怡和洋行	米	一擔	0.四0	五%
招商局	總價			
	雑貨	一噸	四.七0—七.八0	五%
大阪商船	砂糖	一擔	0.四0	五%
	米	一擔	0.四0	五%
	總價		一%	
	雑貨	一噸	四.00—六.00	五%

○旅客運賃（銀元）

上海福州間

	一等 片道	一等 往復	二等	三等
招商局	三0.00	四八.00		
大阪商船	三0.00		二四.00	一二.00

同厦門間

	一等 片道	一等 往復	二等	三等
大古洋行	六五.00	九五.00		
日清汽船	六0.00			一0.00

同汕頭間					
大古洋行	六五·〇〇	九五·〇〇			
怡和洋行	六五·〇〇	九五·〇〇			
招商局	六五·〇〇	九五·〇〇			
日清汽船	六五·〇〇	九五·〇〇			一二·〇〇
同香港間					
大古洋行	七五·〇〇	一二五·〇〇			
怡和洋行	七五·〇〇	一二五·〇〇			
招商局	七五·〇〇	一二五·〇〇			
日清汽船	七五·〇〇	一二五·〇〇		一四·〇〇	
東洋汽船	六六·〇〇		二七·五〇		（特）二五·〇〇
日本郵船	六六·〇〇		四〇·〇〇		一三·五六（特）二〇·〇〇
アドミラル、ライン	一〇七·〇〇—九三·〇〇—八〇·〇〇				二〇·〇〇
同廣東間					
大古洋行	八五·〇〇	一五五·〇〇			
怡和洋行	八五·〇〇	一五五·〇〇			
招商局	八五·〇〇	一五五·〇〇			
日清汽船	八〇·〇〇	一二五·〇〇			一五·〇〇
同青島間					
大阪商船	三〇·〇〇		二四·〇〇	一三·〇〇	
大連汽船	三五·〇〇 三二·〇〇		二五·〇〇	一〇·〇〇	
大古洋行	三五·〇〇	五六·〇〇			
怡和洋行	五五·〇〇	五六·〇〇			
招商局	五五·〇〇	五六·〇〇			
同天津間					
大阪商船	六〇·〇〇		四〇·〇〇	一〇·〇〇	
大連汽船	五〇·〇〇 四五·〇〇		五五·〇〇	一五·〇〇	
大古洋行	九〇·〇〇	一四〇·〇〇			
怡和洋行	九〇·〇〇	一四〇·〇〇			
招商局	九〇·〇〇	一四〇·〇〇			

陸路運賃中江岸に於ける貨物の轉移は多くは契約を以て之を定む例へば一噸四分の一積の手推臺車に依り運搬し貨物の積卸をなす費用は一噸約〇、一〇兩とし三噸半積の荷物自動車は運轉手及苦力を附し使用しつゝあるが前者に比し時間を節約し雑沓を避け得るを以て其の運搬費は低廉なりとす（註）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

內地よりの陸路運送は擔夫(一人にして兩藍の荷物を擔ひ又は二人にて一個の荷物を負ふ)に依り又は一輪車に依り苦力賃を支拂ひ一人一日〇、三〇兩以下の計算となる一人の擔荷能力は少くとも八十封度、二人は百五十封度として一日に普通路十五哩となす一輪車は六百封度の貨物を運搬し一日平均十哩とし運搬費は一噸〇、一二兩乃至〇、六〇兩となす鐵道運賃は散荷積にて積込費を含まずして一噸一哩約〇、〇〇五兩となす。

(註)一九二〇年共同租界には一輪車八千五百臺、手推臺車二千四百臺及荷物自動車二百臺あり一九二一年には荷物自動車は増加して二百五十臺となれり。

第十一　荷捌費

普通貨物を船舶より上屋倉庫迄積込む每噸の費用は資本の利子利益船舶碼頭倉庫等の維持費を含まずして約〇、一四兩となす而して少くとも同貨物の庫入藏置(十日以內)及庫出し總費用は〇、四五兩を要す而して船舶側よりは碼頭料噸稅其他に於て登簿噸數一噸に付一兩以上を支拂ふを常とす

艀船に依り又は上屋に依つて積換をなす每噸の費用は碼頭及倉庫の費用を包まずして〇、四〇乃至〇、六〇兩となす

以上諸費用の總額は一噸約二兩となる(W. C. B. Port of Shanghai P. P. 37.)

又一九二四年二月上海三井物產會社の調査に依り米糖其他貨物の荷捌費を掲げば左記の如し

〇荷揚費(庫入藏置(十日內)及倉出)

		兩			兩
砂糖	一袋(臺灣品)	〇・一五三	米	一袋　大	〇・〇六〇五
砂糖	一袋(外國品)	〇・〇七	米	一袋　小	〇・〇四四
砂糖	一袋(大)	〇・一二二	石炭	一噸	〇・六〇〇
砂糖	一袋(並二百封度以下)	〇・〇六〇五	雜貨	一噸	一・〇〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（米前記料金に對し割増金として二分の一を徴することあり）

〇「スチヴィ」料（Stevedorage）

外洋貨物	一噸	兩 0・一五	石炭	一噸	兩 0・0八
地方貨物	一噸	0・一五			

第十二　倉敷料

倉庫の敷料は荷受人が船舶碇泊の日（一日に算定す）より起算して十日以内に貨物を引取るときは免除せられ同期間中の藏置料は船會社の計算に於て支拂はるものとす今最近（一九二四年二月現在）に於ける敷料を示さば左記の如し

		一箇月敷料	第二箇月敷料
砂糖	一袋（沿岸品）	兩 0・0三五	兩 0・0三五
砂糖	一袋（臺灣品）	0・0六六	0・0六六
砂糖	一袋（外國品）	0・0五五	0・0四四
米	一袋（大）	兩 0・0三五	兩 0・0三五
米	一袋（小）	0・0三五	0・0三五
石炭	一噸	0・100	0・100

第十三　勞銀

上海は大市場にして世界經濟の影響を受くること比較的迅速にして物價騰貴亦自ら著しきものあり就中家賃の如き戰前一九一二年より十箇年後の一九二二年には約二倍半となり米價は同期間に於て約七割以上を騰貴し殊に戰爭初年の一九一五年苦力の生活費は一日二十仙見當なりしか戰後の一九一九年には約四、五十仙に上り又一九二〇年以降一九二三年に至る間に於て十數種の食料品の騰貴は約二割五分に達したるを以て生活費は益々昂上したるものと知るべし（一九二三年一月工部局警察の報告に依れば人力車夫の一日平均賃銀九十仙生活費五十仙とせり）今一九一四年以降五箇年間に於ける一般職工（生絲、製綿紡績、絹織物、製紙、燐寸、印刷の七種の例）の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

平均賃銀を擧げば左記の如し

年別	一九一四	一九一九・一九二〇	一九二一	一九二二
男工	〇・三二元	〇・九[illegible]元	〇・九六元	〇・八三元	〇・七三元
女工	〇・一八	〇・二七	〇・三〇	〇・三五	〇・四三

年別	一九一四	一九一九	一九二〇	一九二一	一九二二
平均	〇・[illegible]五	〇・三〇	〇・四三	〇・四九	〇・九八

荷役苦力の賃銀は勞働の種類に依り又常雇臨時雇等方法に依り差あり戰前一九一五、六年頃は常雇の月給は八元乃至十一元(苦力頭より衣食住を支給せらる)臨時雇の日給は六十五仙乃至七十仙見當とし一九一七年頃には前者十一元乃至十二元後者七十仙乃至八十仙となり一九一九年には前者十四元乃至十六元後者一元乃至一元三十仙に暴騰し船内苦力及倉庫苦力は日給八、九十仙乃至一元臺なりしが運搬苦力は八十仙以上二元に達したるものあり殊に石炭苦力の如きは當時供給不足の爲めに平均銅貨一元二十仙臺なりしと雖ども最高二元乃至三元に達したることありたり。

而して一九一四年以降五箇年間に於ける荷役苦力の平均賃銀を示さば左記の如し。

	一九一四年	一九一九年	一九二〇年	一九二一年	一九二二年
常雇	八・〇〇元(月給)	一五・〇〇元(月給)	一六・〇〇元(月給)	一七・五〇元(月給)	二〇・七五元(月給)
臨時雇	〇・五〇・六五(日給)	一・二五(日給)	一・二五(日給)	一・三五(日給)	一・三五(日給)

黃浦改修局の上海港の調査に依れば上海の運搬苦力の賃銀は常雇は日給「メキシコ」銀三十仙乃至四十仙臨時雇は五十仙乃至一元としたるは蓋し今日より兩三年前の例を採るとするも稍低率なるが如し(W. C. B. Port of Shanghai P. P. 35)

第十四　給水其他の價格

優良なる「スチーム、コール」の市價は戰前一噸六兩乃至八兩なりしが一九一八年には殆んど二十兩に達し

其後一九二一年頃に至り十兩臺に下りたり而して開平一等炭の最近四箇年間の平均市價を示さば左記の如し。

一九二〇年四月	一九二一年四月	一九二二年四月	一九二三年四月
一二・七五元	一二・五〇元	一〇・五〇元	一一・〇〇元

實際家に就て調査するに一九二三年は前年に比し稍騰貴し前記一九二三年四月頃の市價は恰も一九一六、七年頃と大差なかりしなり最高は一等塊炭一噸十二、三兩(貯炭場渡)最低は紛炭六兩となす。

最近一九二四年二月頃の汽船渡船用炭一噸の價格は貴島塊炭は十二兩（荷積賃込）撫順炭十兩五十仙となす。

木炭は一斤約〇、〇七五兩一噸十兩なるに薪木は稍低廉にして五十束値段一九二〇年四月に〇、七三二元なるに對して一九二三年同期には〇、九二二元に上りたり。「ゲロシン」油は米「ガロン」〇、三二兩「ガソリン」油は同〇、六四兩とす電氣は一「ユニフト」の價格一九一八年には〇、〇四五兩なりしが一九二二年には〇、〇三一に下れり。給水料は飲料水は一噸一弗罐水は五十仙とす(W. C. B. Port of Shanghai P. P. 43)更に上海水道會社々長報告に徴すれば一九二二年の例に見るに給水價格家庭用一千「ガロン」に付四十八仙其他の使用は四十仙乃至四十八仙となす。

第十五　檢疫及消毒料

海港檢疫は呉淞港に於て稅關港務部管轄の下に之を施行すと雖ども船舶貨物に對する消毒は稅關指定の上海消毒會社(Shanghai Disinfecting Co.)の取扱ふ所たり(註)

檢疫手數料は左記規定あり。

〇檢疫所に於ける場合

外國人	一日	上海貨	三兩(五兩)
印度人	一日	上海貨	二兩(三兩)
支那人	一日	上海貨	一兩(二兩)

○船舶に於ける場合

外國人	一日	二兩(三兩)	支那人	一日	五錢(メース)(一兩)
印度人	一日	一兩(二兩)			

右括弧内は一九二二年港務長より領事團に提出したる增率となす。

○消毒料

船舶に對しては(一)亞硫酸瓦斯又は「クレイトン」瓦斯の使用下甲板毎噸三十仙(二)「フォルムアルデイド」又は硫黃の使用一千立方呎を越へざる毎室上海貨二兩五十仙(三)噴霧器の使用一千立方呎を越へざる毎室二兩二十五仙一千立方呎を越ゆるものは千立方呎以内に付七十五仙を加ふ(船舶には六箇月間有效なる消毒證明を要す該證明書なきは入港の際消毒を受くべき義務あり)

貨客に對しては(一)船員乘客及其大量貨物に對する蒸氣消毒一人に付上海貨一兩五十仙(二)貨物一擔に付上海貨一兩二十五仙消毒すべき貨物は其持主の負擔に依り庫船に運搬すべきものとす。

(註)檢疫に關しては固より檢疫規程 (Sanitary Regulation) の定むる所なるが船舶の入港に關しては又港則に於て定めたるものあり例へば船舶が傳染病疫發生港より入港し又は港內に於て傳染性病疫の發生せるか又は其疑あるとき或は本船が最終寄港地出帆後航海中死亡患者を出したるときは檢疫規規程に依り吳淞に近きたる時に檢疫旗(萬國信號黃色旗)を前檣に揭揚し吳淞崎浮標の外に投錨し檢疫の許可を得る迄信號旗を揭ぐべし何人と雖とも港務長又は港內衛生吏の許可なくして上陸し又は船舶と交通することを得ず。

第十六　地價　上海市內外の平均價は左記の如し。

(一畝は我約二百坪)

共同租界	佛租界	支那街及南頭	閘北及寶山	浦東
兩 五、九〇〇	兩 二、八五〇	約 二、〇〇〇兩	約 一、五〇〇兩	約 二、五〇〇兩

(W. C. B. Port of Shanghai P. P. 50.)

一九二二年の例に於て最高評價格一坪に付八七五兩にして實際賣買價格は恐くは一坪一、〇〇〇兩を下らざるべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

トロール船に優越せる大型手繰網漁業

臺北州技師　宮上龜七

一、臺灣の連子鯛漁業

(一)漁船　臺灣の連子鯛漁業は、トロール漁業に始まり、戰時中一時ト船の中絶して鮮漁の補給に苦むや、之に代りて起りたるは發動機船及戎克船漁業なり。從つて是等漁業は大正五年までは僅に發動機船四十四隻、戎克船皆無の狀態にありたるが、現在にては前者は百八十隻、後者は三十五隻と云ふ急速の發展を遂げ、而して此中本漁業に從事する漁船は、戎克船全部と發動機船は年々多寡あるも、五十隻內外のものなり。而してトロール船も平和克復と共に四隻に復活し、戰前百八十噸級なりしもの二百五六十噸となり、其能力は戰前の一倍半となり、從て大正九年以降は戰前に比し鮮魚の供給能力は約三倍、連子鯛は七倍の增加を來せり。然るに需要は島內に局限せられ且つ經濟界不況の爲め購買力著しく減退し、爲めに魚價は大正九年を最高として急激に下落し、其の翌年よりはトロール船と發動機船とは漁場及販路に於て衝突し、松風丸の沈沒に伴ひ再起困難となり、一丸は下の關に賃貸し、二丸は最早老朽用をなさず、僅かに田村丸のみ從業するの狀態に在り。此狀勢は獨りトロール船に限らず、一般發動機船にも及びたることは、其水揚高を見るも明にして、大正九年の二百萬圓を最高にして其翌年は三割方減少し、昨年は漸く百五十四萬圓に達せし狀態なり。

本島連子鯛は、トロール船は年中之を供給するも、發動機船に在りては小型なる爲め、魚類の移動及氣象

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に左右されて春秋二期に分れ、春漁は三月より七月まで、秋漁は春漁に比して著るしく劣るも九月より十一月に至る二漁期とす。本魚は年中本島近海に棲息するも、時期により本島に近接する度合を異にす。從つて現在の如き小型發動機船にては、航海の危險を慮りて上述以外從業せざるも、五島の大型漁船の、彭佳嶼沖合より支那の黑山列島附近にかけて殆ど年中從業するより見れば、本島にても周年從業するを得べしと思はる。現今發動機船の從業するもの五十隻、其中堅は二十五乃至三十馬力型の小型漁船なり。

(二)漁場　漁場としては三、四、五月の盛漁期には彭佳嶼附近四、五浬乃至二、三十浬の圏內にして富貴角の方まで南下し、古老の言に徵すれば淡水沖合又は金山庄海岸近くまで漁獲されたる由なるが、本島の漁場としては彭佳嶼と富貴角見通し線以北と云ふべし。又秋漁には漁場は遠距離に延び、彭佳嶼より二、三十哩北東北西にかけて分布す。上記の如く漁場は時期によりて異なるを以て、航海數も自から異なりて春漁には二日乃至五日、秋漁には五日乃至一週間を要す。而して其の漁具は盡く延繩を使用するが、本漁具は手繰網の如く漁場を攪亂する恐なきも多數の勞力を要し、近時の如く勞銀騰貴の折柄、且つ臺灣の如く水產勞働者少き地方にては餘り面白からぬ漁具なり。

(三)漁獲　本島「レンコダイ」漁業は發動機船五十隻、戎克船二十隻、トロール船二隻にして、其供給能力は發動機船、戎克船によりて八百萬斤、トロール船五十萬斤、合計八百五十萬斤見當なり。然るに販路が島內なる一局部に極限せられ居る結果、僅々多少豐凶の漁況によりて直に魚價を左右し、大正十一年、十年の成績に徵しても明らかなる如く、盛漁期には平均相場八圓乃至九圓、甚しきは四五圓に低下し、到底採算し能はざることあり。現在本漁業の中堅は二十五馬力型の發動機船にして、其一航海の經常費は月によりて異なるが四百圓乃至六百圓なり。然るに漁夫の賃銀は歩合制度なるを以て加算せざるも、普通の企業組織より見て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

漁夫に給與するとすれば五百圓乃至七百圓を要し、之を大正十年の連子鯛平均相場十圓九十錢にては五千乃至七千斤の漁獲を要す。然るに各船平均叙上の漁獲は困難なり、況や連子鯛の盛漁期には百斤五、六圓に低下するに於てをや、漁業者たるもの實に立つ瀬を求め得られざるなり。既に大正十年は漁期半ばに繫船賃船等頻出の狀態にして、又五島玉の浦より六十馬力の大型漁船を回航して從業せるも、魚價安にて經濟立たず休業の止むなきに到り、其結果大正十一年は從業者激減し、又非常なる勢力を以て復興し來れるトロール船漁業も前記の如く田村丸のみ餘喘を保ち居る狀態に在り。從つて本州連子鯛漁業は、生產費低減と販路の擴張とを計るを最大急務とし、既に大正十一年より冷藏事業高唱せらるゝや、本島にも冷藏庫・冷藏船の設備を見んとせり。若し兩者の運用其宜しきを得ば消費に對して憂ふるの要無く、而して魚價は相當價格を以て均一され、企業及經營上の一大保證を得るに至るべく、又た手繰網漁業は延繩漁業に比して勞力を要せず、大量生產的にして經常費は却て漁業の約六割を以て足るべし。斯くて本島漁業上の一大革新の時期は現に目前に在り。

二　臺灣に於ける手繰網漁業

元來南支那一帶の沿海には、從來手繰網相似の打瀨網を、戎克船二艘によりて從業し來れり。大對網(舟山地方)旋網・大旋網(廣東地方)と稱し古來より盛んに行はれ來れり。元來浙江・福建・廣東諸省の沿海には底魚類即ちレンコダイ・イトヨリダイ・グチ(黃花魚)ハモ・タチウオ等を多產す。余は先年官命により、南支一帶の水產業を調査し、歸來海洋狀態を同じうする本島にも亦た底魚を目的とすべき、此種漁業の勃興の必要なるを切論し、大正八年度に於て、督府は基隆の吉井治藤太、臺灣水產會社、臺南市臺灣漁業會社、高

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雄の南部臺灣海產會社等の四社を選び、是等に發動機船による手繰網漁業の試驗を委託し、同時に島根縣より現業教師を招聘して極力本漁業の試驗に從事すること〻なりしが、其の結果は漁夫が本漁業に熟練せざると、基隆近海を漁場とせる爲め、上下流の海流相反して操網意の如くならざりしも事實は相當效果を擧げたるにより、大正九年督府は手繰網に對する態度を闡明し、爾來距岸五浬外は該漁業の許可支障なきに至り、其の結果二三企業者を出せるも、殆ど本漁業の興隆を見ざりき。之に反して內地各地方は二艘曳手繰網漁業は漸次盛大を來し、偶〻余輩が大正十二年二月內地に出張せるを好機とし、九州地方の手繰網漁業の經濟狀態及び漁業方法等を調査したるに、其大勢は九州地方の同漁業は漁船を次第に大型となし、漸次南下して大擧臺灣近海に出漁せんとするの日遠きに非ざるの傾向を看取し、且從來內地汽船トロール漁業者は本島近海に出沒せるを以て、今より之が對應策を講究するに非ざれば、終には本島連子鯛延繩漁業者の大問題たるべきを認め、臺北州は基隆の當業者をして大型船による二艘曳手繰網漁業試驗を行はしめたるに、其成績頗る良好にして、漸次本漁業に着目し、起業者を續出するの狀態を來たすに至れり。

三　大型手繰網漁業試驗

本試驗は大正十二年六月より本年二月まで施行せるもの、試驗期間は僅に八箇月なり。今之が斷定的結論を下す能はずと雖も、今日までの成績を總括すれば、試驗の當初は本州下沿海の海洋狀態を熟知せざる爲め不成績なりしも、漸次手繰網漁場を知るに及びて良好の成績を現はし來れり。

●●漁場は現時汽船トロール漁場と同一箇所にして、北緯二十七度乃至二十九度及東經百二十二度乃至百二十四度によりて取圍れたる海區にして、基隆の北方百浬の地點より黑山列島近海に至る海面なり、底質は多く砂

泥なるも、本試驗中屢破網せられて最も困難を感ぜるが、其場所は彭佳嶼より北東百二十五浬及黒山列島より南東微東百二十浬附近最も頻繁に破網せられたり。底質は砂又は砂殼にして時に礁砧を交ゆるを認む。水深は四〇尋乃至七十尋なり。漁獲物はレンコダイ・カナガシラ・フカ・グチ・マダイ等にして、レンコダイ大部分を占め、僅に其一割以内に雜魚を交ゆ。航海日數は漁獲高の豐凶により一定せざるも、出港歸港日を加算して平均七日間なり。之をトロール船の八日乃至十日間に比較すれば二、三日を短縮す。又一日の操業回數は三回乃至四回なるが平均三回なり。漁撈成績は第九、第十三、第十四、第十九回航海に二百函の不成績を除き一般に好調なり。是等も漁具の破損・天候・海難其他已むを得ざるの結果に出たるものなり。概して冬期は夏期に比し成績良好ならず。

本試驗の結果を汽船トロール漁業に比較するに、一丸及田村丸の大正十年、十一年の漁撈成績は、前者は大正十年、三十五航海、一萬二千七百十六函の漁獲高、操網一回十七函。後者は大正十年、三十七航海、一萬四千百三十七函。大正十一年三十三航海、一萬二千八百四十七函。平均操網一回の漁獲高は十八函なり。然るに本試驗にては、一回の漁獲高平均大函三十六函、小函にて五十七函、兩者平均して三十五函なり。然るにトロール函にては五十斤内外の容量なるに、本船使用の函は約六十斤入りなり。故に本試驗にてはトロール船の約二倍强の漁獲增なり。又トロール船は晝夜兼行にて一晝夜の操業回數四回半(田村丸十二年度成績)にして、一航海七日として兩者を比較するときは、本試驗船は田村丸(トロール)船の約一倍半の能力を有し、此勢を以てせばトロール船は到底大型手繰網船の敵に非るを知る。

又一航海の平均漁獲高は四百五十五函なり。然れども之には第九回十四回、十九回等の出漁の如き一、二回操業にて破網其他の爲め引返せるものをも加算せるを以て、直ちに之によりて其一般を論ずる能はず。故に

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

是等を除外して最も通常の場合を見るに、往復の航路に二晝夜、沖合作業に五日間を要し操業、一日三回として一航海十五回操業なり。又一回に三十五函の平均漁獲高とする時は、一航海に五百二十五函なり。トロール船田村丸の十二年下半期の成績の、航海數十七回、漁獲高七千四十函、平均一航海四百十四函なるに比較せば、前叙は少くとも田村丸に劣らざる好成績を示すを知るべし。而して本試驗に於て被委託者が賣却せる平均價格は九圓二十四錢なり。故に一航海の平均漁獲高は四千八百五十一圓なり。

本試驗の結果特に注意すべきは、使用漁船百四十馬力輕油發動機附百二十噸の鋼鐵製漁船を用ひたることにして、本船は元來下の關林兼⑬商店が連子延繩漁船に使用したるものを提供せしものにして、其構造堅牢にして耐波力强く、大體の難航海に耐へ、航走が八海浬索曳力には敢て支障を來たさざるも、大型漁船手繰網漁船として支那東海を漁場とするには、百二十噸百四十馬力級の大型漁船を必要とせず、經濟的には八十馬力五六十噸級の漁船にして可ならんと思はる。又本試驗遂行中、普通一週間航海なるに二百五十日の從業日數中僅に二十九航海百二十五日の出漁日數なり。即ち出漁日數は從業日數の半數にして餘りに出漁日數の少なきに過ぐるを認む。是等は實際經濟的に經營せんには月三航海は尙は增加すべきか、又は一航海の日數を增加すべきを至當とせん。

最後に、本島の如く冬季北東信風の影響甚大なる海洋にては、沿海激浪に洗はる、漁船の遭難尠からず。之を大型船に改造して航海の安全・生命財產の保全を計るは、斯業の發達上最も必要なり、且つ夏季は日常鮮魚の補給に苦しむを常とするも、本試驗の結果は夏季に於て最も好成績なり。又本試驗はトロール汽船漁業を凌駕する好成績を收め得たり。當業者諸氏の大いに之に留意せんことを望む。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜録

薫風緑樹自から光輝を覺ゆる

總督官邸の全島詩人茶話會

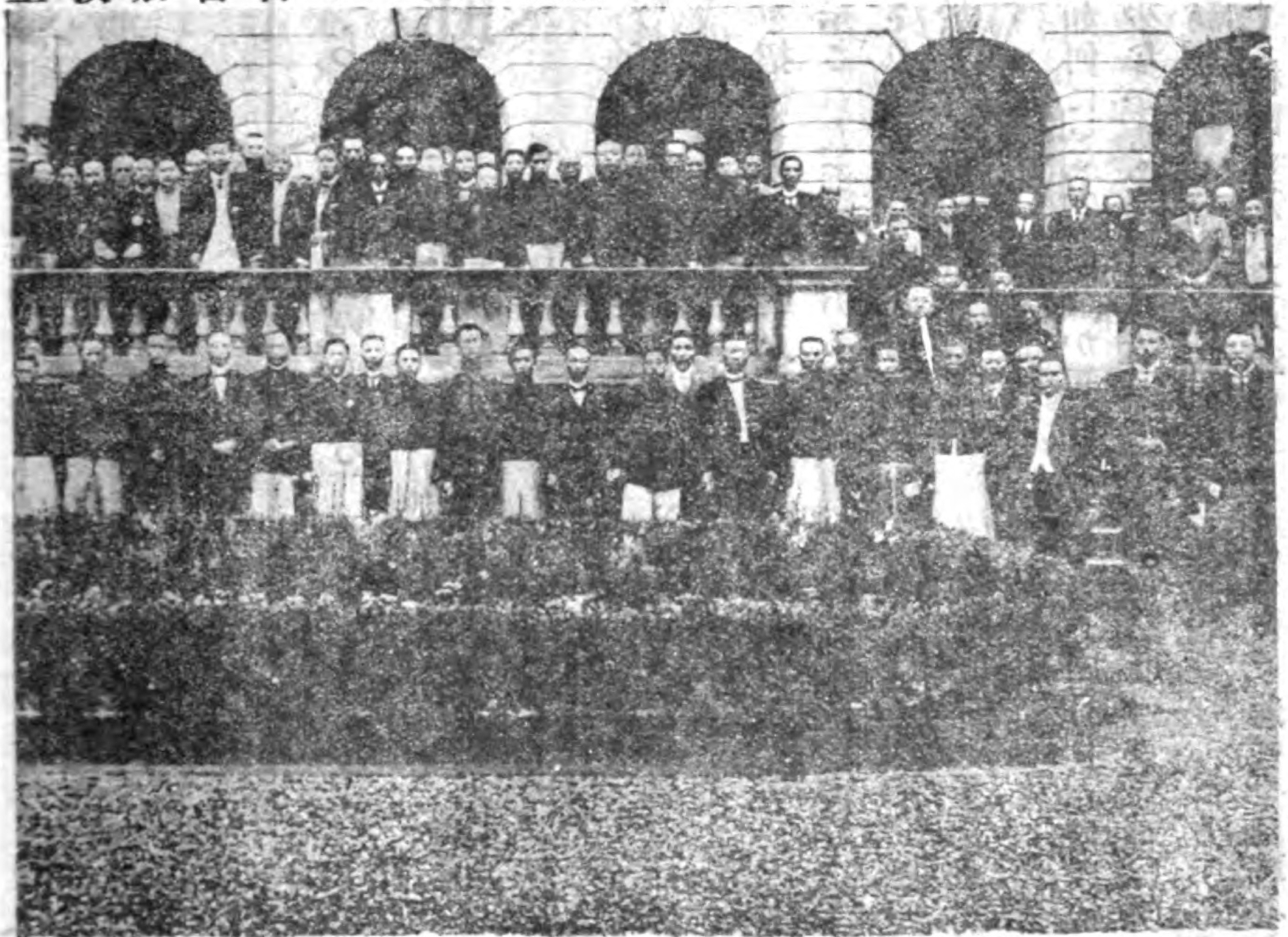
太凝老人

「薫風鈴閣捲簾紗。曉著輕衫拂翠霞。我愛詩人忠厚意。林園此日供清茶』と云ふのは、四月二十六日東門の總督官邸に、全島の詩人を招待せられた席上に於て、竹窓内田總督が賦して示された近作である。當日の光景は實に此一首に盡されて居ると謂て好い。

先是。在臺北の各詩社に於て、全島聯台吟會を開き、昨年行啓の盛儀を紀念する爲めに。盛んに吟詠して休明を鼓吹することは如何にと云ふの議か起り同好の士これを贊同する者少なからず。遂に去二十五日午後二時を期して、全島聯台吟會か催された。臺北、淡水、基隆、宜蘭は素より桃園、新竹、臺中彰化、嘉義、臺南、高雄より續々來會する者あり、約百八十名の出席を見たと云ふ近世希觀の盛會であつた。當日の課題は『詠八角蓮』五言律限眞韻と云ふので有つて、擊鉢吟は午後二時に始り、詩宗か集稿の簡選を畢つたのは午後六時頃であつた。抑も八角蓮と云ふは大屯山下草山の方面に生する一種の野草で俗に獨葉一枝の花と稱し、濃紫色の奇麗な花を著するものである。四月廿五日は恰も東宮殿下草山御清遊の日で御休憩所の貴賓館に此花の盆栽か飾られ、殿下の御賞觀を蒙つて計らずも光榮を博したのは丁度此日であつた。此の全島聯合會が恰も好く四月廿五日に於

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

て催され、八角蓮を題とすると云ふことは頗ぶる面白いことである。江山樓三階には以文堂主人松田寄山翁秘藏の八角蓮＝即ち昨年草山貴賓館に於て台覽を辱ふせるもの＝を飾付け、特に醫學博士杜聰明氏を招待して此花に關する講演を開いた。午後六時からは相賀內務局長、尾崎警務局長、井村臺日社長、赤石前社長、小松天籟、山口東軒、猪口鳳菴、尾崎古邨、澤谷星橋、茅原華山、長沼梅仙、松井松軒、鷹取岳陽其他二十有餘名の來賓之れに陪し、總計二百餘名に達する盛大なる宴會が催された。席上洪以南翁の挨拶、相賀內務局長の挨拶、井村臺日社長の挨拶、臺



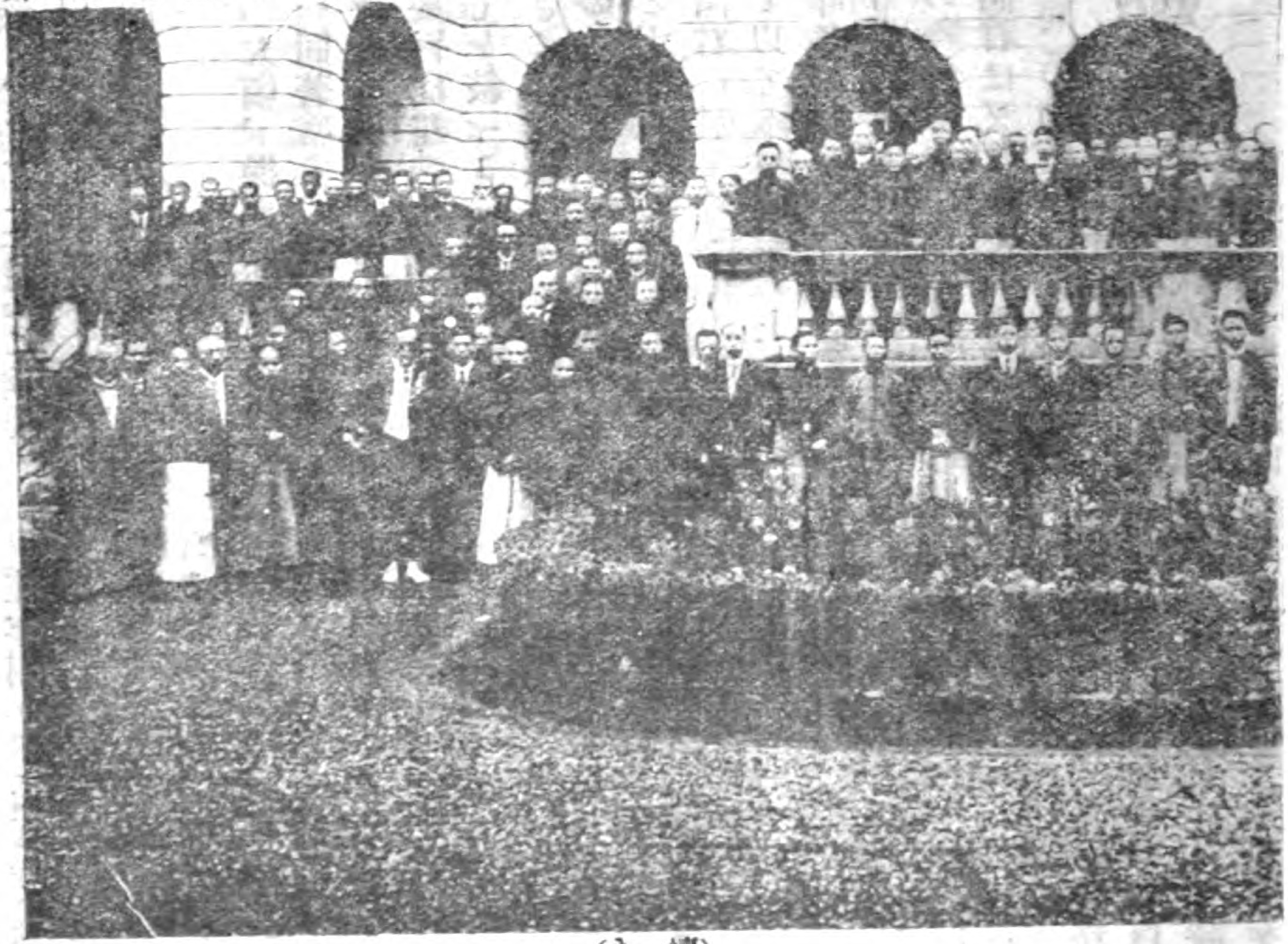
詩人茶話會に集れる人々（階上左より五人目內田總督）

南の黃茂笙、臺北の謝汝詮諸氏席上演說等あり、宴を撤したのは午後九時であつた。卽ち文星が此日悉く江山樓に聚つたと云ふの觀が有つたのである。

總督官邸に於ける茶話會は、前述の全島聯合吟會に出席した詩人百九十餘名を悉く招待されたので、先年讓山總督が催された時の九十六名に對して、全く倍數の出席を見たことは、何人も一驚を吃する計りの盛況であつた。官邸に於ての設備は正面庭園に面したベランダーに椅子を竝べて來客の控席に充て各應接室を開放して自由に休憩せしめ、會議室には筆硯を備付けて翰墨場と爲し、來賓一同自

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

由に林園泉池の間を逍遙せしめる都合であつたが、生憎此日は陰雨で有つた爲めに、林泉の趣を貪看することが出來なかつたのは遺憾である。併しながら新綠細雨の景又た棄て難きものあり。來賓の各詩人は孰れも少なからぬ感興を覺へた樣であつた。正面玄關には名刺受があつて係員が來賓に向つて新刊の新年言志一冊これに竹窓總督の詩箋一葉を添へて贈呈する相賀內務尾崎警務の兩局長、高田臺北州知事小林秘書官等交々來賓を迎へて控所に案內する、午後六時には已に半數以上も集つた、此日專賣局に製品陳列會があつたので總督閣下は令夫人及び令孫



（續き）

と共に之れに赴かれ、午後二時過ぐる頃、御歸館に爲つた時は、官邸の玄關に來賓蟻集蜂屯して居る有樣、總督閣下は直に玄關正面の卓子に就きて、各來賓に應酬せらる。其內に賀來長官も臨場せられて、正面の應接室は南薰解慍の凉しい風か吹い居る。

當日は官邸にも八角蓮が飾られてあつた、來賓は孰も新詩を認めた便箋を持參して、親しく總督閣下に差出した。閣下は慇懃にこれを受けて、一々耽讀せられた後に鷹取岳陽氏が預つて居た樣であつた。

劈頭に掲げた薰風鈴閣の詩は、各詩人をして之に次韻せしむべき當日の的と爲

つた。詩肩を聳し、吟髭を撚り、殆ど二百名に垂んとする來賓が沈思默想して以て、推すか、敲くか、月下の僧と遣つて居る處は蘭亭金谷以上の雅筵であつたと云つて差支へない。

暫時、降雨の小止みになつた頃、撮影があつて、午後四時食堂が開かれた。一同著席するや、竹窓總督は徐ろに起つて、一箇の詩論と見る可き最も意義ある御挨拶があつた。其の要旨は左の如くである。

詩は志である、こゝろざしを敍べるのである思ひ邪なしと言ふが其邪ならざる志を敍べるもの卽ち詩である此詩には美術的のものもあれば健國興隆の思想を賦したものもある之は西洋の詩などに於ても同樣と思ふ、どうか諸君に於ても詩作の間に剛健なる思想を賦され依て以て本島統治の上に寄與されんことを希望する昨日の聯合吟會は恰も一年前皇太子殿下が草山に行啓相成り八角蓮を御覽になつた當日である其日の吟會に特に『八角蓮』の詩題に依て志を賦された諸君は又た皇太子殿下の御沙汰書中にある『和衷協同』の御趣旨に副はんとするものである亦是非斯くあらんことを希望する

これに對して瀛社々長洪以南先生の來賓を代表する謝辭があつた。

往年閣下が長官時代に吾々(詩人)を長官々邸たる鳥松閣に招待され詩筵を催され此際の記念たる南薫集は吾々の永く銘記して忘るゝ能はざる處である然るに昨年總督として莅任せられ今亦た此殊遇に會ふ唯だ感佩の外はない吾等は閣下の御趣旨に副ふべく思想善導等の上でも詩人として能ふ限りの誠を盡す考へである。

此の挨拶の交換は孰れも流暢なる劉克明氏の通譯に依つて述べられた。斯くて杯を擧げて健康を祝し三々五々歸途に就いたのであつたが、午後五時を過ぐる頃尚は筆を嚙んで吟詠に耽ける人もあつた。

當日の出席者は洪以南、謝汝銓、魏清德、林佛國、許梓桑、李石鯨、莊贊勳、張純甫、倪炳煌、高肇藩、許寶亭、鄭十洲、鄭神寶、簡朗山、鄭永南、黃守謙、鄭作型、魏顯升、許蓼堂、許廷光、黃欣、羅秀惠、王國材等にして小松天籟、山口東軒、赤石何陋軒、井村臺日社長、長沼梅仙、松井松軒、茅原華山、猪口鳳菴、尾崎古邨、鷹取岳陽、柳田陵村、大澤臺日記者、德田臺灣記者等これに加はり、賀來總務長官、相賀內務局長、尾崎警務局長、喜多殖產局長、高田臺北州知事等を合して百八十名を算したるは稀觀の盛、振古未曾有にして詩を獲ること凡そ五百餘首、目下鷹取岳陽その詩卷を整理しつゝありと謂へり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度支那の諸種族（中）

臺灣總督府囑託　高橋惇

「チャム」人

●●●●●起元及體質　支那人の所謂占城國（チャンパ）を建設せるは實に「チャム」人であつて、彼等は南部安南の海岸地に占據し、安南山脈の傾斜地に棲住せる先住蕃民を其支配下に置いたのであつたが、彼等は果して何時頃から安南の地に渡來したかに就ては確然たる文獻上の根據がないが、支那人が、中部安南の地を指して日南又は林邑と稱し始めた頃の秦時代には、早くもチャム族の存在が朧ろ氣ながら知られてゐたらしく第三世紀には勢力南下し來れる漢民族と戰鬪が開始されてゐたから、「チャム」人の安南占居は恐らく第一世紀頃であつたらしい。

「チャム」人占據の地たるや、陸には安南人・東埔寨人の攻擊を蒙り易く、且つ又延長せる海岸線を有せし爲め、常に海賊の橫行に惱み、不斷に寧日なく常に惆々たる有樣であつた。隨つて彼等は「クメール」人程に建造藝術を發達せしむるの餘裕がなかつたが、建國當初に於ては優秀なる建物を有して居つた。安南中部のツーラーヌから夥しく距つた山地、ミーソンが實に其王城の遺蹟であつて、今こそは叢林の中に埋もれて、檐傾き柱砕けて昔日の俤は見る影もないが、其宏壯なる石造建築と今尙ほ壁の跡匂はやかな浮彫とは驚嘆措く得はざるものがある。然るに安南人の壓迫に對する必死の抗爭に勢力を傾倒するに隨ひ、斯る優秀なる文化も漸次衰退せるのみならず、遂に力歇きて安南人の足下に屈服し、次で見る形もなく衰滅し現今は唯、南部安南に於て昔日の偉大なる歷史を物語る建築物の散在する所に散布棲住して僅かに餘喘を保つてゐるのと、又交趾支那、東埔寨の一部分に村落を爲して散在するに過ぎぬ憫れな狀態に在るに過ぎない。世人は後者を普通一概

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に馬來人と稱して、前者の「チャム」人と區別してゐるが、夫れは後者が殆ど馬來人同樣の風俗を有するが爲めである。

「チャム」人の體格は安南人と異り、歐洲人の體型に近い亞細亞型で、身長は安南人よりも高く、安南人の約一・六米突に對して一・七米突ある。頭部は調和良く、顏面は寧ろ横に廣いが整然たる輪廓を爲し鼻底は安南人に較べて廣からず、眼は大きく整ひ、しかも明眸の方である。口の形は中庸を保ち、口唇は厚きに失せず、良しきを得てゐる。顏色は光澤ある褐色または鮮かなる赤褐色を呈してゐるが、膚は頗る柔軟にして往々鈍暗色を呈してゐる。毛髮は丈け長く烏羽玉色又は深褐色を帶び其色澤美麗なるにも拘らず組織脆弱にして間々波狀を爲してゐる。

●風俗● 服裝から說明すれば、男子は黑又は深綠色の絹又は木綿製の筒袖衣を纏ひズボンを穿つのであるが、上衣は襟狹く、右脇下の合せ目を裝束止めとする。間々之れに帶を締める者もある。婦女は白地若しくは靑縞又は赤縞の裳(サロン)を穿ち袖口狹き暗色の上衣を着けて居る。衣服に就いて面白い話說が傳へられてゐる。一八二〇年の頃、安南の時代で謂へば明命王の時、衣服統一の目的、否寧ろ同化の目的の下に、安南王は「チャム」の婦女をして其裳を廢して安南婦人の着用する袴(ズボン)に換へやうとせるに「チャム」人は猛烈に之れに反抗して反亂を興す程の氣勢を示したので遂に沙汰止みとなつたと云ふことであつた。然し男子は一般にサロンを棄てゝ安南人と同樣の服裝に變化しつゝあるのである。

毛髮は婦人は之れを頭上に束ね、男子は頭巾若しくは絹布を以て之れを掩ふてゐる。柬埔寨の「チャム」人は之れに反し馬來人同樣に斷髮して、小型白色の土耳古帽樣のものを被り、婦女は布片を以て之れを包んでゐる。『「チャム」族と其藝術』の著者ジャン、クユーバ氏の說に據ると「チャム」の婦人程毛髮に對して無關心なるは世界其比を見ないと云ふ事であるが、事實彼等は殆ど生涯櫛の齒を髮に通すことは殆どなく、如何なる盛裝を爲し、如何なる儀式に列なる時でも、頭髮は蓬の如く、頸や顏に鬢髮が亂れ掛つてゐても平然としてゐると云ふ風である。

「チャム」人は肉體的には活氣あるを認められるが智能は全然頹廢せるが如く、性質溫和の風あれ共氣慨に乏しく、性向懶惰にして往時の好戰的氣風を有

せる面影は見るべくもない。斯くも墜落せる彼等に商業上の勢力もなく、又工藝に於ても言ふに足るものなく辛ふじて品質中位の織布を產するに過ぎぬ。農耕としては米、玉蜀黍、煙草、綿花、落花生を耕作するに止まり、畜產としては水牛、犧牲用の羊、犬、鷄、家鴨の類を飼育するが、宗教上の關係よりして牛、豚は決して飼ふことをせぬ。

嬰兒が出產すると先づ產婦の寢床の下に火を點じて產室に潜む惡魔を追ひ拂ふて嬰兒の健康と生命とを保護するのである。六箇月目に甫めて命名するのであるが、若し小兒が健康體のものであれば、美はしい自然物に準へるか、又は立派な道德的意味を含んだものか、孰れにしても美しい名を附けるのであるが、病身であるとか、不具者であるとか云ふ場合には、斯る病兒には兎角惡鬼が憑き易いと云ふ迷信から、惡魔も辟易するやうな極めて醜惡な名を故意と擇ぶのである。

男女共、十五歳から十八歳前後を一般に婚期と爲してゐるが、靑年が若し結婚せんとする相手の處女があつた場合には、先づ其村落中でも身分のある相當の婦人を選んで之れを媒介者として、檳榔子、豚、米酒等の贈品を先方の兩親に贈りて結婚の申込みを爲すのである。先方に於て快く其贈物を受納すれば玆に無事に緣談が成立した譯で、斯くて若い男女は許家の關係を結ぶのである。其際新郞は新婦を獲たる賠償として、外家に入つて數箇月時として數年に亙つて其外家の爲めに勞役に從事するの風がある。

結婚式は占卜者が新郞新婦の運勢を判じて式日を定め、愈々當日となれば新郞は出來得る限り美々しく着飾つて行列を作して外家に新婦を迎ひに赴くのである。其際外家側では公衆に對して新婦の持參する嫁資を披露する。之れは萬一離婚の際當然妻の所屬するものであることを明瞭にして置く爲めであるが、一面に於ては、誇示の意味も含まれてゐることは勿論である。式後三日間に亙りて全村の村民を招待して披露の宴を催ふすのである。

「チャム」人の生活上最も注目に値するは婦人の家庭上又は社會上に於ける位置であつて、古代占城（チャンパ）の傳統が其儘殘つて、婦人の家長制度が未だに殘存し、儀式の席に於ては婦女は祭司の次席に坐すのを常としてゐる。また婆羅門敎にもまた回々敎にも共に尼僧があつて社會から多大の尊敬を受けてゐる。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人が如何に尊重されてゐるかと云ふことは緣談の際に於ける兩親が其娘に對する態度でも知られるのである。安南人を始め其他の諸族に於ては、多くは當事者たる娘の意志を圖るやうなことはないが「チャム」にあつては必ず當の娘の意嚮を諮つた後でなければ、兩親に於て諾否を決定せぬと云ふ習慣がある。加之安南低地の「チャム」にあつては結婚申込の一般的習俗に反して、婦人の方から男子へ申込むの風があり、夫の死亡せる後、亡夫の遺產は勿論子女と雖も妻に歸屬し、また離婚は妻の意志に基き、其際には其住家家族、財產の三分の一は當然妻の所有に歸すると云ふ、一種の不文律が行はれてゐるのであるがこれなどは立派に婦人家長制（マトリアルチー）の行はれて居つた餘韻と見ることが出來やう。

●宗敎●　「チャム」の宗敎は主として回々敎と波羅門敎との二敎で、回々敎をばバニーと稱してゐるが、之れは回々敎徒を意味する亞剌比亞語ベニーの轉化せるものである。回々敎、波羅門敎と稱するも、其敎儀は均しく甚しく廢頽して其眞諦を傳へず、否其面影すら止めず、唯纔かに埋葬の形式を殘留するに止まつてゐる、卽ち波羅門敎徒は死屍を火葬に附し、回々敎を奉ずる者は土葬とする。

葬儀は人生の盛儀として重視してゐるが、是れは專ら祖先を尊崇すると同時に、死者の亡靈が冥福を得られぬ爲めに、其家族に禍を及ぼすことを怖れて之れを豫め妨止する目的に出でたものに外ならないのである。殊に火葬は頗る嚴肅なる儀式で、先づ其四邊に蠟燭をともした製作精緻を極めた屍架に屍體を安置し、僧侶は日夜絕えず之れを監視し乍がら、一日に三回宛必ず死屍に食物を供養するのである。斯くて屍體が愈々腐爛の極度に達せるを見極めたる場合、始めて衣服、各種の器具又は貴重品などをも共に盛大なる儀式の下に之れを荼火に附すのである前頭骨七枚を遺骨として金、銀又は銅製の小箱に納めて家に持ち歸り、一年後之れを土中に埋めるのである。

「タイ」人

「タイ」族系の種族は頗る多樣の變化性を示し、種々の名稱の下に印度支那半島到る處に分布棲住してゐるが、殊に雲南から暹羅へ掛けて麕集してゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本種族は移動の途すがら先住種族と同化したのであつた。即ち雲南方面のものは支那人に、東京に於けるものは安南人に、老撾から暹羅方面へ棲住するものは東埔寨人に類似してゐる。また宗教的に觀察して見ても決して一樣ではない。或は南方佛教を奉ずるあり、或は祖先崇拜あり、死屍を火葬とするありまたは土葬とするありと云ふ風に雜多である。否單り習俗のみに止まらず、其言語も亦異種族の要素を混入して變化し、其文字も亦種類多く、恐らくは十種以上にも上るだらうと思はれるのである。

「タイ」が棲む地方は多く山嶽重疊する極めて磽确の地域であるから、隨つて三稜洲の安南人に見るが如くに、密集棲息するには頗る困難で、斯くの如き地勢的事情の爲めに文化の發達は勿論、其著るしい種族的特質をも何等助長發達せしむることは不可能であつた。彼等は大部分山地東京と老撾とを棲住地と爲してゐる。山地東京に於ける「タイ」は約二十五萬を算し、略ゝ全種族の五分の三を占めてゐる。就中「トー」と稱する種族は「タイ」の代表的部族で、人口十五萬を數へ、クレール河からケバオに至る間の地域に占據し、往々峽谷の入口に茅舍數棟相寄りて一村落を爲すと云ふ風である。

「トー」は本質的農民であつて、狩獵とか漁撈とかは彼等に執つては一種の遊戲たるに過ぎないのである。其習俗は近隣の安南人の影響を受けてゐるばかりでなく容貌も亦類似するものがある。其影響の跡殊に著るしきは服裝であつて、染色法に於ては全然異なるも尠くとも仕立方に於ては全く模倣を爲してゐる。安南人は一樣にクナオ染の衣服を纏ふてゐるに反して「トー」人の衣服は青色の藍染めである。此風は專ら山地々方に於て殊に行はれてゐるが爲め、其衣服の色にちなみて、其地方をば「青國」と稱んでゐる。

紅河と黑河との各沿岸の平野殊に老撾に於て、其他の「タイ」分族たる老撾人、白「タイ」、黑「タイ」、赤「タイ」「タイ・ヌア」「リユヌ」などが蟠居してゐる。

老撾人

體質と特質　老撾人は「タイ」族中の分族で、其最も重要なるものである。體格は男子は極めて高雅な體型を有し、身長高く膚色鮮かなるは、確に其優秀

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人種たることを物語つてゐる。婦女は概して身長中庸にして顔貌は圓味を帶び、妙齢の婦人の裸體姿は婉美なる趣を備へてゐることは確である。けれ共既婚婦人は家政上の繁勞あるのみならず、殊に男子は皆懶惰にして家主は孰れも家稼を顧みぬ風ある爲め勢ひ過勞に陷り心身共に衰耗しつくして、早くも憔悴して見る影もなくなるのである。

老撾人の生活は單純にして其性質は懶惰無頓著で動もすれば農耕を厭ひて、雇傭人又は奴隷(多く「カー」人を奴隷として使役してゐる)、若しくは家事萬般を負擔する妻に委せて省みざる風がある。工業と稱すべきものは勿論ないが、手工品とても極めて幼稚にして、其製作を業とする專門的職業なく、日常使用の器具其他の製品は凡て各自の製作手工品にして、一人にして能く漁夫、大工、職工、染物師、裁縫師を兼ね、衣食住共に自給制である。又比較的手工に長せる爲め、木彫と金彫とには專門的技術者があつて、富裕なる家庭の備品を製作してゐる。彼等は唯商賣と操舟との業には喜んで從事するの傾向がある。輕舟又は獨木舟に乘じて遠隔なる地方をも厭はず物資の交易に赴くのであるから、隨つて異種族と接觸する機會も多く、自ら彼等は智識階級に屬するのである。

風俗　老撾人は糯米を常食とし、併せて鹹魚、生魚、弩弓を用ひて獲たる禽獸の肉等を食膳にのぼせ、米酒を殊の外愛飮する。

男子は孰れも藍色木綿製の胴帶ある上衣に寛やかな袴(ズボン)を穿ち、又時としては綿布或は絹布を股間を經て腰の周圍に卷付ける時もあるが、これは暹羅族や東埔寨人と揆を同じふしてゐる。又富裕なる者は狹隘なる袖口の胸部で釦止めの裝置ある胴衣か絹製の腹卷を着用する。皆一樣に斷髮してゐるが頂上に短く圓形に苅り殘す奇習がある。婦人は男子に比して割合に著飾らぬが、踵までも裾を引く長き縞目ある木綿の裳を纏ひ、胸は廣い布帛を以て卷き一般に乳房を露出せしめてゐるが、これは東埔寨の婦人などとは大に其趣を異にする所である。婦人の毛髮は漆黑で麗はしく、之れを頭上に於て簡單に結束して置くのである。而して男女共一般に金銀製の裝身具を嗜好すること甚しい。

住居も亦極めて簡素にして、多くは地上に打込める杭の上に建造するのであるが、これは彼等の土地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が多くは山林であるので、猛獸、毒蟲などの危害を防ぐ目的で、床を高くする爲めである、屋根は棟高く、屋内に强烈なる太陽の光線の射入や風雨の吹込みを避ける爲め檐を低く地上に垂下させるのである其建築材料としては單に木材と竹とに過ぎない。煉瓦は寺塔以外の建築に用ふることは先づない。家具類も亦同樣で富者以外の家庭では頗る簡單なる手製の品が殆ど多い。

　老撾人には腹部とか脛とかに刺青を施す奇習があるが、南部老撾に於ては此習俗が稀れで殆ど其例を見ない。その昔ヴイエンチエンやバサツク等に於て王國を建設してをつた老撾人をば白老撾人と稱し、文身の風ある北部老撾人をば黑老撾人と稱んだのは此の文身の有無に由來したのであつた。

　收穫を了して所謂農閑期に入ると、何れの未開人にも通有なる通り、青年は處女の愛を求める風がある。日暮れて後人影も見えなくなつた頃、村外れに設けた小屋掛けの高い床の上に、婚期の近づいた美しく著裝つた處女が坐して、夜毎慕ひ寄る青年の通ひ來るのを待つのである。殊に月明の夜などは節面白い歌謠を口づさみ乍ら通ふ青年や、樂しさうな喃語に耽る青年男女の姿が所々に認められ、本島高砂族の夫れに甚だ似通つた節があるのである。數日の間相親しんで互に相愛の情が起れば愈々婚約が成立して結婚となるのである。未開の部族に於ては婚禮と云ふても極めて單純で、式日には巫術者が媒婚者の役を爲し、先づ犧牲として諸靈に鷄を供へ、綿縒糸を以つて新娘と新婿の手を結び合はすのである。其間に婚席に列れる婦人達は長形に裁ちたる生肉、團子、蝗の揚物其他米酒などを新娘新婿に薦め、且つまた頗る原始的な音樂の伴奏につれて、歌謠を吹ひ乍ら舞踏を爲して式を終るのである。

　老撾の婦人は前にも述べたる通り、男子に比し遙かに勞役の負擔多く、家事を始め厨房、豚舍、馬牛舍の世話は勿論、日毎の課業として拂曉から其日の食用米の脱穀や菜園の手入れに從ひ、また乾燥期に於ける水田などの灌漑、河水の汲揚、播種、挿秧、植替、除草、收穫などの勞働は凡て女性の手を煩はすのである。加之物資交易の資料たるとまた自家用たるとの區別なく、絹糸を採り、綿糸を紡ぎ、機織に從ひ、或は市場に出て、賣買を行ひ、或は山林に入りて燃料としての枯木を拾ひ集め、家に在りては

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

子女養育の任に當らねばならぬので、彼等は常に過勞に陷り易いのである。

宗教・老撾人は外觀頗る宗教的で往昔相當に佛教が行はれてゐたことは現在する各種の佛像、佛具などに徴しても明瞭であつて、現在に於ても尙ほ佛教が勢力を有し到處に寺塔の聳ゆるを見かけるのである。且つまた幼童は必ず學舍を兼ねたる附近の寺院に通ふて或る一定の期間を智識の習得に費すのである。けれ共彼等の信奉する宗教たるや實に皮相淺薄なる佛教と巫術との混淆せるものに過ぎないのである。死屍は火葬と爲し、淫祠邪神を祀り、祝祭を盛んに行ふの風がある。

稍や開明の老撾人は一般に佛教を奉じてゐる、未開部族も亦同樣であるが其宗教としての內容も形式も共に弛廢して、佛教とは名稱のみに過ぎず、其實は寺塔も僧侶もなく、一種の祖先崇拜と迷信的邪信尊崇とに墜落し、概して萬有靈教を信じ、靈性あるものに對しては獻祭を行ひ、新酒が釀成されると、先づ之れを飲用する前に必ず祝祭を行つて神前へ供へると云ふ風である。（未完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生蕃行脚（承前）

丙牛生

水底寮からリキリキ社へ

水底寮は屏東以南に於ける大部落である、これより南に恒春の南端に至る間にもこれに比すべき大きな村は無い、村の入口には前年此地を起點として、陸軍の手に依り浸水營の山路を開いて巴塱衛即ち今の大武に軍道を通じた際の開路碑が立つて居る、此浸水營越えの道路は往昔より東部蕃人が、西海岸の枋寮に交易に通ふた南部唯一の東西連絡の蕃路であつたのを、後に支那人に依りてこの南路を開鑿された、臺灣地輿圖說に記せる下淡水三十里射寮、八里半紅泥嘴、十六里立里社、八里半南崑崙、二十里古阿崙、二十三里春望巖、十里大鳥萬溪口、四十三里大貓裏、四十五里卑南とあるが、このうち立里社はリキリキ社であり、南崑崙は今で云ふ浸水營の邊りであらう、古阿崙はコアルン蕃社に當り、大鳥萬溪口は今の大武であつて大貓裏は卽ち太麻里で卑南は臺東街に當るのである、明治二十九年我陸軍はこの舊道を改修し、これを軍路に充て且つ電信を架設した、恐らくは日本人の手に依つて臺灣の山地、五六千尺の高地に道路を開修したと云ふことはこれが嚆矢であらう、新開庄から先の山路は概ねリキリキ社蕃人の勞役に成り、其後も此道路に依つて郵便の遞送をやつたが、この遞送人も總てリキリキ社蕃人に依つて中央山系の西半面は遞送を爲して居つたものである、本島に於ける中央山脉の橫斷道路のうち、領臺の當初から最も實用的に使用されて居るのはこの一線に過ぎない。

私達は此度の旅行に於てパイワン族蕃人の調査としては先づ手始めに、リキリキに赴くことにした、同社はパイワン族蕃人として堂々たる大蕃社であつてこれから南にある率芒蕃にしても、大龜文蕃にし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ても下十八社蕃にしても此社以北の風と大に異つた點があり、殊に住家の建築の如きこの以南のものとは全く異にして居る、同族蕃人としての標準的の土俗はこの社の南方と大差あるから、一般パイワン的土俗は此蕃社で見るを便とする。

私達は蕃語通事の黃漢生を伴れ、蕃人に荷物を擔かせ入蕃の途に就いた、荷物は專門的の調査用の器械、器具、採集用品、著替用の衣類、夫れに糧食から蕃社への土產用の惠與品まで携行する、自分達も各自にカバンだとか寫眞器等を肩からかけて、恰も辨慶の七道具式の仕度で、これに被髮花冠の蕃人が豹皮の上衣に朱鞘の蕃刀を佩いて荷物を擔ぐ、枋寮から特派された私達護衛の爲め武裝した警官六名、この行列約十六七人のもの〱しさ百鬼晝行の旅姿たとでも云ひ得るだらう、銃器を肩に護衛のサーベル連平地では口が達者だが新開庄から先きの坂道となれば俄然沈默して立止りては下界を眺めて景色を賞める、私達淮番公の若者共はお氣の毒に思われるので歸化門趾の處から護衛の方々のお歸りを願ふた。

自分達は平地こそ土匪の萬一を怖れるが、生蕃山へ入れば全く安全地帶だと思ふて、道中も何等案ずることはなかつた、私も鳥居さんも前年の臺東及恒春の旅でパイワン蕃の片言は話し得る、途中通事や蕃人と語り合ひつゝ、リキリキ社近く來た際、五六日前これより先約半里の地點に於て、郵便遞送の同社蕃人がボカリ社蕃人の爲に首を馘られたとの話を聞いた、此方面の蕃人は同族と雖古來から獵區や漁場の爭から仇敵關係の者が少なく無い、同蕃族にして爭鬪し互に首を取り合ふことは屢々ある、同社蕃人は近日大擧ボカリ社を襲ふとて北方を睨んで激昂の態であつた。

同社は山道の左の方少しく降つた處、三段になつて一の集團部落を成し、スレート葺の蕃屋軒を接して建並んで居る所は山上から見下して壯觀である、リキリキ溪右岸の中腹に在つて。水底寮からすれば東方約四里半位の處に在り、海拔約二千尺位の高地である、この途中の山も概ね林は伐られて草生地が多い。

この方面の蕃社風俗に關しては、臺灣府志第十四卷蕃社風俗のうち鳳山縣二に記載せるものはこの邊りの蕃社を誌したものである、之を評載すれば左の通りで、これに自分の觀察した其頃の風俗を記して

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

見やう。

パイワン族の風俗

口居處　山の凹み險隘の處にて小石を以て墻壁を築き大木を樑とし大枋を桷とす、石を鑿りて瓦とし風雨に慮あらざるも只地震の時は患むのみ、大枋や大石を以て床とし、蕃布を褥と爲す。

—以上府志譯載—

蕃社の位地としては溪に臨み、山間の險隘の地を選み戰略的に要害の地を相するを常とする、スレートの小片を積み重ねて墻壁とし、內部は木造にして梁には概ね槻の大木を用ひて居る、長方形に切りてスレートを瓦とし屋根を葺いて居る、風雨には障りないも地震の場合には用心せねばならぬ、廣い石盤や又は板を以て床を作り土間及庭には扁平な石盤石を敷きつめて居る、門口は何れも溪の流れに向ひ屋根は二面傾斜であり、家屋は何れも長方形である、屋外に穀倉を設けて粟や蕃芋はこれに貯藏する、暑中は熱氣を避くる爲に屋外の小屋で炊事し、風を入るゝ爲には屋根に葺ける瓦の一二を引あく、恰も內地田舍家の引窓のやうだ、頭目の家とこの一門の家には門前の軒下楣間には人面、蛇、鹿等の彫刻を施し、屋內の大柱には男女の等身大の彫刻がある、これは蕃語にてボボと云ひ祖先の義である、これ等の彫刻も其家門の榮を誇る象徵であつて一般平民階級の蕃人には許されて居らないものである、頭目家の家の前には石盤石で積んだ小高き露臺があつて、これは所謂司令塔の如きものである、必らず榕樹が植ゑてあつて、この木は卽ち頭目家の所在を示しシンボルなのである、リキリキ社のこの司令臺の石疊みの間には處々に敵蕃の首級を藏し、又住家の壁の石積の間にも頭蓋骨が入れてあつて、武張つた所を示して居る、頭骨架は蕃社を距りし一二町の處の石盤石を積み內地風呂屋の衣服棚の如くに頭骨を縱にも橫にも竝べて積み重ねてある。

此社は大正四年に銃器引揚の際大討伐を受け、一時蕃社を捨てゝ山間に避難したが、其後再び歸つて蕃社を成すに至つたも、今日では昔日の壯觀を見ることを得ない、今手許にある大正十一年末現在のリキリキ社の戶口は左の通り。

戶數、二三八、人口一、二四三人にしてこの性別は男六五七人、女五八六人、配偶者三三八、と示さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れて居る、思ふに二十五年前の同社戸口は現在より多くとも尠くなかつたであらう。

口飲食　蕃薯、里芋、黍米を植ゑ食糧に充つ、耕作の時男婦老幼とも偕に往き、牛隻犂耙を用ひず唯だ鐵鍬を以て鋤墾して栽種す、芋の熟すれば大竹を扁へたる上に置き、火に焙りて乾かし以て年中の糧と爲し、外出には亦喉糧の資と爲す、土官は雞、犬を飼へども夫れを食はず、條蕃は竹木を資り及豚を飼ひ野獸を捕へて生活とす。

天旱の時は祈禱し全社の男女五日戸外に出てず火を擧げず煙草を吸はず、たゞ乾芋を食するのみ、雨を得たる後五日門外に出でずして雨を謝するの風あり名けて起向と云ふ。

酒は黍米と麥草花を合せて舂き、草葉にて包み蒸熟したる後四五日を經て再び淸水を和して之を漉し、甕に一二日間貯藏し、卽ち酒味を有つを待ち酒を木椀に盛り聚り飲む土官先に酌み、次に副土官に及び衆蕃相繼て飲む。

山前山後の諸社にては例として五年毎に、土官及衆蕃ともに百十圍饒し各々長き竹竿を執り、一人が藤製の毬を上空に投げ、衆蕃競ふて長竿にて刺し中てたるものを勝とし、衆蕃酒を捧げて賀す、名けて託高會と云ふ、酒酣にして各々豪勇を誇り馘首すること多き者を雄長と爲す、歲時を計るには黍米の熟する迄を一年とし、月の圓かなるを以て一月とす。

蕃社にては蕃衆は黍米、蕃薯、里芋等を栽種し、土官は十分の二を課收し、又狩獵にて鹿章、鹿、山猪等を捕獲せば、土官は其後部の一蹠を得べきものとす—以上府志譯載—

此方面一帶の生蕃は粟、山薯、蕃薯、里芋を植ゑこれを主食物に充てゝ居る、米は迷信から作つて居らない、蕃名粟はバコ、山薯はカケジ、蕃薯はボラシ、里芋はバサ、爆芋はアラジと云ふ、この外に藜ありジユリス、稗ありジヨマイ、黍ありカラロマと云ふ、米はパダイと云ひ之を食ふも、此蕃社では作つて居らない、本島人の作つたのを食ふも、迷信から貴ばないのみか文化の民を侮稱するに、米食ひ蟲なる言葉を用ふる位である、農耕には老幼男女ともに畑に往き、山間斜面の地に切替畑を輪耕する、其耕地が斯る場所であるから農事に牛を用ひず犂耙を使はない、たゞ捧先を平にしたやうな極めて簡單な

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

農具で耕作するのである、里芋はパイワン族蕃人の主要なる食品で殊に其種類も多様で良種に富んで居る、日常の食事にしても其大半は里芋で、皮の儘に煮て、外皮をむいて食ふのである、これは主食物として蕃薯より優ること數等で、食ふて腹工合と云ひ保ち方と云ひ蕃人の食物としては好適のものたと思ふ里芋の收穫期には畑の附近に炭燒竈の、小さなものを造り小芋を選びて燻製にして貯藏す、これをアラジと云ふ、其味と云ひ形狀と云ひ私達はこれを形容して生蕃ビスケと名けて居つた、然り蕃式のビスケットの樣なものだ、これを水煮しては家に在つては三度の主食物に充て、旅行の際は携へてこの儘堅パンがビスケットのやうに携帶行糧として用ふるのである、粟は飯に煮て食する外に搗きて餅を作り、其多くは酒に醸すのである、蕃薯も山薯も水煮して主食物に充つるが、里芋を最も多く用ふる又これを最も愛するやうである、私達にしても此地方旅行中で、粟、臺灣米、蕃薯、里芋のうち何れを可とするかとならば、立處に答ふる所は里芋を賞味したい。

舊志に土官とあるは頭目の事であらう、餘蕃とは一般平民階級の蕃人を指すものであらうが、私は筆の序でにこれに就き一言説明を加へやう。

私は臺灣の生蕃に、若し文化なり文明がありとすれば、其の何れの地方のどの生蕃が優れて居り、進歩して居つたであらうかとの問題が出たとすれば、私は過去に於けるパイワン族蕃人が最も優れて居り、其の過去には寧ろ現代よりも優れて發達して居つたもので、今日では却つて退歩し廢頽して居ると云ひ得さう。

彼等祖先時代には、蕃人としては立派過ぎるほとの秩序整然たる封建制度があつて、彼等の社會には貴族と一般民衆たる蕃人とは、先天的に其系統に於て人種的の階級に於て異つたものとし、前者には神秘的の傳説に依つて一種天孫派と見られて居り、一般の平蕃人はこれは氏もなく素性卑しい素平民の百性とされて居つたものである、夫れ故前者は尊稱してマサ、ギザンと稱し、其社會に在つては會長として政治的の權力者であると共に、其地方一帶の大地主として領主の地位に在つたのである、而して一般平蕃人はツアウツアウ、パクトロンと云つて前者に對しては絶對服從關係の下に置かされた臣民である、斯るが故に彼等は如何に才能が優れても。政治的權力者たるの地位に立つことを得ない計りか、この貴族階級と緣組みも出來ないし其服裝にしても裝身具

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

にしても身體に施す刺墨の模樣にしても、全く階級的に差別が付されてあり、彼等が如何に富むにしても決して土地私有の權利を有たないのである、絕對に前者に對する被治者として其の支配の下に置かれ公課さる、勞役の外に、農作の收穫物にしても狩獵の獲物にしても、カヂルと稱し治者に對して貢租の義務を有するのであつて、このカヂルも其土地の權利關係が複雜にして、大酋長の領地であるが其分家の當主が支配せる處などは、二重に甲乙兩者に對して年貢なり租稅の義務を負ふことになるのである、而して彼等一般蕃人から其酋長を見ること、殆ど專制國の君主と同じて、不可侵の神聖なるものと往昔には看られて居つたのである、又彼等は長子相續であつて其長子が男子ならば可なるも、若し女子の場合にはこれが戶主となるが故に、パイワン族の蕃社には往々にして女頭目があるは、この門閥者の長女が世を嗣ぎし場合であつて、これが其社の女王となつた譯である、臺灣蕃族中にこの舊慣あるはこの種族のみで、他の多くは男系であるが、東海岸のアミ族は女系であり又往時西海岸平地に在りし平埔蕃の祖先時代には女系のものがあつた、私は前年南洋巡遊の節、マーシャル島に立寄つたがこの島では土人は女系であり、又往昔のパイワン族に見る如き、封建制度があつて酋長と一般土人の階級的區別も、略ほパイワン族の夫れと同じで、且つ酋長が一般土人から徵收する貢租も土語で同じくカヂルと云ふことを聞いた、これは偶然の暗合であつて、メラネヂアのこの土人がパイワン蕃人の祖先であらうとは言はないが、南方民族のうちには此例は決して他に類のないものでない事は思はれる。

臺灣の各蕃人中で其過去に於て、パイワン族の如き社會組織を有し、一種の小規模ながら國家的統一機關を彼等の一の群、卽ち部族毎に有して居つた如きは、これを詳しく學術的に研究せんには社會學的にも、將又古代法制史の攷察にも非常に有益な資料を得ることであらうし、私は切に眞摯なる學者に依つてこの研究に手を染められんことを望むのである。

彼の瑯璚十八社なる下蕃十八社蕃なり、上蕃十八社蕃の過去に於ける、大股頭人、二股頭人、三股、四股頭人と、各小社の小頭目なり又は、大股頭人の住める大社と小社との關係の如き、恰も我德川時代に於ける將軍家、御三家、諸大名の如きもので、又これ等の階級者と一般人民の關係も、階級的に貴賤

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の差別が因襲的に一般が當然として是認して居つた感念に於ても相似よつた點が見える、往時に於ける大股頭人等の尊榮は大したもので、殆ど大將軍の如き威嚴を有し、其旅行の如きも全く大名行列であつたのだ、私達が前年恒春チラソ社のバンキンを伴ひ下蕃を巡回した時も、又上蕃で内文社のルジが同行に應じなかつた故に、二股頭人のブラルヤン、チユルンが當時は尚幼ない六七才の子供であつたが、私の各蕃社巡察の案内として同行して呉れた際、各蕃社に於ける彼れに對する禮遇なるものは全く王侯に對する如く最高級の尊敬と優待を爲したのを見て、殆ど君臣に於けるが如き情誼で敬虔なる心からの接待に私は涙ぐましい位に感動された、この時代に於ける斯る事實は恩師小西林學士も鳥居博士も實見したことであり、其時代恒春に在りし鐸木直之助君にしても或は遭遇されて知つて居られるであらう、既に彼等の社會に斯る立派なる慣習が在らばこれを參酌して、蕃人及蕃社として内政的の事は寧ろ蕃人の慣例に任せて、吾々内地人は對社外關係なり彼等の監督的の程度で、治めた方が却て無事であり彼等としても幸福であらうと思はれた、而し日本人には斯る太つ腹な事は出來得ず、矢張り自分で重箱を揚枝でつゝかなくては氣か濟まぬかも知れない等、この旅行當時も語り合つた事である。

果たせる哉、日本人は彼等の舊慣を無視し、彼等の社會狀態なり生活の内面を考慮せずに、獨斷的の考えを以て彼等に臨んだ、斯る結果は陋習打破のつもりであらうが彼等の社會秩序は根底から覆かやされた、夫れと同時に昔日の權力者は全く影薄くなつた、僅に因襲的に一種の尊敬は部下の蕃人より受け得るも、其威嚴は殆ど空虛のものとなつて會長としての押しも睨みも利かなくなつた、蕃人は舊慣に依る會長に對する年貢も昔時ほどに納めなくなり、是等當路が舊慣打破として大いに努めた效果かも知らないが、今では混沌たる狀態で彼等は社會的に安定を得て居らないらしい。

土官は鷄、犬を飼へども夫れを食はないとあるが、現今では頭目でなくても一般に鷄も犬も飼ふて居り犬は狩獵用であり鷄は時報用の云はゞ時計代りに飼つて居るのである、往時クラルの蕃社や其他山奥深くの蕃社では鷄を飼はなかつた風があつた、これは鷄の鳴聲の爲に夜襲の敵蕃をして蕃社の所在を感知せしむることを恐れてである、舊慣では鷄卵をも鷄

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

肉をも食はないのであるが、現今は肉はこれを食ふやうになつた、犬を食はずとあるは聊か奇なる如きも、南方民族の慣習の中には、客を饗するに犬肉を供ふることを以て最大儀禮として居る所がある、東カロリンのポナペ島の如きは食用犬を飼つて居り、これが土人間で高價で取引される、而し蕃社に於て狩獵に敏捷な犬は獵犬として有價物であつて、相當の價格を有するも蕃人の例として斯る取引は稀である、古志に頭目が犬鷄を飼ふことを特記したものは此時代の彼等はカヂルの年貢として納める農作物で十分に食ふに足つた故に、自家農耕に外に出すことがないと共に、常に家居する故に犬や鷄を多く飼つたのであらうし。一般蕃人は農事其他で山の野小屋に出稼ぎ蕃社に居らない場合も多いから自然飼ふ方が少かつたであらう、頭目はカヂルの收入に依り別に働かずとも生活し得るが、一般蕃人は食物を自產する以外に、他に平地の漢人部落より供給する鐵器布匹裝飾品等を求める爲には、竹木を伐り之を平地に搬出し、豚を飼ひ或は狩獵して是等の蕃產物を市井に供給して蕃人の需要する物品と物で交換を爲したものである、此方面の蕃人は漢人の敎を受け古くより斧や鑿、鋸の類を使用し、自家の建築にも用ふる計りか、蕃產物として出す木材も漢人の用途に適すべく、牛車材、卓の板、建築材と適宜に造材し、其他雜材はこれを薪炭材として搬出する、この蕃地から蕃人に依つて產出する木材は、往時にては阿緱平野から恒春の南端に至るまで平地部落の唯一の材料であつた、これを附近の村庄で消費するのみか戎克に積んで多數に打狗、安平地方に搬出したものであつた、薪炭材も亦同樣で往昔南部に於ける製糖業につき其燃料としては大部分この一帶の方面から供給されたものであつた、用材としては欅、楠、烏心石、樫、相思樹、爛心木、茄苳恒春地方ではこの外に、毛柿、烏皮石苓、欖仁等の各種裝飾材も出した。

此方面一帶のパイワン族蕃地は土地の割合に、蕃人の數が多い夫れのみならず所謂蕃人的文化が他に比して著しく進んで居る、これを以て彼等は生計の餘裕は他地方蕃人よりも乏しかつた、故に蕃山の林木を造材して搬出する如きことまで爲したもので、これは他の方面の蕃族では全く見ざる所である、夫れ故に此方面一帶の山地は古來蕃人に依る濫伐の結果自然林の荒廢して草生地に化した場所が多く、全

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島の蕃地のうちパイワン蕃地ほど草生地の多い處は無い、殊に東海岸のパカルカル方面に比し、前山の西海岸方面は特に甚だしい、この目前の小利に迷ひて蕃地森林を荒廢したことが、今日では彼等蕃人生活の上に非常の不利を將來して居る、今に於て彼等將來の爲に造林組合の如きを組織して根本的から救濟の途を立てる必要がある。

パイワン蕃地には到る處に、パリシの森として舊慣に依る禁伐林か設けてある、これは蕃人の祖先が創定した一種の保安林であつて、野獸蕃殖の爲め、或は水源涵養の爲め、或は蕃社の要害として攻防に備ふる爲め、或は蕃社掩護の爲めに、絶對に斧斤を入るべからざる禁伐林を存置して居る、他の種族の蕃社にも斯の如き類例があるも、パイワン蕃地ほど到る處にパリシの森なる禁伐地域を指定して居る所は他には無い、此一事を見ても同族蕃人か古來相當に發達せる智能を有せしことが察される、又林木を伐採して物品交易の材料に充てしことの盛んであつたかゞ窺はれるのである、パイワン蕃地に於ける相思樹林の如き又は竹林にしても、山中に在る檳榔樹蒲葵、榕樹の如き概ね彼等蕃人の祖先に依つて移植されたもので、これ等は自然の林木でないのである。

パイワン蕃人は古くより植林の思想を有するのみか蕃人としては珍らしい、園藝趣味を有して居ることで、彼等男女とも草葉を環狀にして之に生花を以て飾り花冠の如く頭部に冠りて裝飾とする風がある、この花冠用の草花を社內の圃園に栽培して居る、又森林中の野生花にしても眺めて美麗なる花卉は採りて之を培養するの風があつた、寄生の糸の如く下れる羊齒類や胡蝶蘭や木斛金石斛の如き、彼等はこれを山中で採集し其住宅附近の立木に移植して居つたものであつた、この心床しい彼等の試みを助長する事なく、心なき內地人の旅行者が手當り次第之を奪つて歸るやうなことの續いて、今日では日本人に奪はれる虞あるものを扱はないことになつて居る。

南國の名花として誇るべき胡蝶蘭のカラ、の如きは日本人の濫採に依つて今日では非常に、尠くなり近き將來には全く絶滅の悲運に陷るであらう、又熱帶林木として特色ありし毛柿の如き又は烏皮石茶の如きは、今日では、最早や大木は無いこれも近く絶滅するであらうが、此種のものも保護の必要があらう、比律賓から多量に產出する、名木カマゴンなる木は臺灣のカマヤで同種のものである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

地租附加税徴收成績

—大正十二年度後期分—

内務局州廳課

大正十二年度後期分各州の地租附加税徴收成績は別表の如くにして其の總額の調定濟額に對する收入濟額の歩合は九割一歩七厘にして前年度當期に於ける歩合に比し一歩三厘を増し臺北州以外は概して良好なる成績を示せり

□大正十二年度後期分地租附加税徴收成績

州名	調定濟額	收入濟額 納期限迄	收入濟額 調定濟額に對する歩合	收入濟額 前年度當期に於ける歩合	收入濟額 歩合増△減	收入濟額 納期限後	納期末濟收入額
臺北州	四〇一、四四三	三六九、三七六	〇・九二〇	〇・九〇五	〇・〇一五	三四、一〇〇	九、六九六
新竹州	一七八、四四五	一六〇、〇六八	〇・九〇〇	〇・八九五	〇・〇〇五	三、二二一	一六、二二六
臺中州	二八七、八九五	二六六、五〇九	〇・九二八	〇・九二一	〇・〇〇七	一五、四六五	八、〇六一
臺南州	二二九、〇五七	二二四、八八一	〇・九八二	〇・九七八	〇・〇〇四	四三六	四、六〇〇
高雄州	二〇六、九五九	一九一、八六二	〇・九二一	〇・九四四	〇・〇二〇	一、九九八	一三、三二九
計	一、三〇三、四六八	九六八、九〇六	〇・九一七	〇・九〇四	〇・〇一三	五六、一〇〇	五〇、四〇三

（備考）（一）本表は定期賦課に係るものを掲記せるものなり（二）本表は納期限後十日目の現計を掲記せるものなり

臺灣汎太平洋倶樂部の規約

別項時報欄所報「臺灣汎太洋倶樂部」の設立に付去月二十九日本島官民の發起人により開かれたる創立總會に於て可決された同倶樂部の規約は左の通りである

□臺灣汎太平洋倶樂部規約

第一條　本倶樂部は太平洋沿岸諸國民の懇親を圖るを以て目的とす

第二條　本倶樂部は臺灣汎太平洋倶樂部（Pan-pacific-Club of Formosa）と稱す

第三條　本倶樂部は事務所を臺灣鐵道ホテル内に置く

第四條　本倶樂部は毎月第一月曜日に例會を開く

第五條　本倶樂部員たらんとする者は部員の推薦に依り會長の承認を受くべし

第六條　本倶樂部員は部員に非ざる者を例會に同伴することを得

第七條　本倶樂部員は倶樂部費として年額金三圓を醵出するもの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とす

第八條　本倶樂部に左の役員を置き一年を以て任期とす

　會長　一名　副會長　三名

　幹事　若干名　委員　若干名

第九條　會長及副會長は倶樂部員之を選擧す

　幹事及委員は倶樂部員中より會長之を囑託す

第十條　會長は倶樂部の事務を總理し倶樂部を代表す

第十一條　副會長は會長を補佐し會長事故あるときは之を代理す

第十二條　幹事は事務の執行に任ず

第十三條　委員は會長より附託せられたる事項を商議し必要に應じて事務を補助することあるべし

第十四條　本倶樂部に名譽會長及名譽副會長を置く

　名譽會長及名譽副會長は會長之を推薦す

第十五條　本倶樂部の會計年度は曆年に依る

第十六條　本倶樂部の事業及會計は毎年之を倶樂部員に報告す

第十七條　本規約の改正は幹事會の提案に基き會長之を委員會の議に附し決定す

領事會議々案

別項總督府に於ける對岸領事會議に提案されたる重なるもの左の如し

一、對岸に於ける教育施設改善に關する件

一、本島人子弟にして南支那方面に於ける支那人其他外人經營の各種學校に留學する者の昨年以後の狀況並に之が指導誘掖の狀況承りたし

一、阿片密輸入取締に關する件

一、博愛醫院施設に關する件

一、本島工產品の對岸方面販路擴張に關する件

一、對岸各地に於ける工業發達の狀況

一、在支日本商業會議所の狀況並に外國商業會議所の狀況如何

一、植物檢查に關する件

一、本邦籍民に對し取引計量上便宜を與ふる爲め對岸主要の市街地に當府度量衡器の販賣所を設置せしむる必要なきや

一、對岸支那に於ける本島產酒精の需要趨勢並に近時邦貨排斥に伴ふ酒精の實況

一、本島產砂糖並に糖蜜の重なる需要地及び糖蜜の用途

一、對岸及び南洋各地に於ける學校、病院其他の補助團體より補助命令に依り領事館を經由して當府に提出する事業報告及收支決算書は提出期限內に必ず提出せしめ其際相當御檢閱相煩し度

一、各地に於ける臺灣、華南、臺灣商工各銀行の營業振並に之に關する在留邦人其他の意向及希望如何

一、隨時必要の場合市價及貿易の調査を御依賴致したし

一、商況及貿易狀況の通報を特に稅關に送付を煩したし

一、本島對岸航路と貿易關係に就き御意見承りたし

一、南支那方面貿易市場の市況輸出入並に重要商品輸出入の趨勢に關する調査概覽表の送付を煩したし

一、南支那に關する總別地誌、道里地圖圖說、名勝記の精詳確實なる新刊物は勿論產業、教育、宗教上の調査資料たるべき新刊書並に新聞通信雜誌の現刊廢刊發行に關する報道を煩したし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、一時歸臺者に關する件
一、對岸に於ける徵兵檢査に關する件
一、本島人の香港臺灣間旅行に關する件
一、對上海貿易事業增進に關する件（以上官廳側提出）
一、支那政局混沌南北對峙の際弊行在支各支店徵求の各種擔保品に對し格別御保護願度こと
一、支那官民との接觸往來に對し此の上ながら便宜及紹介を與へられたきこと
一、借款其他支那人に對する滯貸金回收に際し御盡力願度きこと
一、排日に關し弊行業務上御保護願度きこと（以上民間側提出）

地方官會議に於ける附議事項

別項地方官會議に於ける議案は左の如し、但し各州廳の提出に係る分は之を略す

□諮問事項

一、各州、廳管內情況中主なる事項及び將來施設計畫を要する重要事に就き答申を望む
二、地方行政の刷新に關する意見を問ふ
三、地方實業教育振興に關する意見如何
四、重要道路の現況及び將來の施設に對する意見を問ふ
五、管下に於る產業資金の需要供給に關する現況如何
六、農會制度改正に關する意見如何
七、製糖原料採取に關する監督狀況如何
八、當府專賣事業の改良に關し特に意見又は希望あらば答申を望む
九、樟樹造林地火災豫防に關する施設如何

□指示事項

一、官公吏身分異動即報の件
二、學校教員の士氣振作に關する件
三、教員講習會計畫に關する件
四、警察費豫算使用に關する件
五、規律の保持に關する件
六、本島人巡査の指導に關する件
七、司法及び衞生係職員に關する件
八、蕃地職員の配置に關する件
九、蕃地機關の整理に關する件
一〇、撫育施設事項に關する件
一〇、撫育施設事項に關する件
一一、蕃地職員をして蕃人の言語習俗に通曉せしむべき件
一二、衞生施設に關し特に民衆の理解を必要とする件
一三、都市に於る腸チフス防遏豫防に關する件

□注意事項

一、官公吏定員配置に關する件
二、總督府報告例指定の報告期限勵行の件
三、人口動態報告に關する件
四、阿片に關する件
五、製鹽業者に關する件
六、製腦に關する件
七、煙草耕作並に煙草小賣に關する件
八、酒類專賣に關する件

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

詞苑

茶話會席上賦示諸賢

竹窓 內田嘉吉

薰風鈴閣捲窓紗。曉著輕衫擲翠霞。
我愛詩人忠厚意。林園此日供清茶。

竹窓督憲設茶話會于
官邸席上誌感

天籟 小松吉久

山環傑閣翠如流。一百騷人此勝遊。
禮數雖寬齊起敬。節樓當日是龍樓。

內田督憲閣下寵招全臺
詩人席上賦呈

逸雅 洪以南

一心爲國盡忠勤。下可澤民上致君。
治繼田公畫良策。政新鯤島樹奇勳。
封疆權擁山河重。濟世名當蘭麝芬。
鷗鷺望風齊鮮慍。重登東閣頌南薰。

內田督憲寵招吟席賦呈

雪漁 謝汝銓

鯤島策新勳。山河議使君。桑麻添
國富。棫樸蔚人文。天府欽龍節。
星營衛虎賁。鳥松當日閣。大集梓
南薰。

竹窓督憲茶話會席上
有詩恭次瑤韵

古邨 尾崎秀眞

山色對窓如隔紗。環城芳草薄籠霞。
綠陰時節群賢會。滿地清風好煮茶。

歲在甲子暮春東門官
邸雅集即事

潤菴 魏清德

重臣節制寄專疆。退食斯文聚一堂。
倒屣極知趨士貴。聞詩能許接輿狂。
綠榕陰裏春將暮。白玉樽中日漸長。
但願明公勤布惠。化行南國繼甘棠。

同

鳳菴 猪口安喜

綠陰如水映窓紗。茗燕招賓對晚霞。
料識明公自公退。思詩靜味淨千茶。
鈴閣薰風韻字紗。推敲坐對暮山霞。
胸中不貯五千卷。徒潤枯腸七椀茶。
彤窓六扇掛蟬紗。綠樹含煙似綺霞。
何幸野人陪雅席。節樓對雨吃新茶。

瀛社 張純甫

官閣會陪記鳥松。南薰一曲夢猶濃。
海疆草木思新澤。天上雲霓望舊蹤。
昔日開藩今擁節。中間臺省又從龍。
他時泥飲遭田父。合有新詩美鄭公。

恭和竹窓督憲瑤韻

東軒 山口透

好雨灑花風拂紗。園林藹々鳥穿霞。
明公政暇招詩客。詩就坦懷共喫茶。

內田督憲竹窓先生閣下招
宴東門官邸席上賦呈即希
敎正 石崖 林佛國

持節重來總制新。即開東閣會詞人。
親揚文敎詩書禮。藉率輿情美善眞。
羅致童蒙崇國本。振興物產裕臣身。
安全第一方高唱。疾苦先除養似春。

恭次芳韻

松井端

閣園深綠映窓紗。把筆人々弄晚霞。
多謝老翁陪席末。薰風度處味新茶。

內田督憲寵招席上恭呈

劉克明

三臺昔日許隨轅。寫詩又曾上龍門。
甘棠遺愛南薰集。淨窓明几開常翻。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

光陰忽忽十年後。重瞰渠範荷殊恩。
公之治民重文教。文教敦民風俗敦。
官邸淡泊無官氣。不用別築南菜園。
願公長壽且矍鑠。雅會如斯歲歲存。

恭竹窓督憲瑤韵　長沼　梅仙

園堂積翠捲窓紗。滿眼清光似彩霞。
誰識野翁斯裡樂。仁君博愛賜名茶。

內田督憲寵招席上賦呈
敬請斧正　游　古桐

父老重瞻節鉞臨。高山流水舊知音。
十年囘憶甘棠賦。此日還徵白雪吟。
崇重文章憐士意。主持風教牧民心。
文翁治績鯤溟徧。一視同仁雨露深。

官邸卽事　卓　周紐

聖代多賢士。熙朝盡哲人。因之以治國。政事見日新。因之以立教。布德揚皇仁。南瀛一孤島。自古稱悍民。文風頹不振。法令慨難申。版圖編入後。燮理得名臣。一視同赤子。布政三十春。安邦不用武。虎節属綸巾。二代文督憲。風雅重斯文。驅壇建旗鼓。應召詣龍門。願頌景雲篇。虔心和南薫。額手頌公德。永樹不世勳。

卽事賦呈　內田督憲鄭政　李　石鯨

黃農神裔重倫常。五教年來嘆欲亡。
願藉明公興漢學。中流砥柱峙南荒。

督邸卽事　莊　贊勳

望景瞻雲候起居。蘭陽小草向陽遲。
卽今晝錦開筵日。就是青宮駐駕時。

同

紅樹青山浴日斜。向陽小竹綠無涯。
春風不減南薰好。雨露均沾及散花。

恭呈內田總督閣下　林　述三

斯文興盛賴扶持。深感明公最愛詩。
此日書生長揖處。棨施猶勝蔦松時。

許　寶亭

欣逢勝會喜追陪。筆草墨花帶雨開。
自是名公能愛士。故教書火脫秦灰。

內田督憲寵招席上謹呈　臺北　盧　子安

棨戟遥臨庶績熙。中流砥柱賴扶持。
春風遺愛甘棠樹。秋水縈懷翠栢危。
且喜心明無滯物。還看政簡得閒時。
大開鈴閣催瓊宴。末席叨陪共賦詩。

內田督憲閣下寵召茶菓會席上
恭賦七言絕詩二首敬呈鄭政　蕃薯　林　子楨

鹽梅和手鎮瀛東。霖雨蒼生覆被中。
假武修文猶愛士。綸巾羽扇試春風。
記得潘轅曾賦詩。玉堂今日又追隨。
不知簡命調黃閣。仍許吾儕覩鳳儀。
儒雅風流鎮海疆。公餘詩酒醉吟觴。
飯生未曉賡歌事。南谷濫竽綠野堂。

官邸卽事恭呈內田總督閣下　杜　仰山

牙旗南苑柳條新。一樣平泉綠野春。
海外化移知政善。瀛壖恩溥頌皇仁。
欣逢三月詩文會。敢望千秋著作身。
吾道式微存一線。願公大雅爲斯民。

賦呈內田總督閣下　二首　夢樵　洪　玉明

鈴閣高風世所稀。更欣愛士到寒微。
東瀛文物於今盛。偉業推公四望巍。
體天德政治臺疆。滿腹經綸錦繡腸。
正氣煌煌光宇宙。千秋碩畫足流芳。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

三　月

▼二十二日

□第一艦隊陸奥以下二十九隻其の警備區域巡航の途次臺灣に寄港し陸奥其他は基隆に、長門其他は高雄に碇泊す

□高雄官民主催第一艦隊准士官以上の歡迎園遊會を同地貴賓館に催ほす

□臺北師範學校卒業式

▼二十三日

□臺北市官民主催第一艦隊將校歡迎會を榕屋敷に催ほす

□内田總督主催鈴木第一艦隊司令長官以下各艦長を官邸に招待す

▼二十四日

□軍艦陸奥艦内に茶話會を開き臺北官民を招待す

▼二十六日

□臺南州立農事試驗場開場式

□臺灣製茶共同販賣所第一回總會を同所樓上に開く

▼二十七日

□新竹州水產會創立總會を新竹公會堂に開く

□總督府十三年度豫算經常部七千九百萬圓臨時部千五百萬圓計九千四百萬圓決定

▼二十八日

□臺灣神社月次祭執行

▼二十九日

□臺中州農會第四回通常總會を州會議室に開く

▼三十一日

□臺灣產業組合協會評議員會を總督府に開く

四　月

▼一日

□殖產局主催臺灣移出米檢查事務打合會を總督府に開く

▼三日

□總督府醫學專門學校創立二十五年祝賀會を舉行す

□同上醫學校長醫博堀内次雄氏醫事在職二十五年祝賀會を同校大講堂に催す

▼十日

□對岸領事會議を總督府に開く

▼十四日

□佐世保臺灣間海軍飛行艇S十一、十二の兩機無事基隆に着す

□全島製糖研究會を臺中公會堂に開く

▼十六日

□東宮殿下臺灣行啓記念日に付内田總督より天機奉伺及び御機嫌伺ひを爲す

□總督府、軍司令部、臺北州、臺北市其他全島主なる官衙に於て　東宮殿下の御沙汰書拜讀式を舉行す

□總督官邸に於て行啓記念日奉祝茶話會を開き官民を招待す

□第一回行啓記念日奉告の爲め内田總督、賀來長官以下、主なる官民臺灣神社に參拜す

□行啓記念日奉祝大運動會圓山運動場に行はる

□草山行啓記念碑建碑式

□恩賜財團臺灣濟美會より社會事業其他功勞を表彰贈金す

人事消息

自三月二十一日
至四月二十日

▼奥田第二守備隊司令官　三月二十二日内地歸還の途に上る

▼岡實氏（法博、大每編輯顧問）本島及南支視察の爲め大每監察員大内秀麿氏と共に三月二十二日來臺、全島視察を了して四月七日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

天草丸便にて厦門に向ふ、内田總督は出發前博士一行を官邸に招待せり

▼生駒高常氏（學務課長、本誌編纂委員）歐洲視察を了し三月二十七日香港經由開城丸便にて歸府

▼陳敬賢氏（厦門大學及集美學校主）二十七日來臺四月十九日歸厦

▼松木少將（臺北守備隊司令官）二十八日内地より歸臺

▼松井茂氏（法博）二十九日内地へ歸る

▼坂本素魯哉氏　逐鹿戰準備の爲め内地へ歸る

▼相原祐彌氏（高等法院長、本誌評議員）大審院判事より臺灣に轉任し四月二日着任

▼賀來總務長官（本誌評議員長）五日内地より歸府

▼末松直次（農大教授）本島植物病理研究の爲め同日來臺

▼マセソン氏（シカゴ、トリビユーン東京通信員）六日内地へ歸る

▼北村吉之助氏（三四銀行支店長、本誌評議員）七日内地より歸臺

▼三宅哲一氏（外務省參事官）臺灣に於ける外務省領事會議に出席の爲め八日來臺し滯在用務を辨じて二十日厦門に向ふ

▼原明治郎氏（外務省商務官）同上用務を了りて二十一日歸京

▼古賀三千人氏　九日内地へ赴く

▼鈴木重臣氏　十五日内地より歸臺

▼富谷銑太郎氏（貴族院議員、明大學長）十日來臺

▼本山文平氏（臺中州内務部長、本誌編纂委員）十日上京

▼阿部滂氏（財務局長、本誌評議員）十一日賜暇歸省

▼木村英俊氏（稅關長、本誌評議員）十一日上京

▼鴨居武氏（東大教授、工博）十三日全島視察を了りて歸北

▼赤石定藏氏　十五日内地より歸臺

▼小野得一郎氏（同仁會理事）臺灣支部設置の爲め十八日來臺

▼堀一馬氏（前統計官、本誌編纂委員）臨時國勢調査事務終了に付挂冠して十九日内地へ歸還

▼高橋香港總領事　總督府に於ける對岸領事會議の爲め來臺中の處會議終了に付二十日歸任の途に就く

▼天羽廣東總領事　同上

▼打田汕頭領事　同上

▼佐々木厦門領事　同上

▼栗原福州總領事代理　同上

任命

▼三月十五日　自三月十六日至四月十五日

臺北州屬　佐治孝德

任總督府事務官、内務局市街庄課勤務ヲ命ス

▼三月十八日

鐵道部技師兼中央研究所技師　石原黍太郎

依願　本官並兼官

▼三月十九日

稅關長　木村英俊

東京市及横濱、大阪、神戸、門司ノ四稅關管内ヘ出張ヲ命ス

醫學專門學校教授　末盛進

京都、新潟ノ兩市ヘ出張ヲ命ス

醫學專門學校教授　宮原敦

東京、新潟、大阪ノ三市ヘ出張ヲ命ス

▼三月二十二日

醫學專門學校教授　向山孝之

東京、京都、大阪ノ三市ヘ出張ヲ命ス

醫學專門學校教授　安達島次

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京、京都ノ二市ヘ出張ヲ命ス
醫學專門學校教授　日野一郎
保健技師　大野量爾
醫院醫官　永松完
（各通）
上京ヲ命ス
典獄　鹿豆機源太郎
東京、神奈川、埼玉ノ一府二縣下ヘ出張ヲ命ス
醫院醫長　河田直吉
東京、福岡ノ一府一縣下ヘ出張ヲ命ス
醫院醫官　原脩藏
福岡、千葉ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス
翻譯官　小川尙義
總督府事務官　古木章光
州事務官　伊東兼吉
州事務官　本山文平
總督府事務官　佐藤續
總督府事務官　水越幸一
總督府事務官　中瀨拙夫
（各通）
視學官　續有節
總督府事務官　中田榮次郎
法院通譯　川合眞永
總督府事務官　野口滿
總督府事務官　鶴友彥
高等商業學校囑託　飛松次郎

普通試驗臨時委員ヲ命ス
總督府警視　中田秀造
番地調查委員會幹事ヲ命ス
總督府技師　楢公監
依願免本官
▼三月二十四日
休職總督府技師　市川雄一
復職ヲ命ス
總督府技師　岡田實
總督府技師　三宅可
（各通）
總督府技師　佐藤善吉
司法警察官ノ職務ヲ行フヘキ者ニ指命ス
▼三月二十二日
州理事官　岩濤重
東京、京都、群馬、岡山、鹿兒島ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス
臺中州知事　常吉德壽
上京ヲ命ス
▼三月二十六日
州技師　穴澤顯治
東京、京都、愛知、兵庫、福岡ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス
▼三月二十七日
通信技手　室井齊
任通信技師、遞信局工務課勤務ヲ命ス

（各通）
鐵道部技手　若宮榮吉
鐵道部技手　毛利晉
任總督府技師
總督府技師　若宮榮吉
土木局土木課勤務ヲ命ス
總督府技師　毛利晉
土木局營繕課勤務ヲ命ス
▼三月二十八日
津田誠次
任醫學專門學校教授
醫學專門學校教授　春原三壽吉
通信技師　室井齊
（各通）
總督府技師　若宮榮吉
總督府技師　毛利晉
依願免本官
▼三月二十九日
師範學校教諭　渡邊節治
東京、栃木、奈良、熊本ノ一府三縣下ヘ出張ヲ命ス
總督府技師　井手薰
東京地方災害救助事務部殘務整理ヲ命ス
▼三月三十一日
商業專門學校教授　松田郁太郎
商業專門學校生徒監ヲ命ス
▼三月三十日

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

高等法院長　相原祐彌
醫務局長　尾崎勇次郎
臺北州知事　高田富藏
（各通）
總督府評議會員ヲ命ス

▼三月三十一日
臺東廳長　市來半次郎
東京、新潟、大分、宮崎ノ一府三縣下ヘ出張ヲ命ス

▼三月二十九日
總督府技手　門　政吉
任總督府技師、殖産局勤務ヲ命ス
專賣局技手　京極小三郎
任專賣局技師

▼三月三十一日
退職法院判官　永山章次郎
統計官　堤　一馬
總督府技師　門　政吉
專賣局技師　京極小三郎
（各通）
依願免本官
醫院醫長　森　滋太郎
南支那及英領香港ヘ出張ヲ命ス

▼四月一日
參事官　小林音八
總督官房調査課長心得兼務ヲ命ス

▼三月二十九日
醫學專門學校教授　津田誠次
赴任ノ途次上京ヲ命ス

▼四月二日
州技師　前田兼雄
鹿兒島縣下ヨリ東京府下ヘ出張ヲ命ス

▼四月四日
總督府技師　市川雄一
赴任ノ途次滯京ヲ命ス

▼四月五日
白石方亮
任總督府技師、土木局營繕課兼土木課勤務ヲ命ス

稅關監視官兼稅關事務官總督府事務官　大竹　勇
免兼總督府事務官
遞信局事務官兼遞信書記官遞信事務官　町田　均
免兼遞信事務官
遞信局事務官兼遞信書記官　町田　均
兼任遞信局事務官、遞信局海事課勤務ヲ命ス
總督府事務官　林　繁三
東京、京都、大阪、愛知、福岡ノ三府二縣下ヘ出張ヲ命ス
總督府技師　山本三次郎
大阪、名古屋、東京ノ各遞信局管內ヘ出張ヲ命ス
圖書館長　並河直廣
東京、京都、大阪、岡山、山口、福岡、長崎、熊本、鹿兒島ノ三府六縣下ヘ出張ヲ命ス
高等商業學校教授兼商業專門學校教授　內田佳雄
免兼官

▼四月一日
州理事官　瀨內林平
新竹高等女學校長事務取扱ヲ命ス
州理事官　名和仁一
高雄高等女學校長事務取扱ヲ命ス

▼四月十一日
總督府事務官　古木章光
財務局長阿部滂不在中代理ヲ命ス
朝鮮總督府勸業模範場技師陸軍步兵少尉　齊藤鐵造
任中央研究所技師

▼四月一日
州理事官　篠崎　正
基隆高等女學校長事務取扱ヲ命ス

▼四月十一日
總督府事務官　古木章光
株式會社臺灣銀行監理官阿部滂不在中代理ヲ命ス
鐵道部技師　長沼淺造
東京、門司、札幌ノ各鐵道局管內ヘ出張ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寄贈書目

書名		發行所
東亞經濟研究	每號	其社
實業之臺灣	同	其社
臺法月報	同	其社
糖業	同	臺灣糖業研究會
臺灣教育	同	其社
臺灣貿易表	同	臺灣總督府稅務課
朝鮮	同	朝鮮總督府
支那	同	東亞同文會
東拓月報	同	東洋拓殖會社
會報	同	名古屋市教育會
臺灣鐵道	同	其社
臺灣農事報	同	臺灣農友會
稅務月報	同	稅務職員共慰會
貿易	同	日本貿易協會
臺灣鑛業會報	同	其社
臺灣警察協會雜誌	同	其社
南洋協會雜誌	同	其社
海事新報	同	帝國海事協會
週報（上海貿易）	同	上海日本商業會議所
東洋	同	東洋協會
南洋經濟新報	同	新嘉坡商品陳列館
偕行社記事	同	陸軍偕行社
海友	同	大連海務協社
地方行政	同	帝國地方行政學會
內外情報	同	外事課調查課
臺灣パック	同	臺灣パック社
統計學雜誌	同	統計學會
遞信協會雜誌	同	遞信協會
滿蒙實業彙報	同	大連商業會議所
會計	同	明治大學出版部
統計集誌	同	東京統計協會
一味	同	本願寺臺灣開教々務所
對岸時報	同	福井縣對岸實業協業
國際經濟	同	國際經濟協會
產業事業	同	日本產業協會
臺灣醫學會雜誌	同	醫學專門學校
專賣通信	同	專賣局煙草課
日印協會々報	同	日印協會
臺政新報	同	臺政新報社
臺灣之茶業	同	臺北茶商公會
讀書會雜誌	同	鐵道讀書會
警務彙報	同	朝鮮　其社
滿州之社會	同	滿州社會事業研究會
農業時報		高雄州農會
臺灣山林會報	同	臺灣山林會
南支南洋經濟	同	同研究會
稅	同	國民租稅協會
臺灣之產業組合	同	其社
臺灣遞信協會雜誌		臺灣遞信協會
社會政策時報		財團法人協調會
臺灣詩會	同	其社
朝鮮地方行政	同	帝國地方行政學會朝鮮本部
能率研究	同	中外產業調查會
海外重要記事	同	官房調查課
內外評論	同	其社

編輯室から

▼口繪の「八角蓮」は以文堂主人の所藏で、昨年　東宮殿下草山行啓の折、御休憩所に於て長くも殿下の御眼に留つた其の現品である、今回全島詩人が江山樓に吟會を開き「八角蓮」を詩題とした因みから、主人に請うて其の寫眞を得、口繪として讀者に紹介したのである。

▼本號には內田總督の「汎太平洋ユーニオン」に就ての一文を揭ぐる豫定で、其の原稿も出來たのであるが、都合により之を揭ぐる能はざりしは遺憾、次號には必ず揭載します。

▼京都博事務を以て出張中の東委員は臺灣館の事務一と先づ落着するや四月七日歸任した。

▼久しく本誌編纂委員として盡力された堤一馬氏は第一國勢調査の事務も終結し統計官としての其の任務を了りたるを以て挂冠歸國することゝなり四月十九日出發歸還した。

▼本山委員は公務を以て四月十日上京した。

▼秋澤烏川君、數日前出發歸臺す。

—五月五日、屯山—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺北第一中學教諭
兼府高商校教授　佐山融吉著

臺灣小史

（菊半截型紙質上等百二十頁美本コロタイプ寫眞入　定價郵税共金六拾錢）

此の小著は蘭人占據以來、鄭氏、淸治を經て帝國の領臺に至る迄の、臺灣の歷史を簡明に敍述したるもの。參考資料としては內外文獻の、本島に關するものは略々之を涉獵して正確を期したり。目下臺灣に關する簡短明便なる歷史を缺くの際、本書は一般の臺灣研究者殊に視察者、觀光客、文官受驗準備者、中等學校の參考書、小公學校の賞品等としても有益有意義のものなるべし。今般臺灣宣傳の意味により當所に於て之を發行し印刷製本既に成れり御希望の向は至急當所へ申込まれたし

大正十三年五月

臺灣時報發行所

智利(二)經濟狀態

Chile. II. Economic. (S. Feb. 16, '24. P. 237.)

智利(三)貿易及產業

Chile III. Trade and Industry. (S. Feb. 23, '24. P. 270.)

ブラジルの財政

Brazilian Finances. (E. Feb. 23, '24. P. 421.)

アルゼンチン：其の難局

Argentina; A difficult Position. (S. Mar. 1, '24. P. 310.)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Russia. (E. Feb. 8, '24. P. 240.)

露國の石油製品輸出
Export of Petroleum Products from Russia. (Com. R. No. 7' Feb. 18, '24. P. 450.)

ソヴイエツト・ロシアの鐵道狀況
Condition of Railroads in Soviet Russia. (Com. R. No. 7, Feb. 18, '24. P. 59.)

ロシアの財政
Russian Public Finance. (E. Feb. 23, '24. P. 413.)

波蘭財政改革(一)
Polish Financial Reform. I. (E. Mar. 1, '24. P. 460.)

■兩 米 大 陸■

加奈陀及合衆國

加奈陀のパルプ及紙輸出
Canada's Exports of Pulp and Paper. (Com. R. No. 6, Feb. 11, '24. P. 381.)

合衆國の油田醜聞
The U. S. Oil Scandal. (E. Feb. 9, '24. P. 242.)

一九二三年度合衆國の鐵及鋼對外貿易
United States Foreign Iron and Steel Trade In 1923. (Com. R. No. 6, Feb. 11, '24. P. 379.)

一九二三年度合衆國の石油製品對外貿易
United States Foreign Trade in Petroleum Products, 1923. (Com. R. No. 6, Feb. 11. '24. P. 387.)

一九二三年度合衆國外國貿易概況
Summary of Foreign Trade of United States for 1923. (Com. R. No. 7, Feb. 18, '24. P. 417.)

合衆國に於ける石油と政略
Oil and Politics in U. S. A. (E. Feb. 23. '24. P. 417.)

合衆國對支政策の一佛人評
A French Criticism of U. S. Policy toward China. (R. F. E. No. 1, Mar. 1, '24. P. 12.)

合衆國と歐洲
United States and Europe. (S. Mar. 1, '24. P. 309.)

合衆國の對外政策
The Foreign Policy of the U. S. (E. Mar. 1, '24. P. 458.)

米國人の支那銀行破産に於ける利害關係
American Interest in the bankruptcy of China. (R. F. E. No. 2, Mar. 8, '24. P. 40.)

米國の領土擴張
The Territorial Expansion of the U. S. by Hon E. F. Johnson. (M. T. Mar. 23, '23. P. 10.)

墨西哥・巴奈馬及玖馬

一九二三年度墨西哥の砂糖生產狀況
Mexican Sugar Production in 1923. (Com. R. No. 7, Feb. 18, '24. P. 436.)

一九二三年の巴奈馬運河情勢
Panama Canal in 1923. (E. Feb. 23, '24. P. 420.)

玖馬石油市場の回顧
A Review of the Cuban Petroleum Market. (Com. R. No. 6, Feb. 11, '24. P. 286.)

玖馬木材貿易の情況
Status of the Cuban Lumber Trade. (Com. R. No. 8, Feb. 20, '24. P. 466.)

南 亞 米 利 加

智利(一)政狀
Chile. I. Political. (S. Feb. 9, '24. P. 202.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本年一月の英國石炭、鐵、鋼產額
Output of Coal, Iron, and Steel in January. (E. Feb. 16, '24. P. 291.

本年一月の英國對外貿易
Overseas Trade in January. (S. Feb. 16, '24. P. 235.)

本年一月の磅對外爲替相場
Foreign Exchanges in January. (S. Feb. 16, '24. P. 235.)

本年一月の英國鐵、鋼產出高
Iron and Steel Output in January. (S. Feb. 16, '24. P. 239.)

護謨生產輸出制限は必要なりしか
Was Restriction necessary ? (S. Feb. 16, '24. P. 244.)

一九二一年度の英國食料品輸入狀況
British Imports of Food Products during 1921. (Com. R. No. 8, Feb. 20, P. 370.)

英國のトラスト運動：鐵道會社の併合
Trust Movement : Railway Amalgamations. (S. Feb. 23, '24. P. 268.)

本年一月の磅對外爲替相場
Foreign Exchanges in February. (S. Mar. 1, '24. P. 308.)

英國現政府の難關
The Troubles of the Government. (E. Mar. 1, '24. P. 457.)

一九二三年英國木材輸入貿易
Timber Imports in 1923. (E. Mar. I, '24. P. 462.)

英國政策の新形象
New Phase in British Politics. (C. P. Mar 8, '24. P. 13.)

英と西藏との新關係
Britain's New Relations with Tibet. (R. F. E. No. 2, Mar. 8. '24. P. 39.)

佛 蘭 西

佛國絹工業と佛國植民地
L' Industrie Francaise de la Soie et Nos Colonies. (O. Feb. 2, '24.)

法價に就て
Essai Sur le Franc. (O. Feb.12, '24.)

佛國植民地開發案
Projet de Mise en Valeur des Colonies. (O. Feb. 21, '24.)

獨 • 墺 • 和

獨逸の護謨工業狀態
Status of the German Rubber Industry. (Com. R. No. 7, Feb. 18, '24. P. 453.)

獨逸に於ける原糖製產狀況
German Production of Raw Sugar, (Com. R. No. 8, Feb. 20, '24. P. 72.)

大戰と獨逸の人口
The War and German Population. (E. Feb 28, '24. P. 11.)

獨逸の通貨と財政(一)
German Currency and Finance. - I. (S. Feb. 23, '24. P. 259.)

獨逸の通貨と財政(二)
German Currency and Finance. - II. (S. Mar. 1, '24. P. 299.)

墺地利の財政
Austrian Finance. (S. Feb. 9, '24. P. 205.)

和蘭護謨栽培業者と護謨制限
Dutch Planters and Restriction. (S. Feb. 23, '24. P. 281.)

和蘭に於ける鎔風爐
Blast Furnaces in Holland. (E. Mar. I. '24. P. 270.)

露西亞及波蘭

一九二二/二三年ソヴイエツト•ロシアの運輸情勢
The Conditions of Transport in Soviet

米陸軍飛行機九十七機馬尼拉へ輸送
97 Military Airplanes due Here Friday. (M. T. Mar. 13, '24. P. 1.)

比島獨立問題は今議會に於て機運乏し
Independence has Slim Chance this Session. by Elmer Murphy. (M. T. Mar. 16, '24. P. 1.)

衰微しつゝある比島煙草業
P. I. Tobacco Industry going to the Devil. (M. T. Mar. 17, '24. P. 1.)

ウッド内閣の恐威；武官文官の地位を占むるは不法
Wood Cabinet Menaced; Army Officers in Civilian Posts illegal, is report. (M. T. Mar. 18, '24. P. 1.)

比島の獨立は精業に打撃を與へん
Withdrawal would hit Sugar Industry. (M. T. Mar. 18, '24. P. 3.)

第三回比島獨立委員團の渡米は四月十日
Mission to sail April 10, latest report Here says. (M. T. Mar. 19, '24. P. 1.)

必然實現すべき日米戰爭と比島の地位（一蘭人談）
Japan War sure, says Dutchman. (M. T. Mar. 21, '24. P. 2.)

馬尼拉の大火
Fire Damage 1 Million. (M. T. Mar. 23, '24. P. 1.)

日比直接無線通信不能
Japan-Philippine Radio Not Feasible. (M. T. Mar. 23, '24. P. 2.)

本年二月の比島輸出糖の盛況
Sugar Exports aid P. I. Trade Balance. (M. T. Mar. 25, '24. P. 1.)

海峽植民地及スマトラ其他

アムパット護謨狀況
Ampat (Sumatra) Rubber Estate. (C. E. T. No. 3154, Jan. 17, '24. P. 43.)

新嘉坡海軍根據地
La Base Navale de Singapore. (O. Feb. 23, '24.)

新西蘭諸情
Conditions in New Zealand. (E. Feb. 23, '24. P. 419.)

■ 歐　羅　巴 ■

英　吉　利

英國に於ける支那留學生
Chinese Students in Britain. (C. E. T. No. 3155, Jan. 24, '24. P. 61.)

一九二三年の鐵及鋼
Iron and Steel in 1923. (E. Feb. 2, '24. P. 188.)

大英國と墨西哥
Great Britain and Mexico. (E. Feb. 2, '24. P. 193.)

英國のトラスト運動（六）
The Trust Movement in Great Britain, VI. (E. Feb. 9, '24. P. 240.)

一九二三年英國輸入牛情勢
Imports of Cattle. (E. Feb. 9, '24. P. 246.)

一九二三年の英國タイヤ工業と其の貿易
British Tire Industry and Trade during 1923. (Com. R. No. 6, Feb. 11, '24. P. 388.)

英國對外貿易指針
The Direction of Overseas Trade. (E. Feb. 16, '24. P. 283.)

愛蘭時事
Irish Affairs. (E. Feb. 16, '24. P. 290.

本年一月の英國對外貿易
Overseas Trade in January. (E. Feb. 16, '24. P. 290.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

比島の獨立
Philippine Independence. (M. T. Feb. 28, '24. P. 2.)

總督ウッドと比島民
General Wood and Filipinos. (M. T. Feb. 28, '24. P. 3.)

香港總督の比島に關する印象
Hongkong Governor's Impression of P. I. (M. T. Feb. 29, '24. P. 1.)

總督ウッドと比島民
General Wood and Filipinos. (M. T. Feb. 29, '24. P. 3.)

比島煙草業
The Philippine Tobacco Industry. (M. T. Mar. 2, '24. P. 14-B.)

一九二四年度比島自動車稅收入高
1924 Auto Taxes total P. 334,000. (M. T. Mar. 3, '34. P. 1.)

本年一月の比島對外貿易
January Trade Balance Favors P. I. (M. T. Mar. 3, '23. P. 2.)

米國下院に於ける比島獨立案の上程：但し不通過に終らん
Independence Bill goes to House; Sen. Willis forecasts its defeat. (M. T. Mar. 4, '24. P. 1.)

ジョンス海軍大將上院委員會に於て合衆國に對する比島の重要價を論證す
Admiral says P. I. is Vital to U. S. (M. T. Mar. 4, '24. P. 1.)

一九二三/二四年度比島大學在籍者數の增大
U. of P. Enrollment shows Increase. (M. T. Mar. 4, '24. P. 3.)

比島各官廳の經費制限
All Government Expenses Limitted. (M. T. Mar. 5, '24. P. 1.)

上院議員ファセット氏へ答ふ：比島に於ける米國の權利
A Reply to Senator Fassett; American Rights in P. I. (M. T. Mar. 5, '24. P. 1.)

比島の飛蝗驅除用飛行機購入
P. I. to buy Plane for Locust War. (M. T. Mar. 5, '24. P. 2.)

ローハス氏へ送りしクーリッヂ大統領の書翰(獨立の時期に非ずと)
Coolidge, in 3,000 Words Letter to Roxas, says Independence must wait. (M. T. Mar. 9, '24. P. 14.)

比島獨立主唱者に對するフォルブス氏の回答
Forbes replies to Advocates of P. I. Freedom. (M. T. Mar. 9, '24. P. 15.)

一九二三年度比島所得稅
P. I. Income Tax for Last Year, P. 1,168,596. 86. (M. T. Mar. 9, '24. P. 1.)

ウッド總督七十二法案中三十を否認す
Wood vetoes 30 Bills out of 72. (M. T. Mar. 10, '24. P. 1.)

日本船の比島要塞地帶への侵入立證せらる
'Poaching' on Fort Zone by Japanese Ships is alleged. (M. T. Mar. 11, '24. P. 1.)

比島ナショナル銀行製糖所現況
P. 23,000,000 in Sugar milled by Bank Centrals. (M. T. Mar. 12, '24. P. 1.)

昨今の愛國主義
Patoliotism of Yesterday and Today. by Raul De Cardenas. (M. T. Mar. 12, '24. P. 3.)

比島一廈門航路開始
P. I. - Amoy Service is established. (M. T. Mar. 12, '24. P. 1.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

古代クメールの國民生活
La Vie du Peuple chez les Anciens Khmers. (E. E. No. 352, 9 Mars. '24. P. 7.)

東京に於ける再植林
Le Reboisement au Tonkin. (E. E. No. 352, 9 Mars. '24. P. 17.)

メコン鐵道に就て
Le Chemin de fer du Mekong. (E. E. No. 353, 16 Mars. '24. P. 1.)

河内農產共進會
Le Concours Agricole de Hanoi. (E. E. No. 353, 16 Mars. '24. P. 5.)

ショドンの亞鉛鑛及鉛鑛
Mines de Zinc et Plomb de Cho-Don. (E. E. No. 353, 16 Mars. '24. P. 15.)

コーリン無煙炭礦脈
Gisement Anthracifers de Colinh (Tuyen-Quang) (E. E. No. 353, 16 Mars. '24. P. 15.)

暹羅及英領印度

暹羅のメートル法採用
Le Siam adopte le Systeme Metrique. (E. E. No. 350, 24 Fev. '24. P. 19.)

印度に於ける石油市場の前途觀
Outlook for Petroleum Market in India. (Com. R. No. 7, Feb. 18, '24. P. 449.)

印度立法議會に於ける政府側の挫敗
The Government Defeat in India. (E. Feb. 23, '24. P. 410.)

印度問題
The Indian Problem. (E. Mar. 1, '24. P. 466.)

印度通信
A Letter from India. (C. P. Mar. 9, '24. P. 17.)

■南　洋　諸　島■

比　律　賓

一九二三年十二月末日迄の比島ナショナル銀行缺損額：七千四百萬比
P. N. B. Short 74 Millions. (M. T. Feb. 21, '24. P. 1.)

比島對米借款額二億六百萬比
Philippines Debt to U. S. 206 Million. (M. T. Feb. 21, '24. P. 1.)

布哇甘蔗園に於ける比島人勞働者の罷業威嚇
20,000 Filipino Hands in Hawaii Plantations threaten to walk out. (M. T. Feb. 24, '24. P. 1.)

比島獨立は一に道德問題のみ
P. I. Independence Moral Question Only, says Ross. (M. T. Feb. 25, '24. P. 1.)

總督ウッドと比島民
General Wood and the Filipinos. by Daniel R. William. (M. T. Feb. 25, '24. P. 3.)

陸軍卿ウイークス比島獨立反對を聲明す
Weeks voices Opposition to Independence. (M. T. Feb. 26, '24. P. 1.)

人種上より見てフイリピノーは存在せず
Filipinos Nonexistent As a Race, Tavera says. (M. T. Feb. 26, '24. P. 1.)

前途多望の比島籐業
Rattan Industry has Future Here. (M. T. Feb. 26, '24. P. 2.)

總督ウッドと比島民
General Wood and Filipinos. by D. R. Williams. (M. T. Feb. 26, '24. P. 3.)

陸軍卿に擬せらるゝウッド
Wood mentioned as War Secretary. (M. T. Feb. 26, '24. P. 3.)

總督ウッドと比島民
General Wood and Fillipinos. (M. T. Feb. 27, P. 3.)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

北廷は南支統一の新計畫を立つ
Peking has New Plan to unify Southern China. (C. P. Mar. 11, '24. P. 9.)

教育は能く寧波市を健全ならしむ
Education makes healthy Strides in Ningko City. (C. P. Mar. 11, '24. P. 12.)

金フラン案に就て支那は一文惜みの百知らず
The Penny Wise Pound Foolish: Gold Case. (C. P. Mar. 12, '24. P. 14.)

遠東に於ける米國語學校
American Schools in the Far East. (C. P. Mar. 12, '24. P. 14.)

上海港は烙印されし無能者
Shanghai Harbor is branded in efficient. (C. P. Mar. 12, '24. P. 1.)

浙江人廣東省長となる
Szechuenese raised to Kwangtung Governorship. (C. P. Mar. 13, '24. P. 2.)

支那の負債と其の最終の統計
China's Debts and the final Accounting. (C. P. Mar. 14, '24. P. 16.)

米支間の貿易(過去、現在及將來)
Trade between America and China: Past, Present and Future. by Shu-Lun pan. (R. F. E. No. 3, Mar. 15, '24. P. 78.)

支那人間に急速の進展を爲す保險事業
Insurance making rapid Progress among Chinese. (R. F. E. No. 3, Mar. 15, '24. P. 48.)

車顯承小傳
Mr. Che Hin-Shing. (R. F. E. No. 3. Mar. 15, '24. P. 89.)

洪業小傳
Mr. William Hung. (R. F. E. No. 3, Mar. 15, '24. P. 89.)

米支間の貿易(其の將來、現在及過去)
The Trade between China and America - the Future, Present and the Past. by Shu-Lun pan. (R. F. E. No. 4, Mar. 22, '24. P. 116.)

馬和(字君武)小傳
Dr. Ma Chun-wu. (Ma Ho) (R. F. E. No. 4, Mar. 22, '24. P. 112.)

王平治小傳
Dr. C. P. Wang (Wang Chih-ping) (R. F. E. No. 4, Mar. 22, '24. P. 122.)

佛領印度支那

印度支那の貿易
The Trade of Indochina. (E. Feb. 2, '24. P. 195.)

印度支那と太平洋
L' Indochine et Pacifique. (O. Feb. 9, '24.)

一九二三年九月一日現在印度支那鑛産額
L' Indochine Miniere pendant ler Septembre 1923. (E. E. No. 349, 17 Fev. '24. P. 14.)

バッカン省モッ・シャツの亞鉛鑛脈
Gisement de Zinc de Mot-Xat. (E. E. No. 349, 17 Fev. '24. P. 14.)

印度支那と新カレドニア
Indochine et Nauvelle Caledonie. (E. E, No. 350, 24 Fev. '24. P, 1.)

モロッコの製茶消費に對する印度支那茶の充當策
Marocain du The-Comment Reserver la Consommation Marocain a la Production Indochinoise. (O. Feb. 25, '24.)

河内共進會概況
Foire de Hanoi. (O. Feb. 25, '24.)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

共同分解説(支那商法と收稅法との)
Joint Resolution. (R. F. E. No. 1, Mar. 1, '24. P. 5.)

陳照春少將小傳
Major-General Chen tsao-chung. (R. F. E. No. 1, Mar. 1, '24. P. 18.)

程其保(字穉秋)小傳
Chi-pao Chen. (R. F. E. No. 1, Mar. 1, '24. P. 18.)

南京鑄幣廠總辦の報告
Nanking Mint Director will make Report. (C. P. Mar. 5, '24. P. 14.)

成都役の指揮者は女賊の首領
Woman Robber Chief is Leader in Chengtu Fight. (C. P. Mar. 7, '24. P. 1.)

支那銀行(其の損益對照表、隆盛の年、其他)
The Chinese Banks- Balance Sheets; A prosperous Year, Some Comparisons. (C. P. Mar. 7, '24. P. 1.)

教育家は比島在留の支那人を稱揚す
Educator praises Chinese in the Philippine Isles. (C. P. Mar. 7, '24. P. 2.)

滿洲軍隊の保護に因る鴉片耕種を主張す
Allege Cultivation of Opium under Protection of Manchurian Soldiery. (C. P. Mar. 7, '24. P. 2.)

支那に於ける資本主義
Capitalism n China. (C. P. Mar. 7, '24. P. 9.)

支那和平論
Making Peace in China. by Charles Dailey. (R. F. E. No. 2, Mar. 8, '24. P. 42.)

支那棉花優良多作策
Working for More and Better Cotton in China. by P. W. Tsou. (R. F. E. No. 2, Mar. 8, '24. P. 44.)

自治を教ふ
Educating for Self-Government. by Carson Chang. (R. F. E. No. 2, Mar. 8, '24. P. 46.)

袁近初先生小傳
Mr. J. J. Yuan. (John Jientsu Yuan) (R. F. E. No. 2, Mar. 8, '24. P. 48.)

孫鳳孫小傳
Mr. Sun Fung-tsao. (R. F. E. No. 2, Mar. 8, '24. P. 48.)

成都に於ける楊森の勝利
Yang Sen's Victory at Chengtu. (R. F. E. No. 2, Mar. 8, '24. P. 50.)

支那に於ける保險
Insurance in China. (C. P. No. 3840, Mar. 8, '24 P. 1.)

安徽省に於ける鴉片吸食者の增加
Opium smoking on Increase in Anhuei Province. (C. P. Mar. 8, '24. P. 1.)

在支米國領事館の新築
New U. S. Consular Buildings for China. (C. P. Mar. 8, '24. P. 12.)

麝香鹿に就て
Le Chevratain Porte-musc. (E. E. No. 352,9, Mars. '24. P. 8.)

生絲に就
Silk. (Trade still uneven, Conditions dull, Filatures close.) (C. P. Mar. 9, '24. P. 1.)

支那婦人觀
The Women of China. (C. P. Mar. 9, '24. P. 3.)

支那刑法の一部英譯成る
Chinese Translate Law into English. (M. T. Mar. 11, '24. P. 2.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日露問題の動搖
The "Flurry" in the Affairs of Japan and Russia. (R. F. E. No. 2, Mar. 8, '24. P. 38.)

日本はサガレンの油田保留に決す
Japan revolved to keep Oil field in Sagalien. (M. T. Mar. 17, '24. P. 1.)

支　　那

支那綿の危機
Chinese Cotton Crisis. (C. E. T. No. 3152, Jan. 3, '24. P. 7)

蒙古の現狀
Condition in Mongolia (C. E. T. No. 3152. Jan. 3, '24. P. 8.)

支那に於ける無線電信
Wireless in China. (C. E. T. No. 3153, Jan. 10, '24. P. 22.)

支那公債の保證
Chinese Loans Security. (C. E. T. No. 3155, Jan. 24, '24. P. 57.)

香港港の改善
Harbour Improvements for Hongkong. (C. E. T. No. 3156, Jan. 31, '24. P. 69.)

支那の鹽稅收入
Chinese Salt Revenue. (C. E. T. No. 3156, Jan. 31, '24. P. 79.)

支那に於ける基督教徒に關する現時の諸問題
Some present Problems of Christian living in China. (C. R. No. 2, Feb. '24. P. 70.)

支那の宗教欲求に適應する基督教
Christianity the answer to China's need for Religion. by J. D. MacRae. (C. R. No. 2, Feb. '24. P. 77.)

孔門の文化
The Confusian Civilization. (C. R. No. 2, Feb. '24. P. 95.)

道教說中の基督
A Taoist Story of Christ. by Karl L Peichelt. (C. R. No. 2, Feb. '24. P. 110.)

眞如論
Chen Ju. by F. R. Millican. (C. R. No. 2, Feb. '24. P. 115.)

獨逸對支貿易の昂進
Les progres du Commerce allemagne en Chine. (O. Feb. 1, '24.)

支那に於ける現勢
The Position in China. (E. Feb. 2, '24. P. 194.)

北西支那の農業
Agriculture in N. W. China. (C. E. T. No. 3157, Feb. 7, '24. P. 91.)

支那の羊毛業
Wool Industry of China. (C. E. T. No. 3157, Feb. 7, '24. P. 91.)

支那茶
China Tea. (C. E. T. No. 3158, Feb. 14, '24. P. 110.)

支那官營鐵道の統一
Standardising Chinese Government Railways. (Com. R. No. 2, Feb. 21, '24. P. 53.)

支那の內亂
Civil War in China. (C. E. T. No. 3159, Feb. 21, '24. P. 121.)

支那に於ける商標
Trade Marks in China. (C. E. T. No. 3159, Feb. 21, '24. P. 123.)

一九二二年の支那商條令の改善
Improving the China Trade Act of 1922. (R. F. E. No. 1, Mar. 1, '24. P. 4.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南支那及南洋其他
海外重要記事
臺灣總督官房調査課

■新聞雜誌略號一覽表■

C. P.	China Press.
C. R.	Chinese Recorder.
Com. R.	Commercial Reports (U. S.)
C. E. T.	China Express and Telegraph.
E.	Economist.
E. E.	Eveil Economique.
M. T.	Manila Times, Daily with Sunday.
O.	L' Opinion.
R. F. E.	Review of Far East, Weekly.
S.	Statist.

■世界■

一般

護謨消費の增加
Develop Rubber Consumption. (C. E. T. No. 3154, Jan. 17, '24. P. 37.)

世界關稅率及通商
World Tariffs and Trade. (S. Feb. 9, '24. P. 200.)

一九二三年の砂糖
Sugar in 1923. (E. Feb. 9, '24. P. 230.)

世界で使用する客車及貨車一千八百萬臺
World Using 18 Million Cars and Trucks. (Com. R. No. 6, Feb, 11, '24. P. 361.)

一九一三/二四年一月の世界物價
Prices of Commodities. (S. Feb. 16, '24. P. 234.)

世界船舶諸問題
World Shipping Problems. (E. Feb. 16, '24. P. 284.)

世界護謨產額と其伸展
La Production Caoutchouc dans le Monde et son Evolution. (O. Feb. 18, '24.)

錫及護謨の生產に就て
Sur la Production de l' Etain et du Caoutchouc. (O. Feb. 29, '24.)

護謨の騰價來は何時か
When is the Rise in Price Coming? (S. Mar. 1, '24. P. 318.)

地震豫報は將來可能
Quake Forecast possible in Future. (M. T. Mar. 18, '24. P. 2.)

■亞細亞■

一般

一九二三年度極東諸邦の商況
Summary of Business Conditions in the Far East during 1923. (Com. R. No. 7, Feb. 18, '24. P. 423.)

極東諸邦の政府及都市公債
Far Eastern Government and Municipal Loans. (C. E. T. No. 3159, Feb. 21, '24. P. 125.)

極東銀行界と財政
Far Eastern Banking and Finance. (M. T. Mar. 16, '24. P. 11.)

極東銀行界と財政
Far Eastern Banking and Finance. (M. T. Mar. 17, '24. P. 2.)

日本

大連に於ける日本の二十年
Twenty Years of Japan in Dairen. by John Goette. (R. F. E. No. 1, Mar. 1, '24. P. 16.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN